

ApeosWare Management Suite 2 Paper Form のヘルプ

ご注意

- ①このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ②このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ③このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

「マニュアルと付属ツールについて」、「本書の表記」、および商標については、『セットアップガイド』を参照してください。

富士フイルムビジネスイノベーションに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 ～ 12 時、13 ～ 17 時

フリーダイヤルは、携帯電話機・PHS および海外からはご利用になれません。また、一部の IP 電話からはつながらないことがあります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

インターネットホームページで商品情報を提供しています。アクセス先は、https://www.fujifilm.com/fbglobal/eng/product/aw_manage_suite です。

もくじ

もくじ 2

1 Paper Form Editor のヘルプ

概要 5

- Paper Form Editor とは 5
- フォームテンプレートとは 5
- 新規のフォームテンプレート 6
- コントロールとコントロールオブジェクト 7
- 装飾オブジェクト 13
- 属性について 15

お使いになる前に 18

- 起動と終了 18
- ウィンドウ構成 18
- 環境設定をする 21
- 表示を変更する 22
- グリッド制御を変更する 24

基本的な使い方 26

- フォームテンプレート作成の操作の流れ 26
- フォームテンプレートを作成する 26
- 属性にコントロールを設定する 27
- システムオプション定義属性にコントロールを設定する 28
- ユーザー定義属性を作成する 29
- ユーザー定義属性にコントロールを設定する 29
- フォームテンプレート情報を設定する 30
- フォームテンプレートを保存、プリント、閉じる 31
- フォームテンプレートファイルを編集する 32

コントロールの設定 34

- コントロールの設定について 34
- BOOL コントロールを設定する 34
- 文字列コントロールを設定する 35
- 選択コントロールを設定する 36
- 数値コントロールを設定する 38
- 領域切り出しコントロールを設定する 39
- QR コード描画領域コントロールを設定する 39
- マークシート制御コントロールを設定する 41
- サービス描画領域コントロールを設定する 43

オブジェクトの編集 45

- オブジェクトの編集について 45
- コントロールオブジェクトの属性変更 45

装飾オブジェクトの挿入と属性変更	51
オブジェクトの編集	61
オブジェクトの配置	67
コントロールの編集	71
ユーザー定義属性の名前を変更する	71
ユーザー定義属性を削除する	71
コントロールの設定を変更する	72
マークシートを構成するコントロールの順序を変更する	72
コントロールを削除する	72
コントロールのコピー、貼り付けをする	73
コントロールパーツの操作	75
コントロールパーツを登録する	75
登録されているコントロールパーツを使用する	76
コントロールパーツを編集する	76
コントロールパーツを削除する	78
[フォーム解析結果出力] 機能の設定	79
リファレンス	82
メニュー	82
ツールバー	87
ダイアログボックス	90
コントロール編集ビューのアイコン	123

2 Paper Form Management のヘルプ

概要	124
Paper Form Management とは	124
一般ユーザーができること	125
管理者ができること	126
リソースとは	126
リソースの管理体系	127
リソースグループと Flow Management のフローとの関係	127
ページの構成	128
一般ユーザーの操作	130
一般ユーザーができること	130
リソースグループ一覧を表示する	130
フォームテンプレート一覧を表示する	131
フォーム一覧を表示する	131
フォームをダウンロードする	131
セパレート専用フォームをダウンロードする	132
ページの説明	134
管理者の操作	138
管理者メニューの表示	138
リソースグループ一覧	138

フォーム削除ツール	149
ページの説明	150
リソースを変更したとき	160
リソースグループを削除したとき	160
注意と制限	162
Web ブラウザーの設定について	162
Paper Form Management の起動について	162
リソースについて	162
フォーム削除ツールについて	163
その他の注意と制限	163

1 Paper Form Editor のヘルプ

概要

Paper Form Editor とは

Paper Form Editor は、ApeosWare Management Suite 2 Flow Management Option の Paper Form 機能で利用するフォームテンプレートファイルを作成するためのソフトウェアです。

Flow Management の【フォーム解析】機能、および【フォーム解析結果出力】機能は、ファクスやスキャナーなどから送信されてきた紙の文書に添付されているフォームを解析し、フォームに記述されたユーザー指示内容を読み取ったり、読み取った指示内容をファイルに出力する機能です。このユーザー指示内容は、Flow Management に設定された文書の登録や配信処理で利用できます。

Paper Form Editor では、フォームのひな形となるフォームテンプレートを作成します。

Paper Form Editor で作成したフォームテンプレートをもとに、Paper Form Management がフォームを作成します。

一般ユーザーは、このフォームをダウンロードしてプリントし（プリントされた文書がフォームです）、フォームに必要な情報を記入して、紙の文書の先頭に重ね、ファクスやスキャナーから入力します。



補足

- ・【フォーム解析】機能、および【フォーム解析結果出力】機能を使用するには、Paper Form & QR Code Reader Option が必要です。
- ・フォームを利用する機能を総称して、Paper Form 機能と呼びます。

フォームテンプレートとは

ここでは、Paper Form Editor で作成できるフォームテンプレートについて説明します。

- フォームテンプレート例
- フォームテンプレートの用紙サイズ

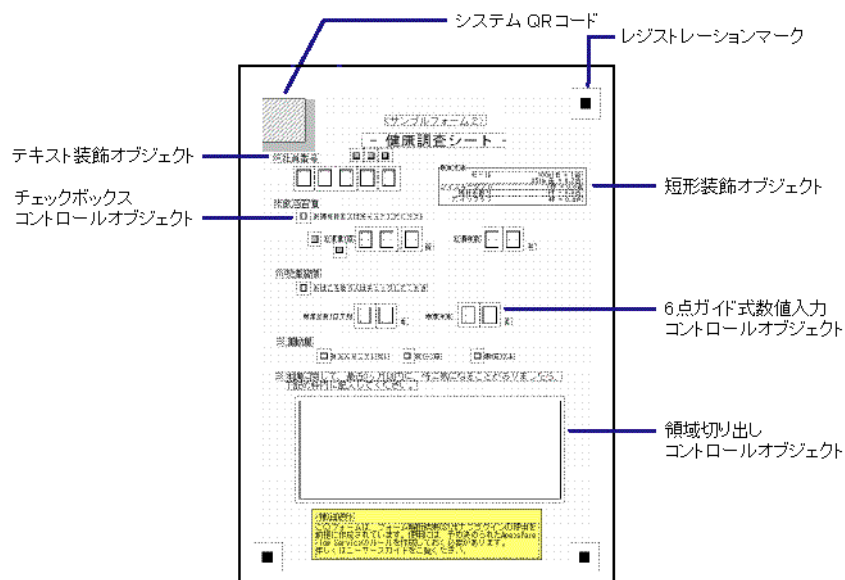


補足

Paper Form Management に登録できるフォームテンプレートファイルは、1 ファイルのサイズの上限が 8MB です。ファイルサイズが 8MB を超えるフォームテンプレートファイルを作成しないでください。

フォームテンプレート例

フォームテンプレートの例を示します。



補足

コントロールオブジェクトや装飾オブジェクトは、このフォームテンプレート例で使用しているもの以外の種類もあります。

フォームテンプレートの用紙サイズ

Paper Form Editor では、次の表にある定形用紙サイズのフォームテンプレートを作成できます。

また、幅と高さ、それぞれ 100 ～ 420mm の範囲でサイズを指定して、任意サイズのフォームテンプレートを作成できます。

用紙サイズ	幅 (mm)	高さ (mm)
A3	297	420
A4	210	297
A5	148	210
B4	257	364
B5	182	257
レター	216	356
リーガル	216	356
ガバメントリーガル	216	330
はがき	100	148
任意	[幅] に数値を入力して指定します。	[高さ] に数値を入力して指定します。

新規のフォームテンプレート

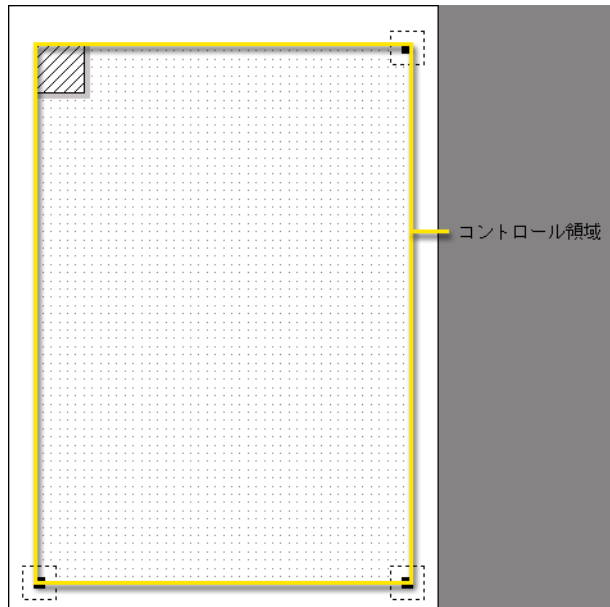
新規にフォームテンプレートを作成すると、白紙のフォームテンプレートが表示されます。

フォームテンプレートのページ領域内には、あらかじめ次のマークが配置されています。

- システム QR コード
- レジストレーションマーク (3 箇所)

コントロール領域

四隅にある、システム QR コード、レジストレーションマークの内側をコントロール領域といいます。コントロールオブジェクトや装飾オブジェクトなどは、コントロール領域内に挿入します。



コントロールとコントロールオブジェクト

フォームテンプレートに、属性情報（システム定義属性、システムオプション定義属性、ユーザー定義属性）を設定するには、コントロールを使用します。

コントロールを使って属性情報を設定すると、コントロールオブジェクトがフォームテンプレートに配置されます。

コントロールによって埋め込まれた情報や、コントロールオブジェクトにユーザーが手書きで記述した指示が、Flow Management の［フォーム解析］機能で解析され、その内容に従って文書が処理されます。

- コントロールの種類
- コントロールオブジェクトの種類
- コントロールの種類と配置されるコントロールオブジェクト

コントロールの種類

コントロールには、次の 8 種類があります。

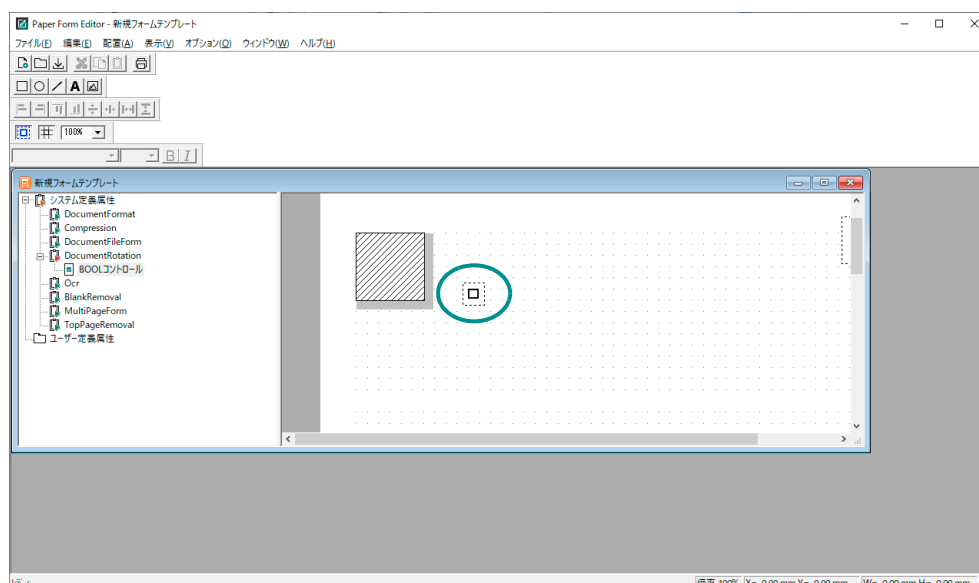
- BOOL コントロール
- 文字列コントロール
- 選択コントロール
- 数値コントロール
- 領域切り出しコントロール
- QR コード描画領域コントロール
- マークシート制御コントロール
- サービス描画領域コントロール

BOOL コントロール

チェックボックスコントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

チェックボックスがチェックされた場合とチェックされなかった場合の、2 つの値を定義しておき、解析時に、いずれかの値が取り出されます。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます。フォームをプリントするときは、チェックボックスがプリントされます。

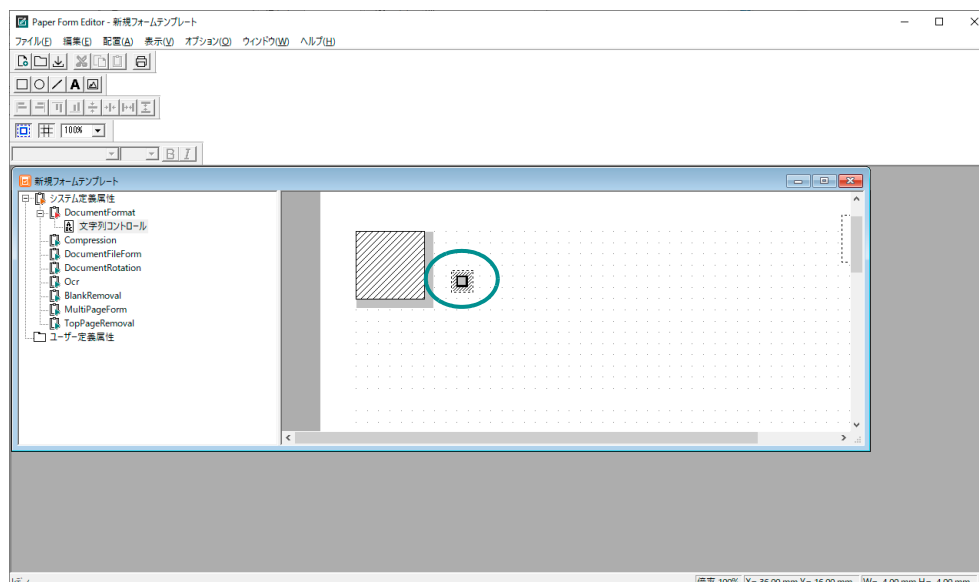


文字列コントロール

フォームに情報を埋め込むときに使用するコントロールです。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます。

フォームをプリントするときは、チェックボックスはプリントされませんが、フォーム解析時は、文字列として認識されます。



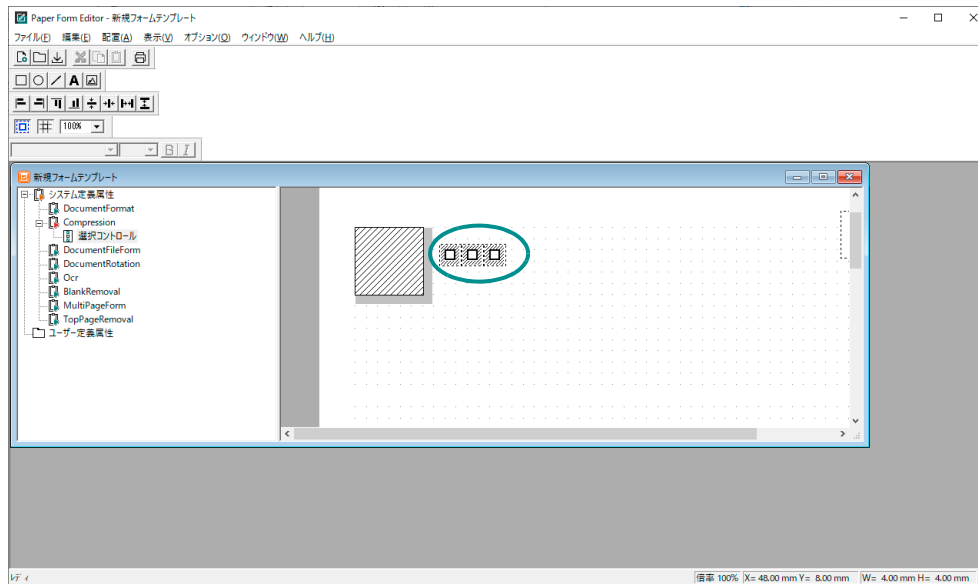
選択コントロール

複数のチェックボックスコントロールオブジェクトを1組としたコントロールです。

フォーム解析時に、選択されているチェックボックスの値だけが取り出されます。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューに設定した個数のチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます。

フォームをプリントするときは、チェックボックスがプリントされます。

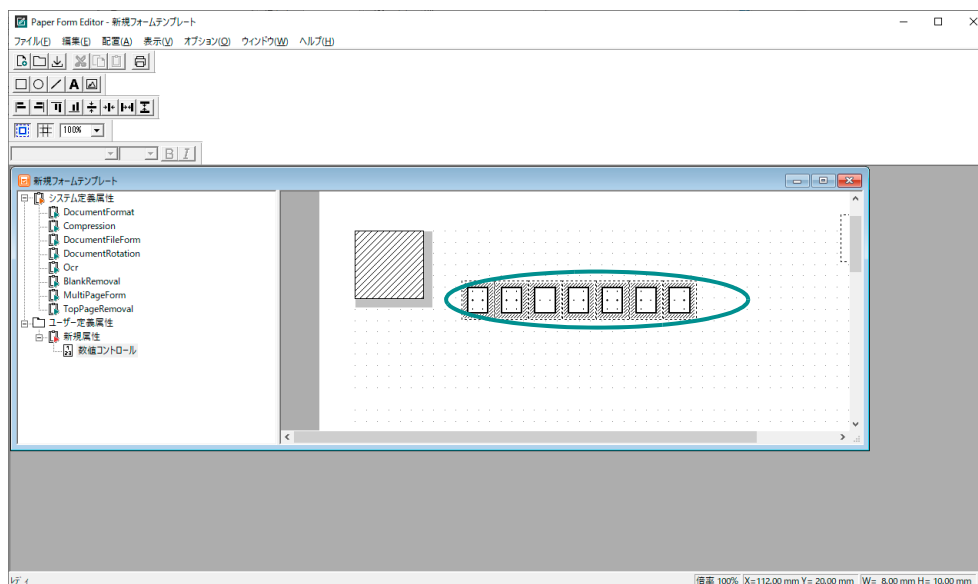


数値コントロール

6点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューに設定した桁数の6点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトが表示されます。

フォームをプリントするときは、6点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトがプリントされます。フォーム解析時に、6点ガイド式数値入力ボックスに記入されている値が連結され、1つの値として取り出されます。

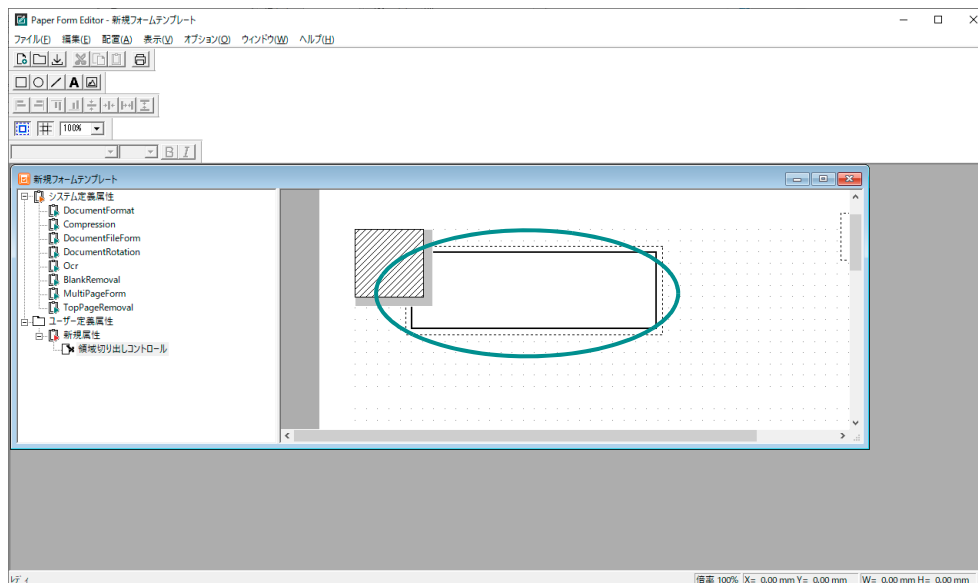


領域切り出しコントロール

領域切り出しコントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

コントロールの設定時に、レイアウト編集ビューに矩形を描き、その矩形が領域切り出しコントロールオブジェクトとして挿入されます。

フォームをプリントするときは、矩形がプリントされます。フォーム解析時に、矩形の範囲がイメージとして切り出されます。



QRコード描画領域コントロール

QRコード描画領域コントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

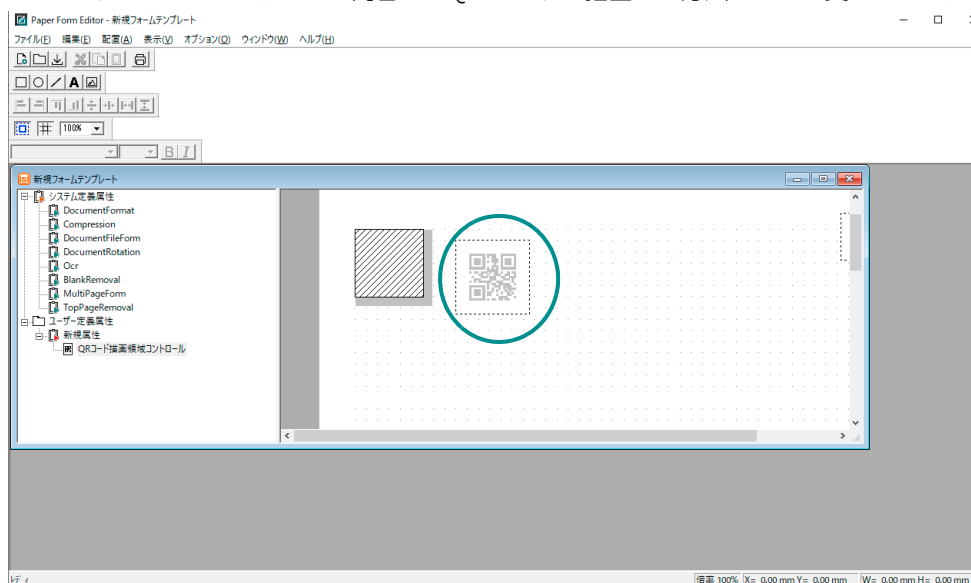
コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューに QRコード描画領域コントロールオブジェクトが表示されます。

フォーム解析時に、設定した領域に描画された QRコードの値が取り出されます。



補足

フォームにプリントされる内容は、QRコードを描画する方法によって変わります。



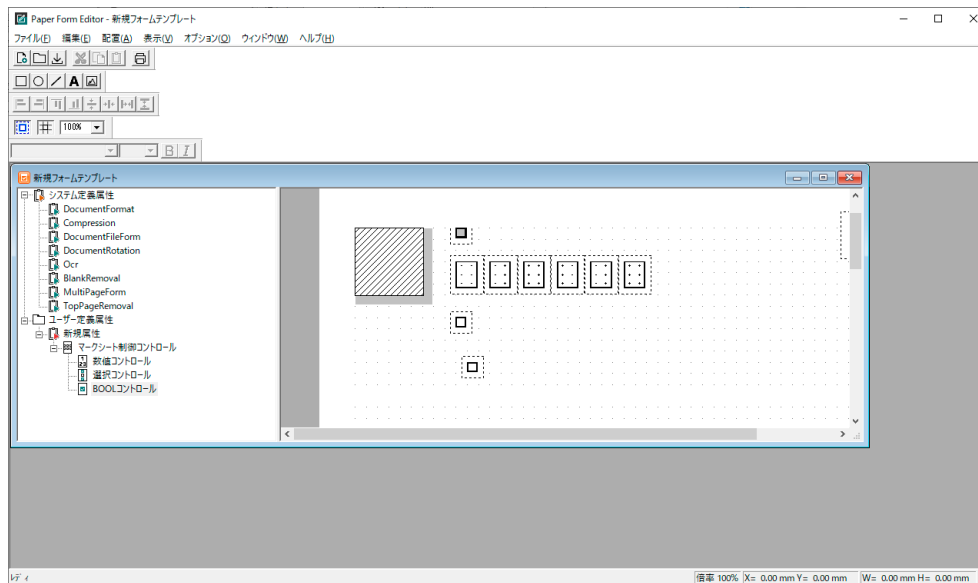
マークシート制御コントロール

マークシートを構成するコントロール (①: BOOL コントロール、文字列コントロール、選択コントロール、数値コントロール、QRコード描画領域コントロール) から取得した値を連結して、1つの値としてまとめるコントロールです。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます (②)。

フォームをプリントするときは、チェックボックスはプリントされません。

マークシート制御コントロールと、マークシートを構成するコントロールをまとめてマークシート (③) と呼びます。



サービス描画領域コントロール



補足

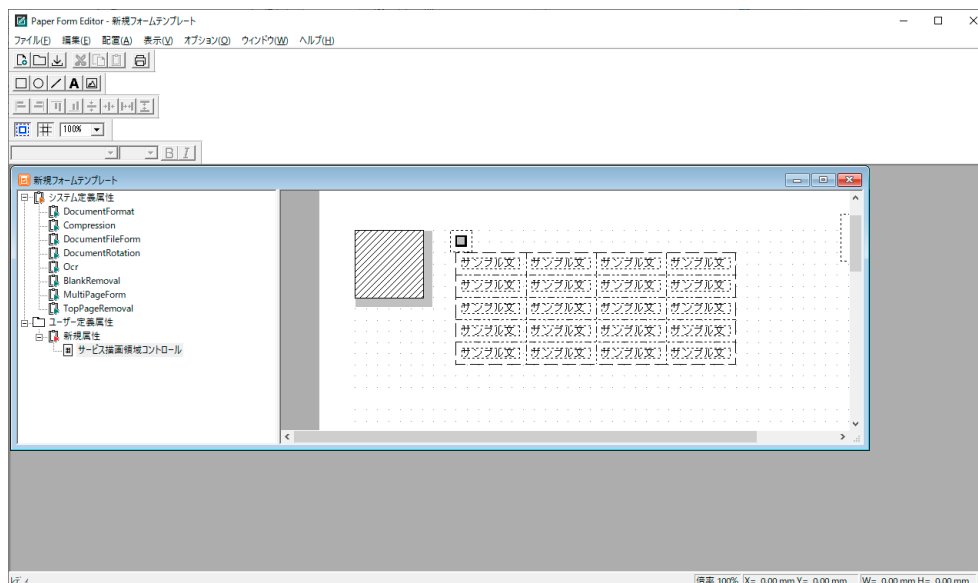
このコントロールを使用したカスタマイズについては、弊社担当者までご連絡ください。

フォームにデータを流し込む領域を定義するコントロールです。フォームを自動的にカスタマイズするアプリケーション用のフォームテンプレートを作成するときに使用します。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトとサービス描画領域オブジェクトが挿入されます。

サービス描画領域オブジェクトは、コントロールの設定時に指定したカラム数（列数）に分割されます。

フォームをプリントするときは、流し込む情報によりチェックボックス、イメージ、文字列などがプリントされます。



コントロールオブジェクトの種類

コントロールオブジェクトには、次の 5 種類があります。

- チェックボックスコントロールオブジェクト

- 6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクト
- 領域切り出しコントロールオブジェクト
- QR コード描画領域コントロールオブジェクト
- サービス描画領域オブジェクト

チェックボックスコントロールオブジェクト

各辺が 4mm のチェックボックスの形をしたコントロールオブジェクトです。サイズは変更できません。

周りに 2mm のマージン領域があります。マージン領域は、制御記号表示のときは点線で表示されます。

BOOL コントロール、文字列コントロール、選択コントロール、マークシート制御コントロール、サービス描画領域コントロールを設定すると、フォームテンプレートに挿入されます。

文字列コントロール、マークシート制御コントロール、サービス描画領域コントロールの場合は、灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトは、フォームにはプリントされません。



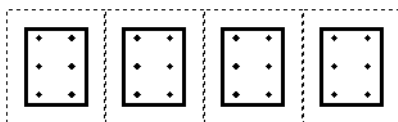
6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクト

たて 10mm、よこ 8mm の矩形のコントロールオブジェクトです。矩形内に、6 つの点（ガイド）があり、フォームにユーザーが記入するときは、この点を結んで数値を記入します。

サイズは変更できません。周りに 2mm のマージン領域があります。

マージン領域は、制御記号表示のときは点線で表示されます。

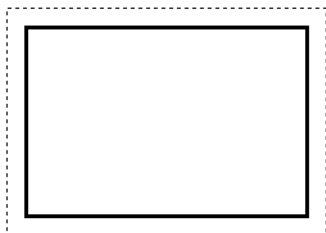
数値コントロールを設定すると、フォームテンプレートに挿入されます。



領域切り出しコントロールオブジェクト

領域切り出しコントロールを設定するときに描いた矩形です。サイズを変更できます。

周りに 2mm のマージン領域があります。マージン領域は、制御記号表示のときは点線で表示されます。



QR コード描画領域コントロールオブジェクト

QR コードが描画される領域を示す正方形のコントロールオブジェクトです。制御記号表示のとき、仮の QR コードイメージが表示されます。

サイズを変更できます。また、枠線を表示できます。

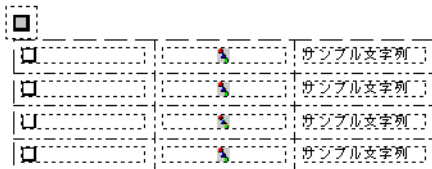


サービス描画領域オブジェクト

サービス描画領域コントロールを設定するときに描いた矩形です。

サービス描画領域コントロールを設定すると、フォームテンプレートにチェックボックスコントロールオブジェクトとサービス描画領域オブジェクトが挿入されます。

サービス描画領域オブジェクトは、複数のセルで構成されています。1 行の高さや行数、カラム（列）のサイズ変更などの属性変更ができます。



コントロールの種類と配置されるコントロールオブジェクト

コントロールの種類と配置されるコントロールオブジェクトの関係は、次のとおりです。

コントロールの種類	配置されるコントロールオブジェクト
BOOL コントロール 文字列コントロール 選択コントロール マークシート制御コントロール	チェックボックスコントロールオブジェクト
数値コントロール	6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクト
領域切り出しコントロール	領域切り出しコントロールオブジェクト
QR コード描画領域コントロール	QR コード描画領域コントロールオブジェクト
サービス描画領域コントロール	チェックボックスコントロールオブジェクト サービス描画領域オブジェクト

装飾オブジェクト

装飾オブジェクトは、フォームテンプレートを装飾するために描画する図形、文字列、イメージです。

装飾オブジェクトは、Paper Form 機能による解析の対象にはなりません。

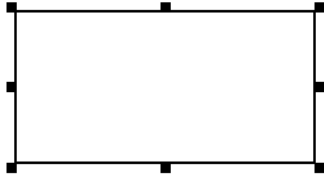
装飾オブジェクトには、次の 5 種類があります。

- 矩形
- 長円形
- 線

- テキスト
- イメージ

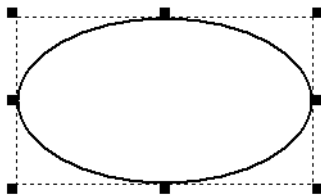
矩形

長方形や正方形を挿入します。色や線の幅、面の塗りつぶしなどを指定できます。



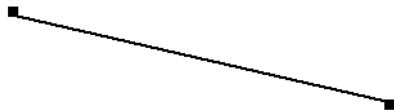
長円形

楕円や正円を挿入します。色や線の幅、面の塗りつぶしなどを指定できます。



線

直線を挿入します。色や線の幅などを指定できます。



テキスト

指定した文字列を入力できます。フォントの種類、サイズ、色、背景色などを指定できます。

写真番号

イメージ

ファイル名を指定して、イメージを挿入します。挿入できるファイルの種類は、ビットマップ（拡張子は「bmp」）です。



属性について

コントロールを使ってフォームテンプレートに設定できる属性には、次の 3 種類があります。

- システム定義属性
Flow Management の [フォーム解析] 機能で利用する属性です。
- システムオプション定義属性
Flow Management の配信先が利用する属性です。
- ユーザー定義属性
フォームテンプレートごとに、ユーザーが必要に応じて定義する属性です。

システム定義属性とは

システム定義属性は、Flow Management の [フォーム解析] 機能で利用する属性です。

システム定義属性には、次の属性が用意されています。

DocumentFormat

イメージデータの出力フォーマットを設定できます。

使用できるコントロールは、文字列コントロール、選択コントロールです。

次のフォーマットが選択できます。

- Tiff-None
- Tiff-G4
- Tiff-Packbits
- Tiff-JPEG6
- Tiff-G4_Packbits
- Tiff-G4_JPEG6
- PDF
- DocuWorks



補足

- ・ DocumentFormat をしない場合、Flow Management の [フォーム解析] 機能に入力されたイメージの形式のまま、変換しません。また、この場合、次の設定は無視されます。
 - ・ Compression
 - ・ DocumentFileForm
- ・ 白黒ページを Tiff-G4 で圧縮したいが、カラーページはそのままにしたい場合、Tiff-G4_Packbits、または Tiff-G4_JPEG6 を選択します。

Compression

DocumentFormat に Tiff-JPEG6、または Tiff-G4_JPEG6 を選択した場合、適用する画質パラメーターを設定できます。

High-Resolution は、高画質な画像が得られますが、ファイルサイズが大きくなります。

使用できるコントロールは、文字列コントロール、選択コントロールです。

次の画質パラメーターが選択できます。

- High-Compression
- Normal
- High-Resolution



補足

Compression をしない場合、デフォルト値として Normal が適用されます。

DocumentFileForm

DocumentFormat に Tiff を選択した場合、イメージデータのファイル保存形式を設定できます。使用できるコントロールは、BOOL コントロール、文字列コントロール、選択コントロールです。次のファイル形式が選択できます。

- Multi
- Single



- ・ DocumentFileForm を指定しない場合、デフォルト値として「Multi」が適用されます。
- ・ DocumentFormat に PDF、または DocuWorks を選択した場合、DocumentFileForm の設定にかかわらず「Multi」が適用されます。

DocumentRotation

イメージデータに対して自動正立をするかどうかを設定できます。使用できるコントロールは、BOOL コントロール、文字列コントロールです。次の値から選択します。

- Auto
- None



DocumentRotation をしない場合、デフォルト値として「None」が適用されます。

Ocr

イメージデータに対して OCR を実行するかどうかを設定できます。実行する場合は、その認識モードを設定できます。使用できるコントロールは、BOOL コントロール、文字列コントロール、選択コントロールです。次の値から選択します。

- None
- Auto
- Default
- En



Ocr をしない場合、デフォルト値として「None」が適用されます。

MultiPageForm

複数枚のフォームを一つのフォームとする設定ができます。使用できるコントロールは、文字列コントロールです。マルチページフォーム名とページ番号を設定します。



MultiPageForm を設定しない場合、1 枚のフォームで一つのフォームと設定されます。

BlankRemoval

イメージデータのうち、フォームの次に入力されたイメージデータに対して白紙判定をします。白紙の場合は除去する設定ができます。

使用できるコントロールは、BOOL コントロール、文字列コントロールです。次の値から選択します。

- True
先頭ページの白紙を除去します。
- False
先頭ページの白紙を除去しません。



- ・ フォームを文書の先頭に重ね、両面原稿としてスキャンをすると、フォームの裏面（白紙）が、文書の先頭ページになってしまいます。これを避けるため、ここではフォームの次ページが白紙であった場合、これを除去するかどうかを指定します。
- ・ BlankRemoval をしない場合、デフォルト値として「False」が適用されます。

TopPageRemoval

イメージデータのうち、フォームの次に入力されたイメージデータを除去できます。

使用できるコントロールは、BOOL コントロール、文字列コントロールです。

次の値から選択します。

- True
先頭ページを除去します。
- False
先頭ページを除去しません。



- ・ フォームを文書の先頭に重ね、両面原稿としてスキャンをすると、フォームの裏面が、文書の先頭ページになってしまいます。これを避けるため、ここではフォームの次ページを除去するかどうかを指定します。
- ・ BlankRemoval では、フォームの裏面が白紙かどうかを判定して、白紙の場合に除去します。TopPageRemoval では、フォームの裏面が完全な白紙ではない場合に対応するため、フォームの次ページを無条件で除去します。
- ・ TopPageRemoval と BlankRemoval が、両方とも「True」の場合は、TopPageRemoval が実行され、白紙判定は実行されません。
- ・ TopPageRemoval をしない場合、デフォルト値として「False」が適用されます。

システムオプション定義属性とは

システムオプション定義属性は、Flow Management の配信先が利用する属性です。システムオプション定義属性に対して、必要に応じてコントロールを設定します。



システムオプション定義属性を使用したカスタマイズについては、弊社担当者までご連絡ください。



- ・ システムオプション定義属性は、標準では表示されません。システムオプション定義属性をカスタマイズした場合に表示されます。
- ・ コントロールの設定方法は、システム定義属性と同じです。

ユーザー定義属性とは

ユーザーが、独自にフォームテンプレートに設定する属性をユーザー定義属性と言います。

属性を新規に作成して、その属性ごとにコントロールを設定します。

お使いになる前に

起動と終了

Paper Form Editor を起動します。

1. Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [Paper Form Editor]] の順に選択します。

Paper Form Editor が起動し、メインウィンドウが表示されます。

起動時には、メインウィンドウに新規のフォームテンプレート編集ウィンドウが表示されます。

Paper Form Editor を終了する

Paper Form Editor を終了するには、次のいずれかを使って操作します。

- [ファイル] メニューの [アプリケーションの終了]
- メインウィンドウの [x] (閉じる)

1. [ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] を選択するか、または、メインウィンドウの右上隅にある [x] をクリックします。

メインウィンドウが閉じ、Paper Form Editor が終了します。



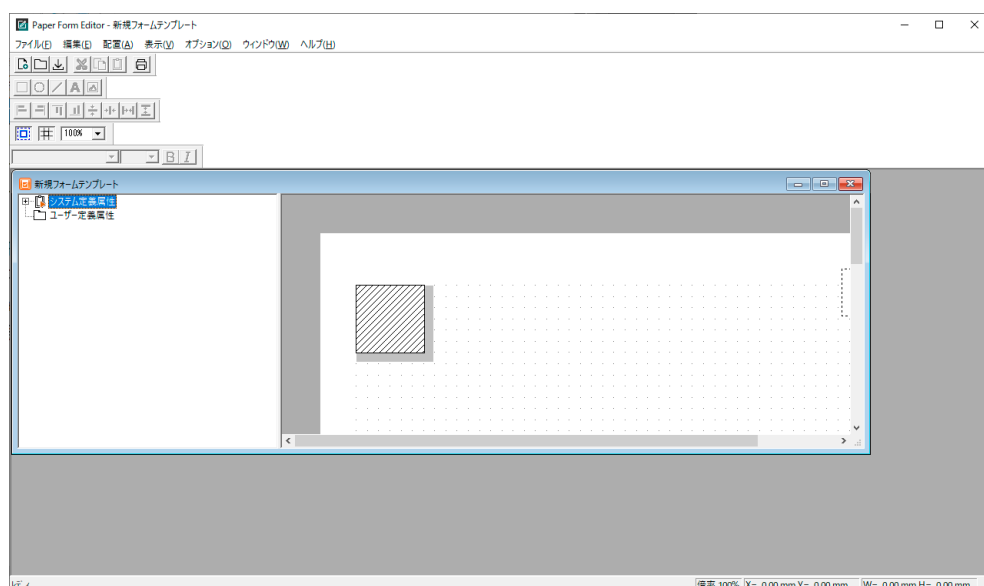
メインウィンドウ内に、フォームテンプレート編集ウィンドウが表示されていて、フォームテンプレートの内容が保存されていない場合は、フォームテンプレートを保存するかどうか確認のメッセージが表示されます。保存する場合は [はい]、保存しない場合は [いいえ] をクリックします。

ウィンドウ構成

メインウィンドウ

Paper Form Editor を起動すると、メインウィンドウが表示されます。

メインウィンドウ内には、新規フォームテンプレートを表示したフォームテンプレート編集ウィンドウが開きます。



メニューバー

メニューバーからは、7 種類のメニューが表示できます。

- [ファイル] メニュー
- [編集] メニュー
- [配置] メニュー
- [表示] メニュー
- [オプション] メニュー
- [ウィンドウ] メニュー
- [ヘルプ] メニュー

ツールバーとステータスバー

メインウィンドウには、4 種類のツールバーとステータスバーが表示されます。

ツールバー

基本バー、配置バー、表示バーには、よく使われるメニュー項目が、ボタンの形式で表示されています。

ボタンをクリックして、メニューバーからメニュー項目を選択したときと同じ操作ができます。

装飾オブジェクト挿入バーには、装飾オブジェクトを挿入するためのボタンが表示されています。

書式設定バーには、テキスト装飾オブジェクトのフォントやフォントサイズなどの書式を設定するためのボタンが表示されています。

ステータスバー

メインウィンドウの下部にあるステータスバーには、Paper Form Editor の状態が表示されます。

ショートカットメニュー

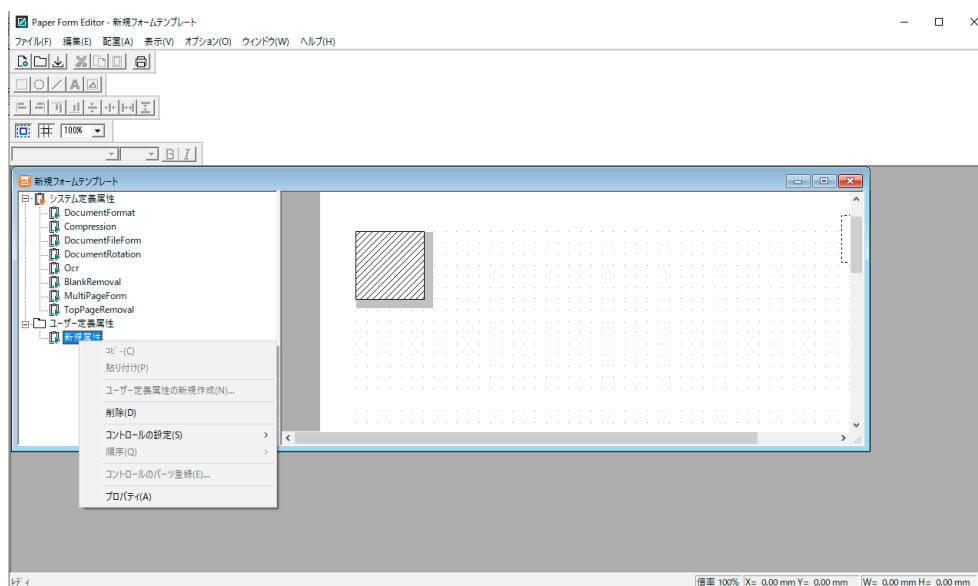
フォームテンプレート編集ウィンドウ内で、属性やオブジェクトを選択して、マウスの右ボタンをクリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

ショートカットメニューには、選択している対象に、よく使われるメニュー項目が表示されます。

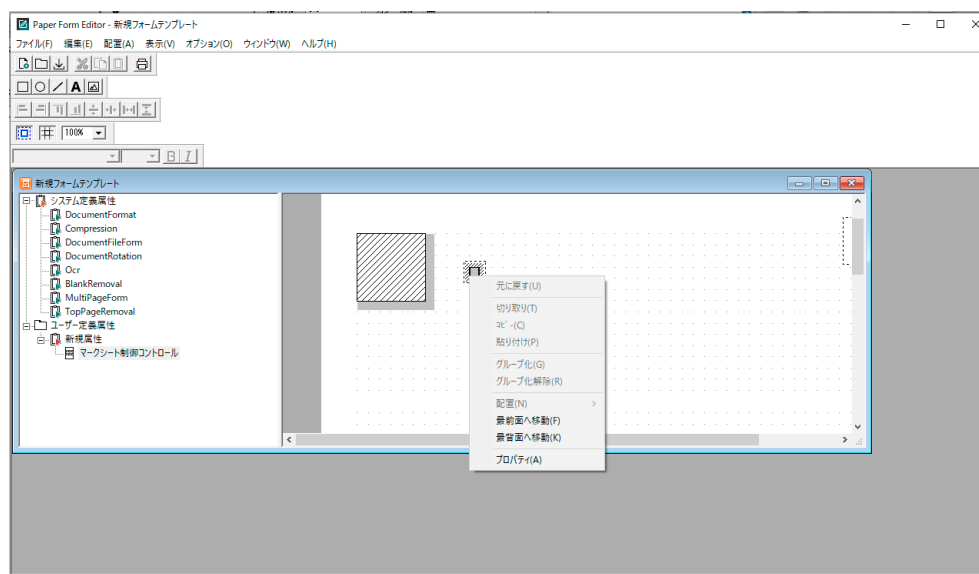
ショートカットメニューは、コントロール編集ビューとレイアウト編集ビューでメニュー項目が異なります。

ショートカットメニューからメニュー項目を選択して、メニューバーからメニュー項目を選択したときと同じ操作ができます。

コントロール編集ビューのショートカットメニュー

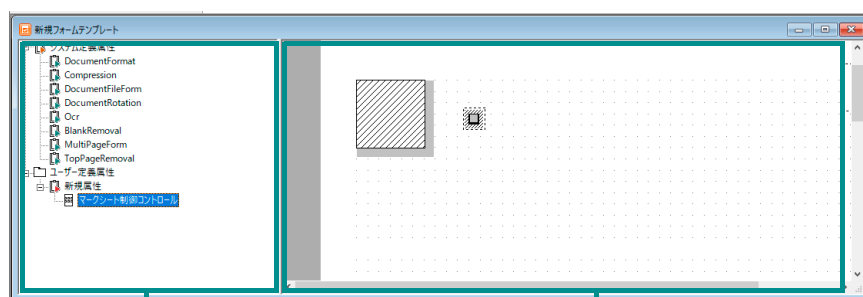


レイアウト編集ビューのショートカットメニュー



フォームテンプレート編集ウィンドウ

フォームテンプレート編集ウィンドウは、コントロール編集ビューとレイアウト編集ビューに分かれています。



コントロール編集ビュー

レイアウト編集ビュー

コントロール編集ビュー

コントロール編集ビューでは、属性に対するコントロールによる入力方法を設定します。コントロール編集ビューには、属性ごとに、次の3種類のルートアイコンが表示されます。

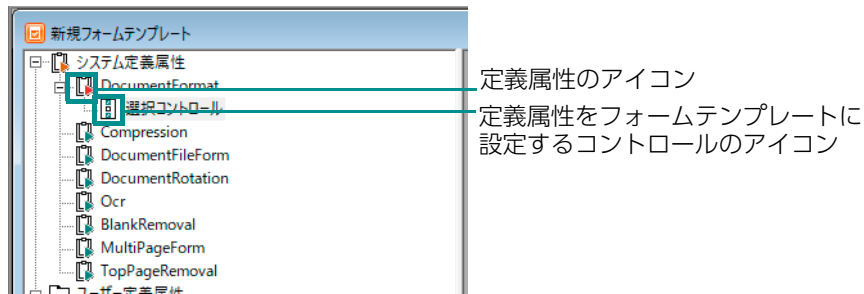
- システム定義属性
Flow Management の「フォーム解析」機能で利用する属性の総称です。
- システムオプション定義属性
Flow Management の出力プラグインで利用する属性の総称です。



補足

システムオプション定義属性は、標準では表示されません。システムオプション定義属性をカスタマイズした場合は表示されます。

- ユーザー定義属性
ユーザーが必要に応じて定義する属性の総称です。
各ルートアイコンの下層には、各属性のアイコンが表示されます。
属性のアイコンの下層には、その属性をフォームテンプレートに設定するコントロールのアイコンが表示されます。



コントロール編集ビューでは、ユーザー定義属性の新規作成や、各属性のコントロールの設定などをします。

レイアウト編集ビュー

レイアウト編集ビューでは、フォームテンプレートのレイアウトを編集します。

必要に応じて、装飾オブジェクトが挿入できます。

コントロールの設定によって挿入されたコントロールオブジェクトや、装飾オブジェクトの配置を変更するなど、フォームテンプレートを編集できます。

[コントロールパーツの編集] ウィンドウ

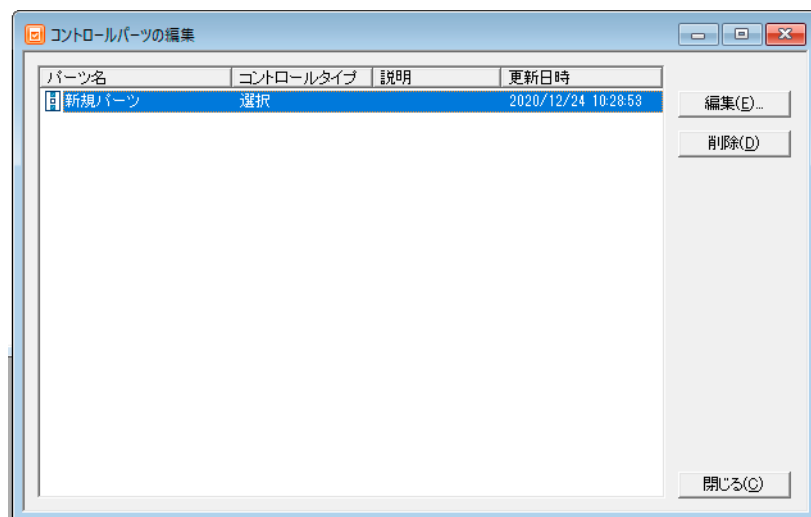
次のコントロールを、コントロールパーツとして登録し、再利用できます。

- BOOL コントロール
- 文字列コントロール
- 選択コントロール
- 数値コントロール
- QR コード描画領域コントロール
- マークシート制御コントロール

コントロールパーツは、コントロールパーツファイルに登録されます。

[コントロールパーツの編集] ウィンドウは、登録したコントロールパーツを編集するためのウィンドウです。

[コントロールパーツの編集] ウィンドウでは、コントロールパーツの編集、削除ができます。



環境設定をする

環境設定では、次の設定ができます。

- Paper Form Editor の起動時に、新規のフォームテンプレートを表示するかどうか
- 読み込み対象のコントロールパーツファイルの場所

- テキスト装飾オブジェクトのフォントとサイズの初期値
環境設定を変更した場合、次の起動時から設定が有効になります。

1. [オプション] メニューから [設定] を選択します。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. [起動時にフォームテンプレートを] で、[表示する] または [表示しない] を選択します。
3. [コントロールパーツファイル] で、コントロールパーツファイル (ControlParts.xcp) をドライブからの絶対パスで入力します。
または、右端の [...] をクリックして、[コントロールパーツファイルを指定] ダイアログボックスを表示して、ファイルを指定します。



初期値は、Paper Form Editor のインストールフォルダ直下にある「system」フォルダ内の「ControlParts.xcp」です。

4. [デフォルトフォント] の [フォント] で、テキスト装飾オブジェクトのフォントの初期値を選択します。



初回起動時は、日本語 OS の場合は MS ゴシック、英語 OS の場合は Arial が設定されています。

5. [デフォルトフォント] の [サイズ] で、テキスト装飾オブジェクトのサイズの初期値を選択します。



初回起動時は、10 ポイントが設定されています。

6. [OK] をクリックします。

表示を変更する

ここでは、ウィンドウ上の表示の変更方法や、複数ウィンドウの表示方法の変更などについて説明します。

- ツールバーを表示する、非表示にする
- 表示倍率を変更する
- 制御記号を表示する、非表示にする
- ウィンドウの表示を変更する

ツールバーを表示する、非表示にする

ツールバーの非表示、表示を切り替えることができます。

1. [表示] メニューで、非表示にする、または表示するツールバーを選択します。
表示されているツールバーを非表示にする場合、ツールバー名の先頭に表示されていたチェックマークが消え、ツールバーが非表示になります。
ツールバーを表示する場合、メニューのツールバー名の先頭にチェックマークが付き、ツールバーが表示されます。

表示倍率を変更する

レイアウト編集ビューの表示倍率を変更できます。

次のいずれかを使って操作します。

- [表示] メニューの [ズーム]
- 表示バーの [ズーム]

[表示] メニューを使う場合

1. [表示] メニューから [ズーム] を選択します。
[ズーム] ダイアログボックスが表示されます。
2. 表示倍率を選択します。[任意指定] を選択した場合は、20 ～ 200% の範囲で、倍率を入力します。
3. [OK] をクリックします。

表示バーを使う場合

1. 表示バーの  [ズーム] から、表示倍率を選択します。



任意の倍率を指定する場合は、[ズーム] のボックスに倍率を入力します。

制御記号を表示する、非表示にする

レイアウト編集ビューには、フォームテンプレートの作成および編集を容易にするために、制御記号が表示されます。

制御記号は、次のとおりです。

- システム QR コード
- システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）
- レジストレーションマークのマージン領域（点線で囲まれた部分）
- オブジェクトのマージン領域（点線で囲まれた部分）
- サービス描画領域コントロール
- QR コード描画領域コントロールオブジェクトの仮の QR コード
- テキスト装飾オブジェクトの枠線
- 文字列コントロールなどの灰色のチェックボックス

制御記号は、必要に応じて、表示、非表示を切り替えることができます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトは挿入できません。そのため、オブジェクトを挿入するときは、制御記号を表示することをお勧めします。

実際のフォームの状態を確認するときは、制御記号を非表示にします。

制御記号の表示、非表示を切り替えるには、次のいずれかを使って操作します。

- [表示] メニューの [制御記号表示]
- 表示バーの [制御記号表示]

[表示] メニューを使う場合

1. [表示] メニューから [制御記号表示] を選択します。
制御記号を表示する場合は、[制御記号表示] の先頭にチェックマークが付き、制御記号が表示されます。
制御記号を非表示にする場合は、[制御記号表示] の先頭に表示されていたチェックマークが消え、制御記号が非表示になります。

表示バーを使う場合

1. 表示バーの  [制御記号表示] をクリックします。
クリックするたびに、制御記号の表示、非表示が切り替わります。

ウィンドウの表示を変更する

メインウィンドウ内に複数のフォームテンプレート編集ウィンドウ（フォームテンプレート）が開いている場合、ウィンドウの表示方法を変更できます。

重ねて表示する

ウィンドウを重ねて表示します。

1. [ウィンドウ] メニューから [重ねて表示] を選択します。
ウィンドウが重ねて表示されます。

並べて表示する

ウィンドウを並べて表示します。

1. [ウィンドウ] メニュー [並べて表示] を選択します。
ウィンドウが並べて表示されます。

グリッド制御を変更する

グリッドとは、一定間隔の格子のことです。

グリッド制御が設定されていると、オブジェクトを配置、移動、サイズ変更する場合、オブジェクトが自動的に近くのグリッドに吸着して配置されます。

起動時は、グリッド制御が設定されています。

グリッドに関係なく自由にオブジェクトを配置したいときは、グリッド制御を解除します。

ここでは、次の操作について説明します。

- グリッド制御を設定する、解除する
- グリッドを表示する、非表示にする
- グリッド間隔を設定する

グリッド制御を設定する、解除する

グリッド制御の設定、解除を切り替えるには、次のいずれかを使って操作します。

- [表示] メニューの [グリッド制御]
- 表示バーの [グリッド制御]

[表示] メニューを使う場合

1. [表示] メニューから [グリッド制御] を選択します。
グリッド制御を解除する場合は、[グリッド制御] の先頭に表示されていたチェックマークが消え、グリッド制御が解除されます。
グリッド制御を設定する場合は、[グリッド制御] の先頭にチェックマークが付き、グリッド制御が設定されます。

表示バーを使う場合

1. 表示バーの  [グリッド制御] をクリックします。
クリックするたびに、グリッド制御の設定、解除が切り替わります。

グリッドを表示する、非表示にする

レイアウト編集ビューには、フォームテンプレートの作成および編集を容易にするために、グリッドが表示されます。起動時は、グリッドが表示されています。

グリッドは、必要に応じて、表示、非表示を切り替えることができます。

1. [表示] メニューから [グリッド表示] を選択します。

グリッドを表示する場合は、[グリッド表示] の先頭にチェックマークが付き、グリッドが表示されます。

グリッドを非表示にする場合は、[グリッド表示] の先頭に表示されていたチェックマークが消え、グリッドが非表示になります。

グリッド間隔を設定する

グリッドの間隔を設定することができます。

グリッドの間隔は、フォームテンプレート編集ウィンドウごとに設定でき、最前面のフォームテンプレート編集ウィンドウに適用されます。

Paper Form Editor 終了時に、最後に閉じられたフォームテンプレート編集ウィンドウのグリッド間隔が、次回起動時に適用されます。

グリッド間隔の初期値は、縦方向、横方向ともに 4mm です。

1. [表示] メニューから [グリッド間隔] を選択します。

[グリッド間隔] ダイアログボックスが表示されます。

2. [横方向] でグリッドの横の間隔を選択します。

[任意] を選択した場合、下のボックスに間隔を mm 単位で入力します。



間隔は、1 ～ 10mm まで入力できます。

3. [縦方向] でグリッドの縦の間隔を選択します。

[任意] を選択した場合、下のボックスに間隔を mm 単位で入力します。



間隔は、1 ～ 10mm まで入力できます。

4. [OK] をクリックします。

基本的な使い方

フォームテンプレート作成の操作の流れ

フォームテンプレートを作成する操作の流れについて説明します。

1. フォームテンプレートを新規作成し、ページ設定をします。

2. 属性にコントロールを設定します。



装飾オブジェクトを先に挿入してもかまいません。

3. 必要に応じて、文字列や線などの装飾オブジェクトを挿入します。

4. グループ化、移動など、オブジェクトを編集したり、配置を変更したりします。

5. フォームテンプレートの内容が完成したら、フォームテンプレート ID などのフォームテンプレート情報を設定します。

6. 必要に応じて、プリントプレビューを表示したり、プリントしたりして、内容を確認します。

7. フォームテンプレートが完成したら、ファイル名を付けて保存します。

8. 保存したフォームテンプレートを編集する場合は、フォームテンプレートファイルを開いて編集し、上書き保存します。

次の編集作業ができます。

- コントロールの設定の変更
- オブジェクトの属性の変更
- オブジェクトの編集（移動、コピー、削除、サイズ変更など）
- オブジェクトの配置の変更
- フォームテンプレート情報の変更

フォームテンプレートを作成する

フォームテンプレートを新規に作成する方法について説明します。

フォームテンプレートの新規作成には、次の手順があります。

- フォームテンプレートを新規作成する
- ページ設定をする



Paper Form Management に登録できるフォームテンプレートファイルは、1 ファイルのサイズの上限が 8MB です。ファイルサイズが 8MB を超えるフォームテンプレートファイルを作成しないでください。

フォームテンプレートを新規作成する

フォームテンプレートを新規作成すると、A4 縦の用紙サイズのフォームテンプレートが作成されます。

用紙サイズは変更できます。

フォームテンプレートを作成するには、次のいずれかを使って操作します。

- [ファイル] メニューの [新規作成]
- 基本バーの [新規ファイル]

1. [ファイル] メニューから [新規作成] を選択するか、または基本バーの  [新規ファイル] をクリックします。
新規フォームテンプレートを表示した、フォームテンプレート編集ウィンドウが表示されます。

ページ設定をする

フォームテンプレートを新規作成したら、最初に用紙サイズを設定します。

1. [ファイル] メニューから [ページ] を選択します。
[ページ設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. [用紙サイズ] からフォームテンプレートの用紙サイズを選択します。



- ・ [用紙サイズ] に [任意] を選択した場合は、[幅] と [高さ] が指定できるようになるので、100 ～ 420mm の範囲で、用紙サイズを入力します。
- ・ 100mm より小さい数値を入力した場合は、100mm として扱われ、420mm より大きい数値を入力した場合は、420mm として扱われます。

3. [用紙サイズ] に [任意] 以外を選択した場合は、[縦] または [横] を選択します。
4. [OK] をクリックします。

属性にコントロールを設定する

フォームテンプレートを作成したら、各属性にコントロールを設定します。

- システム定義属性の場合
- システムオプション定義属性の場合
- ユーザー定義属性の場合

システム定義属性の場合

システム定義属性にコントロールを設定するには、次のように操作します。

1. コントロール編集ビューで、[システム定義属性] の先頭に表示されている [+] をクリックします。
各属性が表示されます。
2. コントロールを設定する属性を右クリックします。
3. 表示されたショートカットメニューから、[コントロールの設定] > 設定するコントロールの順に選択します。
4. レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトを挿入します。
コントロールを設定すると、属性の下層にコントロール名が表示され、属性名の先頭にある未定義を示すアイコン () が定義済みのアイコン () に変わります。



- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。

5. 必要に応じて、装飾オブジェクトで文字列や線などを挿入します。
6. 手順 2 ～ 5 を繰り返して、必要なシステム定義属性すべてに対し、コントロールの設定、装飾オブジェクトの挿入をします。
7. 必要に応じて、グループ化、移動など、オブジェクトを編集したり、配置を変更したりします。
また、コントロールの設定や属性を変更できます。

システムオプション定義属性の場合

システムオプション定義属性にコントロールを設定する方法は、システム定義属性にコントロールを設定する方法と同じです。



システムオプション定義属性を使用したカスタマイズについては、弊社担当者までご連絡ください。

ユーザー定義属性の場合

ユーザーが必要に応じて、独自にフォームテンプレートに設定する属性をユーザー定義属性と言います。必要な属性を新規に作成して、その属性ごとにコントロールを設定します。

ユーザー定義属性を作成するには、次のように操作します。

1. コントロール編集ビューで、[ユーザー定義属性] を右クリックします。
2. 表示されたショートカットメニューから、[ユーザー定義属性の新規作成] を選択します。
[ユーザー定義属性の新規作成] ダイアログボックスが表示されます。
3. [属性名] に新規作成する属性名を入力して、[OK] をクリックします。
属性が作成され、ユーザー定義属性の下層に表示されます。



- ・入力できる文字数は、127 文字までです。
- ・「%」（半角）または「#」（半角）は使用できません。
- ・予約語に指定されている文字は使用できません。予約語に指定されている文字列を属性名として設定すると、エラーメッセージが表示されます。

4. 新規作成した属性を右クリックします。
5. 表示されたショートカットメニューから、[コントロールの設定] > 設定するコントロールの順に選択します。
6. レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトを挿入します。
コントロールが設定されると、属性の下層にコントロール名が表示され、属性名の先頭にある未定義を示すアイコン（) が定義済みのアイコン（) に変わります。



- ・システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。

7. 必要に応じて、装飾オブジェクトで文字列や線などを挿入します。
8. 必要なユーザー定義属性を作成し、手順 1 ～ 4 を繰り返して、コントロールの設定、装飾オブジェクトの挿入をします。
9. 必要に応じて、グループ化、移動など、オブジェクトを編集したり、配置を変更したりします。
また、コントロールの設定や属性を変更できます。

システムオプション定義属性にコントロールを設定する

システムオプション定義属性は、Flow Management の配信先が利用する属性です。システムオプション定義属性に対して、必要に応じてコントロールを設定します。



- ・システムオプション定義属性を使用したカスタマイズについては、弊社担当者までご連絡ください。
- ・システムオプション定義属性は、標準では表示されません。システムオプション定義属性をカスタマイズした場合に表示されます。
- ・コントロールの設定方法は、システム定義属性と同じです。

ユーザー定義属性を作成する

ユーザーが必要に応じて独自にフォームテンプレートに設定する属性をユーザー定義属性と言います。必要な属性を新規に作成して、その属性ごとにコントロールを設定します。ユーザー定義属性を作成するには、次のように操作します。

1. コントロール編集ビューで、[ユーザー定義属性] を右クリックします。
2. 表示されたショートカットメニューから、[ユーザー定義属性の新規作成] を選択します。
[ユーザー定義属性の新規作成] ダイアログボックスが表示されます。
3. [属性名] に新規作成する属性名を入力して、[OK] をクリックします。
属性が作成され、ユーザー定義属性の下層に表示されます。



- ・入力できる文字数は、127 文字までです。
- ・「%」(半角) または「#」(半角) は使用できません。
- ・予約語に指定されている文字は使用できません。予約語に指定されている文字列を属性名として設定すると、エラーメッセージが表示されます。

ユーザー定義属性にコントロールを設定する

ユーザー定義属性にコントロールを設定するには、次のように操作します。

1. 新規作成した属性を右クリックします。
2. 表示されたショートカットメニューから、[コントロールの設定] > 設定するコントロールの順に選択します。
3. レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトを挿入します。
コントロールが設定されると、属性の下層にコントロール名が表示され、属性名の先頭にある未定義を示すアイコン (🔧) が定義済みのアイコン (🔧) に変わります。
4. 必要に応じて、装飾オブジェクトで文字列や線などを挿入します。
5. 必要なユーザー定義属性を作成し、手順 1 ~ 4 を繰り返して、コントロールの設定、装飾オブジェクトの挿入をします。
6. 必要に応じて、グループ化、移動など、オブジェクトを編集したり、配置を変更したりします。
また、コントロールの設定や属性を変更できます。



- ・システム QR コードを囲むマージン領域 (灰色の部分) には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。

フォームテンプレート情報を設定する

フォームテンプレートの内容が完成したら、フォームテンプレート情報を設定します。



フォームテンプレート情報は、フォームテンプレートの新規作成時に設定しますが、必要に応じて、いつでも変更できます。

フォームテンプレートには、次のフォームテンプレート情報を設定できます。

- フォームテンプレート ID
フォームテンプレートを識別するための ID です。フォームテンプレート ID は、Paper Form Management でフォームテンプレートを登録するときに、フォームテンプレートの識別に使用されます。



Paper Form Management は、フォームテンプレート ID に含まれる半角英字、全角英字の大文字、小文字の区別をしません。フォームテンプレートの登録時は、同一の ID として扱います。

新規作成時の初期値は、「新規フォームテンプレート」に設定されています。適切な内容に変更します。

フォームテンプレート ID は、フォームテンプレート編集ウィンドウのタイトルバーに表示されます。



Paper Form Management とフォームテンプレートの登録についての詳細は、『Paper Form Management ヘルプ』を参照してください。

- 作成者・修正者
Paper Form Editor を起動したユーザーのログイン名が、初期値として設定されます。必要に応じて変更します。
- 更新日時
フォームテンプレートの作成日または更新日が、自動的に設定されます。ユーザーが手動で設定することはできません。
- 説明
フォームテンプレートについての説明です。必要に応じて設定します。
- ファイルパス
ファイルのパス情報が、自動的に設定されます。ユーザーが手動で設定することはできません。
- バージョン
テンプレート構造のバージョンと解析ルールのバージョンが、自動的に設定されます。ユーザーが手動で設定することはできません。

1. [ファイル] メニューから [フォームテンプレート情報] を選択します。

[フォームテンプレート情報] ダイアログボックスが表示されます。

2. [ID] タブで、[フォームテンプレート ID] にフォームテンプレート ID を入力します。



- ・入力できる文字数は、255 文字までです。
- ・次の文字と半角スペースは、使用できません。
! " # \$ % & ' () * + , / : ; < = > ? @ [¥] ^ ` { | } ~ ~ -
¢ £ ¤ 「 」 【OK】 CON AUX PRN NUL COM0 COM1 COM2 COM3 COM4
COM5 COM6 COM7 COM8 COM9 LPT0 LPT1 LPT2 LPT3 LPT4 LPT5 LPT6 LPT7
LPT8 LPT9

3. [プロファイル] タブを選択します。

4. 必要に応じて、[作成・修正者] を変更します。

5. 必要に応じて、[説明] に入力します。



入力できる文字数は、511 文字までです。

6. [OK] をクリックします。

フォームテンプレートを保存、プリント、閉じる

フォームテンプレートが完成したら、最後に、フォームテンプレートファイルに保存します。

また、フォームテンプレートのプリントプレビューを表示して、プリントするときの状態を確認したり、プリントしたりできます。

- フォームテンプレートを保存する
- フォームテンプレートのプリントプレビューを確認する
- フォームテンプレートをプリントする
- フォームテンプレートを閉じる



フォームテンプレートをプリントしても、フォームとして利用することはできません。
フォームを作成するには、Paper Form Management でフォームテンプレートを登録し、フォームを作成する必要があります。

詳しくは、『Paper Form Management ヘルプ』を参照してください。

フォームテンプレートを保存する

フォームテンプレートを保存するには、次のいずれかを使って操作します。

- [ファイル] メニューの [名前を付けて保存]
- [ファイル] メニューの [上書き保存]
- 基本バーの [保存]

1. [ファイル] メニューから [名前を付けて保存] または [上書き保存] を選択するか、基本バーの [保存] をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

2. 保存する場所を選択し、[ファイル名] にフォームテンプレートファイル名を入力します。



[ファイルの種類] は、「フォームテンプレートファイル (*.xft)」のままにしておきます。

3. [保存] をクリックします。

フォームテンプレートのプリントプレビューを確認する

プリントプレビューを表示して、プリントされたときの状態を確認できます。



フォームテンプレートをプリントしても、フォームとして利用することはできません。
フォームを作成するには、Paper Form Management でフォームテンプレートを登録し、フォームを作成する必要があります。

詳しくは、『Paper Form Management ヘルプ』を参照してください。

プリントプレビューを表示するには、次のように操作します。

1. [ファイル] メニューから [印刷プレビュー] を選択します。

フォームテンプレート編集ウィンドウの表示内容が、プリントプレビューに切り替わります。



ウィンドウ上部にある [ズームイン] をクリックすると、拡大表示できます。
[ズームアウト] をクリックすると、縮小表示できます。

2. プリントプレビューを終了して、フォームテンプレート編集ウィンドウの表示を元に戻すには、[閉じる] をクリックします。



[印刷] をクリックすると、[印刷] ウィンドウが表示され、フォームテンプレートをプリントできます。

フォームテンプレートをプリントする

フォームテンプレートをプリントするには、次のいずれかを使って操作します。

- [ファイル] メニューの [印刷]
- 基本バーの [印刷]



- ・ フォームテンプレートをプリントしても、フォームとして利用することはできません。フォームを作成するには、Paper Form Management でフォームテンプレートを登録し、フォームを作成する必要があります。詳しくは、『Paper Form Management ヘルプ』を参照してください。
- ・ 制御記号はプリントされません。

1. [ファイル] メニューから [印刷] を選択するか、基本バーの  [印刷] をクリックします。
[印刷] ウィンドウが表示されます。

2. 必要な設定をして、[OK] をクリックします。

フォームテンプレートを閉じる

フォームテンプレートを閉じるには、次のいずれかを使って操作します。

- [ファイル] メニューの [閉じる]
- フォームテンプレート編集ウィンドウの [x] (閉じる)

1. [ファイル] メニューから [閉じる] を選択するか、フォームテンプレート編集ウィンドウの右上隅にある [x] をクリックします。
フォームテンプレート編集ウィンドウが閉じます。



フォームテンプレート編集ウィンドウに表示されているフォームテンプレートの内容が保存されていない場合は、フォームテンプレートを保存するかどうか確認のメッセージが表示されます。
保存する場合は [はい]、保存しない場合は [いいえ] をクリックします。

フォームテンプレートファイルを編集する

ここでは、次の操作について説明します。

- フォームテンプレートファイルを開く
- フォームテンプレートを編集する
- フォームテンプレートを上書き保存する

フォームテンプレートファイルを開く

フォームテンプレートファイルを開くには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- [ファイル] メニューから [開く] を選択します。
- 基本バーの  [開く] をクリックします。



Windows のエクスプローラ上で、フォームテンプレートファイルをダブルクリックして、開くこともできます。

2. ファイルの場所と、開きたいフォームテンプレートファイルを選択します。

3. [OK] をクリックします。



フォームテンプレートファイルのアイコンをメインウィンドウにドラッグ&ドロップしても、ファイルを開くことができます。

フォームテンプレートを編集する

フォームテンプレートファイルを開き、フォームテンプレートに対して、次の編集作業ができます。

- コントロールの編集
コントロールに対して、次の編集ができます。
- ユーザー定義属性名の変更
- ユーザー定義属性の削除
- コントロールの設定変更
- マークシートを構成するコントロールの順序変更
- コントロールの削除
- コントロールのコピー、貼り付け
- オブジェクトの編集
オブジェクトに対して、次の編集ができます。
- コントロールオブジェクトの属性変更
- 装飾オブジェクトの属性変更
- オブジェクトの編集（移動、サイズ変更、切り取り、コピー、貼り付け、グループ化など）
- オブジェクトの配置の変更
- フォームテンプレート情報の変更
フォームテンプレート情報を変更できます。

フォームテンプレートを上書き保存する

編集を加えたフォームテンプレートを、フォームテンプレートファイルに上書き保存するには、次のいずれかを使って操作します。

- [ファイル] メニューの [上書き保存]
- 基本バーの [保存]

1. [ファイル] メニューから [上書き保存] を選択するか、基本バーの [保存] をクリックします。 編集を加えたフォームテンプレートが、フォームテンプレートファイルに上書き保存されます。

コントロールの設定

コントロールの設定について

コントロールは、フォームテンプレートに、ユーザーの指示、または属性情報などを記述するためのパーツです。

属性にコントロールを設定すると、レイアウト編集ビューのフォームテンプレートに、コントロールオブジェクトが挿入されます。

フォームテンプレートに埋め込まれた情報や、コントロールオブジェクトにユーザーが手書きで記述した指示が、Flow Management の [フォーム解析] 機能で解析され、その内容に従って文書が処理されます。

コントロールには、次の 8 種類があります。

- BOOL コントロール
- 文字列コントロール
- 選択コントロール
- 数値コントロール
- 領域切り出しコントロール
- QR コード描画領域コントロール
- サービス描画領域コントロール
- マークシート制御コントロール

BOOL コントロールを設定する

BOOL コントロールは、チェックボックスコントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

チェックボックスがチェックされた場合とチェックされなかった場合の、2 つの値を定義しておき、フォームを解析するときに、いずれかの値が取り出されます。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます。フォームをプリントするときは、チェックボックスがプリントされます。

BOOL コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [BOOL]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [BOOL]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [BOOL] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [BOOL] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する位置でクリックします。

[BOOL コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。



クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. [チェックされたとき]、[チェックされていないとき] を次のように設定します。

- システム定義属性の場合は、値を選択します。
- ユーザー定義属性の場合は、値を入力します。
- システムオプション定義属性の場合は、値を選択または入力します。



値を入力する場合、入力できる文字数は、255 文字までです。

5. [OK] をクリックします。

チェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

6. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

文字列コントロールを設定する

文字列コントロールは、フォームに値（情報）を埋め込むときに使用するコントロールです。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます。

フォームをプリントするときは、チェックボックスはプリントされませんが、フォームを解析するときは、文字列として認識されます。

文字列コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [文字列]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [文字列]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [文字列] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [文字列] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する位置でクリックします。

[文字列コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・ クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. [文字列] (マルチページフォーム設定の場合は、[複数フォーム名] と [ページ番号]) を次のように設定します。

- システム定義属性（マルチページフォーム設定以外）の場合は、値を選択します。
- システム定義属性マルチページフォーム設定の場合は、複数フォーム名とページ番号・総ページ数を入力します。

- ユーザー定義属性の場合は、値を入力します。
- システムオプション定義属性の場合は、値を選択または入力します。



- ・ 値を選択する場合、リストに表示されるのは、文字列の先頭 20 文字だけです。選択すると、下部のボックスに完全な形で文字列がすべて表示されます。
- ・ 値を入力する場合、入力できる文字数は、511 文字までです。

5. [OK] をクリックします。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトは、フォームにはプリントされません。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

6. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

選択コントロールを設定する

選択コントロールは、複数のチェックボックスコントロールオブジェクトを 1 組としたコントロールです。

フォームを解析するときに、選択されているチェックボックスの値だけが取り出されます。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューに設定した個数のチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます。

フォームをプリントするときは、チェックボックスがプリントされます。

選択コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [選択]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [選択]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [選択] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [選択] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する位置でクリックします。

[選択コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・ クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. 次のいずれかの操作をします。

- システム定義属性の場合は、[利用できる値] から値を選択します。
- ユーザー定義属性の場合は、[選択項目] に値を入力します。
- システムオプション定義属性の場合は、[利用できる値] から値を選択、または [選択項目] に値を入力します。



値を入力する場合、入力できる文字数は、255 文字までです。

5. [追加] をクリックします。

[設定する値] に、[選択項目] の内容が追加されます。



設定できる項目は、50 項目までです。

6. 手順 4、5 を繰り返して、値をすべて設定します。



- ・挿入されるチェックボックスは、[設定する値] に表示された順序に値が設定されます。[設定する値] に表示された値の順序を変更するには、順序を変更する値を選択して、[上へ] または [下へ] をクリックします。
- ・設定した値を取り消す場合は、[設定する値] で値を選択して、[削除] をクリックします。

7. [未入力制御] から、未入力のとき (1 つもチェックボックスが選択されなかったとき) の処理を選択します。

[制御しない] を選択すると、未入力制御をしません。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、未入力の場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

8. [多値制御] から、複数のチェックボックスが選択されたときの処理を選択します。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、複数のチェックボックスが選択された場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

[値を連結する] を選択すると、選択されたチェックボックスの値を連結して 1 つの値にします。

[セパレーターを使用して値を連結する] を選択すると、選択されたチェックボックスの値を、[セパレーター文字列] に指定した値で連結して、1 つの値にします。

[最初に選択された値とする] を選択すると、選択されたチェックボックスのうち、最初に選択された値を、入力値とします。

[最後に選択された値とする] を選択すると、選択されたチェックボックスのうち、最後に選択された値を、入力値とします。

9. 必要に応じて、[セパレーター文字列] に、多値制御のセパレーター文字列として使用する文字を入力します。



[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、63 文字までです。

10. 必要に応じて、[デフォルト値] に、未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255 文字までです。

11. [OK] をクリックします。

チェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

12. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

数値コントロールを設定する

数値コントロールは、6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

コントロールを設定すると、設定時に指定した桁数の数の 6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトが、レイアウト編集ビューに表示されます。

フォームをプリントするときは、6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトがプリントされます。

数値コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [数値]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [数値]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [数値] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [数値] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する位置でクリックします。

[数値コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



補足

- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・ クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. [桁数] に、桁数を設定します。



補足

設定できる桁数は、1 ～ 16 桁です。

5. [未入力制御] から、未入力するとき（1 つも数値が記入されなかったとき）の処理を選択します。

[制御しない] を選択すると、未入力制御をしません。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、未入力の場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

6. 必要に応じて、[デフォルト値] に、未入力制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

7. 必要に応じて、[トリム指定] で、数値の先頭、または末尾の空白の処理を選択します。

[先頭の空白を無視する] を選択すると、数値の先頭が空白の場合、先頭に設定された空白を取り除いて値を処理します。

[末尾の空白を無視する] を選択すると、数値の先頭が空白の場合、末尾に設定された空白を取り除いて値を処理します。



補足

初期値は、[先頭の空白を無視する] と [末尾の空白を無視する] の両方が選択されています。

8. [OK] をクリックします。

6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトが挿入されます。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

9. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

領域切り出しコントロールを設定する

領域切り出しコントロールは、領域切り出しコントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

コントロールの設定時に、レイアウト編集ビューに矩形を描き、その矩形が領域切り出しコントロールオブジェクトとして挿入されます。

フォームをプリントするとき、矩形もプリントされます。フォームを解析するときに、矩形の範囲をイメージとして切り出します。

領域切り出しコントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [領域切り出し]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [領域切り出し]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [領域切り出し] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [領域切り出し] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する範囲をドラッグします。

領域切り出しコントロールオブジェクトが挿入されます。



- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・ 挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

QR コード描画領域コントロールを設定する

QR コード描画領域コントロールは、QR コード描画領域コントロールオブジェクトを用いたコントロールです。

コントロールを設定すると、QR コード描画領域コントロールオブジェクトが、レイアウト編集ビューに表示されます。

フォームにプリントされる内容は、コントロール設定時に選択する、次の 2 つの QR コード描画方法によって異なります。

- Paper Form & QR Code Reader Option のカスタマイズ用ライブラリーを使用する
Paper Form & QR Code Reader Option のカスタマイズ用ライブラリーを使用したアプリケーションを別途用意することによって、フォームに QR コードを描画してプリントできます。Paper Form & QR Code Reader Option のカスタマイズ用ライブラリーを使用したアプリケーションを使わない場合は、この描画方法を選択しないでください。誤って選択した場合、フォームをプリントしたときに、この領域には何もプリントされません。



補足

カスタマイズ用ライブラリーについては、弊社担当者までご連絡ください。

- シールを使用して QR コードを貼り付ける
フォームをプリントしたときに、QR コードの貼り付け位置を示すガイドマークがプリントされます。
また、どちらの描画方法を選択した場合でも、枠線のプリントは自由に指定できます。



補足

制御記号を表示しない設定のときは、レイアウト編集ビューには、QR コード描画領域コントロールオブジェクトが表示されません。

QR コード描画領域コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [QR コード描画領域]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [QR コード描画領域]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [QR コード描画領域] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [QR コード描画領域] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する位置でクリックします。

[QR コード描画領域コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



補足

- ・ システム QR コードを囲むマージン領域 (灰色の部分) には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・ クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. [QR コード描画方法] を選択します。

Paper Form & QR Code Reader Option のカスタマイズ用ライブラリーを使って QR コードを描画する場合は、[ライブラリーを使用する] を選択し、[バージョン] を設定します。

[バージョンを固定で描画する] にチェックマークを付けると、設定したバージョンで QR コードが描画されます。

[バージョンを固定で描画する] のチェックマークを外すと、設定したバージョンの値を上限として、データ量に合わせてバージョンが自動設定されます。

シールを使って QR コードを描画する場合は、[シールを使用する] を選択し、QR コードの [幅] と [高さ] を設定します。



補足

バージョンは、QR コードに設定する情報量によって決定する必要があります。詳細は、弊社担当者までご連絡ください。

5. [未入力制御] から、未入力するとき (QR コードが記入されなかったとき) の処理を選択します。

[制御しない] を選択すると、未入力制御をしません。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、未入力の場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

6. 必要に応じて、[デフォルト値] に、未入力制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255 文字までです。

7. [OK] をクリックします。

QR コード描画領域コントロールオブジェクトが挿入されます。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

8. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

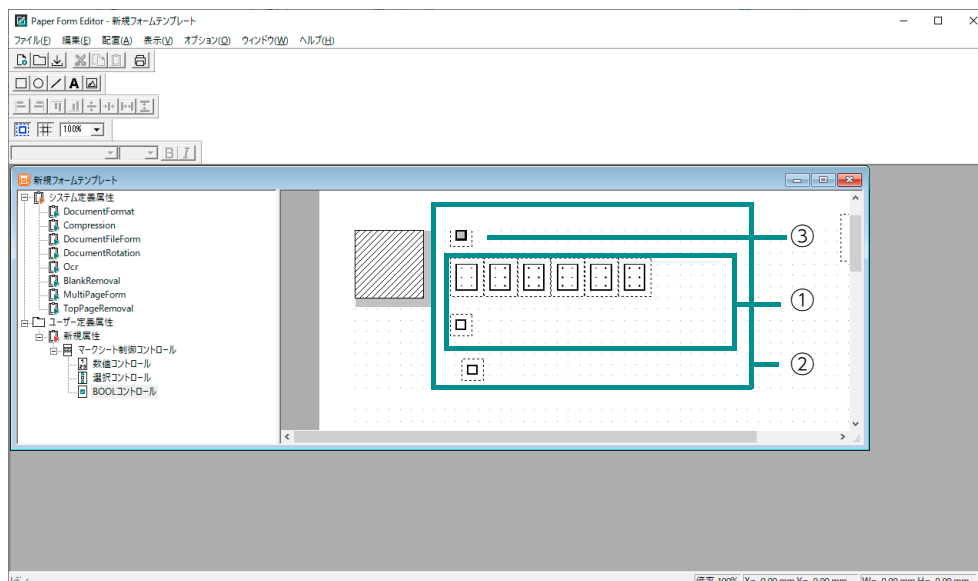
マークシート制御コントロールを設定する

マークシート制御コントロールは、マークシートを構成するコントロール（①：BOOL コントロール、文字列コントロール、選択コントロール、数値コントロール、QR コード描画領域コントロール）から取得した値を連結して、1 つの値としてまとめます。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトが表示されます（②）。

フォームをプリントするときは、チェックボックスはプリントされません。

マークシート制御コントロールと、マークシートを構成するコントロールをまとめてマークシート（③）と呼びます。



コントロールの設定では、まずマークシート制御コントロールを設定し、引き続きマークシートを構成する各コントロールを設定します。マークシートを構成する各コントロールは、マークシート制御コントロールのアイコンの下に表示されている順序で解析されます。

マークシート制御コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [マークシート制御]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [マークシート制御]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [マークシート制御] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [マークシート制御] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が  に変わります。

3. コントロールオブジェクトを挿入する位置でクリックします。

[マークシート制御コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



- ・システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. [未入力制御] から、未入力のとき（1 つも値が入力されなかったとき）の処理を選択します。

[制御しない] を選択すると、未入力制御をしません。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、未入力の場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

5. [多値制御] から、複数の値が入力されたときの処理を選択します。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、複数の値が入力された場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

[値を連結する] を選択すると、入力された値を連結して 1 つの値にします。

[セパレーターを使用して値を連結する] を選択すると、入力された値を、[セパレーター文字列] に指定した値で連結して、1 つの値にします。

[最初に選択された値とする] を選択すると、入力された値のうち、最初に入力された値を、入力値とします。

[最後に選択された値とする] を選択すると、入力された値のうち、最後に入力された値を、入力値とします。

6. 必要に応じて、[セパレーター文字列] に、多値制御のセパレーター文字列として使用する文字を入力します。



[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、63 文字までです。

7. 必要に応じて、[デフォルト値] に、未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255 文字までです。

8. [OK] をクリックします。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトは、フォームにはプリントされません。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

9. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

10. マークシート制御コントロールアイコンを右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] を選択します。

マークシート制御コントロールアイコンの下に挿入するコントロールを選択して、設定します。

11. 手順 10 を繰り返して、マークシートを構成する各コントロールを設定します。

サービス描画領域コントロールを設定する

サービス描画領域コントロールは、フォームにデータを流し込む領域を定義するコントロールです。フォームを自動的にカスタマイズするアプリケーション用のフォームテンプレートを作成するときに使用します。



このコントロールを使用したカスタマイズについては、弊社担当者までご連絡ください。

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにチェックボックスコントロールオブジェクトと、設定時に描いた矩形のサービス描画領域オブジェクトが挿入されます。

サービス描画領域オブジェクトは、複数の行と列（カラム）に分割されます。分割された個々の矩形をセルと呼びます。

行数は、描いた矩形の高さで決まり、カラム数（列数）は、コントロールの設定時に指定します。

フォームを作成するときに、各セル内にデータを流し込むことができます。

1つのフォームテンプレートから作成する複数のフォームに、異なる情報を持たせたいときに使用します。

サービス描画領域コントロールを設定するには、次のいずれかを使って操作します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューの [コントロールの設定] > [サービス描画領域]
- [編集] メニューの [コントロールの設定] > [サービス描画領域]

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [サービス描画領域] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [サービス描画領域] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. サービス描画領域オブジェクトを挿入する範囲をドラッグします。

[サービス描画領域コントロール] ダイアログボックスが表示されます。



- ・ システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・ コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・ 指定した範囲の左上にチェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。

4. [カラム数] に、列数を設定します。



設定できる最大列数は、手順 3 で指定した矩形の幅を 4mm で割った値です。設定できる最小列数は、1 です。

5. [未入力制御] から、未入力するとき（1つも値が入力されなかったとき）の処理を選択します。

[制御しない] を選択すると、未入力制御をしません。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、未入力の場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

6. [多値制御] から、複数の値が入力されたときの処理を選択します。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

[エラーとする] を選択すると、複数の値が入力された場合はエラーになり、フォーム解析は中断します。

[値を連結する] を選択すると、入力された値を連結して 1 つの値にします。

「セパレーターを使用して値を連結する」を選択すると、入力された値を、「セパレーター文字列」に指定した値で連結して、1つの値にします。

「最初を選択された値とする」を選択すると、入力された値のうち、最初に入力された値を、入力値とします。

「最後に選択された値とする」を選択すると、入力された値のうち、最後に入力された値を、入力値とします。

7. 必要に応じて、「セパレーター文字列」に、多値制御のセパレーター文字列として使用する文字を入力します。



「セパレーター文字列」に入力できる文字数は、63文字までです。

8. 必要に応じて、「デフォルト値」に、未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255文字までです。

9. [OK] をクリックします。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトと、サービス描画領域オブジェクトが挿入されます。

灰色のチェックボックスコントロールオブジェクトは、フォームにはプリントされません。



挿入されたコントロールオブジェクトは、ポップヒントで属性を確認できます。

10. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

オブジェクトの編集

オブジェクトの編集について

コントロールを設定すると、レイアウト編集ビューにコントロールオブジェクトが挿入されます。

また、レイアウト編集ビューには、図形や文字列（テキスト）、イメージなどの装飾オブジェクトを挿入することができます。

コントロールオブジェクトと装飾オブジェクトを総称してオブジェクトと呼びます。

オブジェクトは、必要に応じて、次の編集ができます。

編集の種類		オブジェクト	
		コントロールオブジェクト	装飾オブジェクト
属性の変更		位置の変更	辺、面、線、テキスト、フォント、イメージファイル、位置、サイズ、ラベルの変更
		領域切り出しコントロールオブジェクトのサイズの変更	
		QR コード描画領域コントロールオブジェクトのサイズと枠線の変更	
		サービス描画領域オブジェクトの 1 行の高さ、行数の変更	
		サービス描画領域オブジェクトのカラムの属性変更	
編集	選択、選択解除	オブジェクトの選択、選択解除	
	削除	コントロールの削除	装飾オブジェクトの削除
	移動	オブジェクトの移動	
	サイズ変更	オブジェクトのサイズ変更	
	切り取り	—	装飾オブジェクトの切り取り、コピー、貼り付け
	コピー、貼り付け	コントロールのコピー、貼り付け	
	グループ化、グループ解除	オブジェクトのグループ化、グループ化解除	
	編集を元に戻す	オブジェクトの編集を元に戻す	
配置の変更	整列	オブジェクトの整列（端をそろえる） オブジェクトの整列（中央に配置） オブジェクトの配置（オブジェクト同士が接するように配置）	
	重なり	オブジェクトの重なりの変更	

コントロールオブジェクトの属性変更

属性について

レイアウト編集ビューに挿入したコントロールオブジェクトには、属性が設定されます。

- プロパティダイアログボックス
- 属性を確認する

プロパティダイアログボックス

コントロールオブジェクトの属性は、プロパティダイアログボックスを表示して確認できます。

プロパティダイアログボックスは、コントロールオブジェクトの種類によって、次の名称が付けられています。

- [チェックボックスコントロールオブジェクト] ダイアログボックス
チェックボックスコントロールオブジェクト（BOOL、文字列、選択、サービス描画領域、マークシート制御）の場合に表示されます。
- [6点ガイド式数値入力コントロールオブジェクト] ダイアログボックス
6点ガイド式数値入力コントロールオブジェクト（数値コントロール）の場合に表示されます。
- [領域切り出しコントロールオブジェクト] ダイアログボックス
領域切り出しコントロールオブジェクト（領域切り出しコントロール）の場合に表示されます。
- [QRコード描画領域コントロールオブジェクト] ダイアログボックス
QRコード描画領域コントロールオブジェクトの場合に表示されます。
- [サービス描画領域] ダイアログボックス
サービス描画領域オブジェクト（サービス描画領域コントロール）の場合に表示されます。

属性を確認する

プロパティダイアログボックスを表示するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

各オブジェクトのプロパティダイアログボックスが表示されます。

プロパティダイアログボックスでは、コントロールオブジェクトの属性が、種類ごとにタブに分かれて表示されます。

- コントロールオブジェクトをダブルクリックします。
- コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- コントロールオブジェクトを選択して、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。



- ・ [領域] タブは、サービス描画領域オブジェクトのプロパティダイアログボックスにだけ表示されます。
- ・ [枠線] タブは、QRコード描画領域コントロールオブジェクトのプロパティダイアログボックスにだけ表示されます。

【情報】 タブ

- データスコープ名
解析する情報のスコープの名前です。属性名が設定されます。
- データセット名
フォーム定義上のデータセット名です。
- 順序
コントロールオブジェクト（ユニット）の解析順序です。
- 有効値
コントロールの設定時にダイアログボックスで設定した情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ「,」や「¥」を入力した場合、「,」や「¥」の直前に半角の「¥」が付加されて表示されます（例：「¥,」 「¥¥」）。

- エキストラデータ
コントロールの設定時にダイアログボックスで設定した文字列情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ「,」や「¥」を入力した場合、「,」や「¥」の直前に半角の「¥」が付加されて表示されます（例：「¥,」 「¥¥」）。

【位置】 タブ

- 左上位置
コントロールオブジェクトの左上の位置を示す座標です。
- サイズ
コントロールオブジェクトの幅と高さです。



領域切り出しコントロールオブジェクト、QR コード描画領域コントロールオブジェクトは、【位置】 タブの【サイズ】 も変更できます。

【値】 タブ

- フォームシート上に表示
フォーム化したときに、紙面上に表示するかしないかの情報です。チェックボックスコントロールオブジェクト、6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトだけが対象です。
- 解析済み
解析しなくても値が決定しているかどうかの情報です。チェックボックスコントロールオブジェクト、6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトだけが対象です。



領域切り出しコントロールオブジェクト、QR コード描画領域コントロールオブジェクト、サービス描画領域オブジェクトは、【値】 タブがありません。

【枠線】 タブ

- 枠線を表示
フォーム化したときに、紙面上に枠線を表示するかしないかの情報です。QR コード描画領域コントロールオブジェクトだけが対象です。

【領域】 タブ

- 領域名
サービス描画領域オブジェクトの名前です。属性名が設定されます。
- データスコープ名
サービス描画領域コントロールの、チェックボックスコントロールオブジェクトのデータスコープ名が表示されます。
- 1 行の高さ
サービス描画領域オブジェクトの 1 行の高さです。
- 行数
サービス描画領域オブジェクトの行数です。

位置を変更する

コントロールオブジェクトの位置を変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロールオブジェクトをダブルクリックします。
- コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから【プロパティ】を選択します。
- コントロールオブジェクトを選択して、【編集】メニューから【プロパティ】を選択します。
各オブジェクトのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2. 【位置】 タブを選択します。

【位置】 タブが表示されます。

3. [左上位置] の X 座標、Y 座標を変更します。



- ・単位は、mm です。
- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、999.99 ～ -999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

4. [OK] をクリックします。

領域切り出しコントロールオブジェクトのサイズを変更する

領域切り出しコントロールオブジェクトのサイズを変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- 領域切り出しコントロールオブジェクトをダブルクリックします。
- 領域切り出しコントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- 領域切り出しコントロールオブジェクトを選択して、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。
[領域切り出しコントロールオブジェクト] ダイアログボックスが表示されます。

2. [位置] タブを選択します。

[位置] タブが表示されます。

3. [サイズ] の [幅] と [高さ] を変更します。



- ・単位は、mm です。
- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、0.01 ～ 999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0.01mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。

4. [OK] をクリックします。

QR コード描画領域コントロールオブジェクトのサイズと枠線を変更する

QR コード描画領域コントロールオブジェクトのサイズと枠線を変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- QR コード描画領域コントロールオブジェクトをダブルクリックします。
- QRコード描画領域コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- QR コード描画領域コントロールオブジェクトを選択して、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。
[QR コード描画領域コントロールオブジェクト] ダイアログボックスが表示されます。

2. [位置] タブを選択します。

[位置] タブが表示されます。

3. [サイズ] の [幅] と [高さ] を変更します。



- ・単位は、mm です。
- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に設定されます。
- ・縦横比は常に固定されるので、[幅] と [高さ] は連動します。
- ・[QR コードの描画方法] に [ライブラリーを使用する] を選択して設定した QR コード描画領域コントロールオブジェクトだけ、[幅] と [高さ] に入力できます。

4. [枠線] タブを選択します。
[枠線] タブが表示されます。

5. 枠線を表示する場合は、[する] を選択します。
枠線を表示しない場合は、[しない] を選択します。

6. [OK] をクリックします。

サービス描画領域オブジェクトの 1 行の高さ、行数を変更する

サービス描画領域オブジェクトの 1 行の高さ、行数を変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- サービス描画領域オブジェクトの枠線をダブルクリックします。
- サービス描画領域オブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- サービス描画領域オブジェクトを選択して、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。
[サービス描画領域] ダイアログボックスが表示されます。

2. [1 行の高さ] を変更します。



- ・単位は、mm です。
- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、0.01 ~ 999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0.01mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。

3. [行数] を変更します。



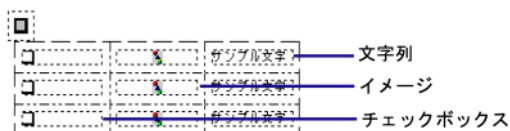
入力できる数値は、1 以上の整数です。

4. [OK] をクリックします。

サービス描画領域オブジェクトのカラムの属性を変更する

サービス描画領域コントロールを設定すると、設定時に指定した矩形のサービス描画領域オブジェクトが挿入されます。

サービス描画領域オブジェクトは、設定時に指定したカラム数で、セルに分割されます。



各セルは、カラム (列) 単位に、次の属性が設定されます。

- 列名
255 文字までの文字列です。
- 列幅
小数点以下 2 桁までの数値（mm 単位）です。
- 内容
文字列、イメージ、チェックボックスのいずれかです。
初期値は文字列に設定されます。
文字列の場合は、フォントが設定できます。
- セルの内マージン
この値で指定された部分に点線の矩形が表示されます（制御記号表示のとき）。



- ・ 文字列の場合は、このマージン内に表示されるので、フォントの設定によっては文字が欠けることがあります。
- ・ イメージの場合は、このマージン内に元のイメージの縦横比を保って拡大縮小され、矩形の中央に配置されるように読み込まれます。
- ・ チェックボックスの場合は、マージン内の左上位置に各辺 4mm のチェックボックスが表示されます。



サービス描画領域コントロールを設定すると、サービス描画領域オブジェクトとともにチェックボックスコントロールオブジェクトが挿入されます。
サービス描画領域オブジェクトのカラム属性は変更できます。
サービス描画領域オブジェクトのカラム属性を変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- セルをダブルクリックします。
- セルをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- セルをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。
[列] ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて、[列名] を変更します。

3. 必要に応じて、[列幅] を変更します。



- ・ 単位は、mm です。
- ・ 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・ 入力できる範囲は、0.01 ～ 999.99mm までです。
- ・ 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0.01mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。
- ・ 列幅を変更したカラムの右隣にカラムがある場合、右隣のカラムの幅も変更されます。
- ・ 右隣のカラム幅を超えた幅に変更した場合は、右隣のカラムは、チェックボックスカラムのとき最小値の 8mm まで、テキスト、イメージカラムのとき最小値の 4mm まで縮小します。ただし、右側のカラムが上記の最小値より小さく設定されている場合は、右側のカラムはサイズ変更されません。

4. [内容] を変更するときは、[内容] で [文字列]、[イメージ]、[チェックボックス] のいずれかを選択します。

5. [内容] で [文字列] を選択した場合は、[設定] をクリックします。

[テキスト] ダイアログボックスが表示されます。

6. 必要に応じて、[フォント]、[スタイル]、[サイズ]、[文字色]、[背景色] を変更して、[OK] をクリックします。

7. [セル] タブを選択します。
[セル] タブが表示されます。

8. 必要に応じて、[内マージン] を変更します。



- ・単位は、mm です。
- ・0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・入力できる範囲は、0 ～ 99.99mm までです。
- ・99.99mm より大きい値を入力した場合は、99.99mm に、0mm より小さい値を入力した場合は、0mm に設定されます。

9. [OK] をクリックします。

装飾オブジェクトの挿入と属性変更

装飾オブジェクトを挿入する

フォームテンプレートには、図形や文字列（テキスト）、イメージを挿入できます。図形や文字列（テキスト）、イメージを装飾オブジェクトと呼びます。

装飾オブジェクトには、次の 5 種類があります。

- 矩形
- 長円形
- 線
- テキスト
- イメージ



装飾オブジェクトは、Paper Form 機能による解析の対象にはなりません。

矩形を挿入する

フォームテンプレートに、矩形（長方形、正方形）を挿入する方法について説明します。

長方形を挿入する

1. 装飾オブジェクト挿入バーの  [矩形挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。
3. 長方形を挿入する位置で、長方形の範囲をドラッグします。
長方形が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

正方形を挿入する

1. 装飾オブジェクト挿入バーの  [矩形挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。

3. 正方形を挿入する位置で、< Ctrl >キーを押しながら正方形の範囲をドラッグします。
正方形が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

長円形を挿入する

フォームテンプレートに、長円形（楕円、正円）を挿入する方法について説明します。

楕円を挿入する

1. 装飾オブジェクト挿入バーの  [長円形挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。
3. 長円形を挿入する位置で、楕円の範囲をドラッグします。
楕円が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

正円を挿入する

1. 装飾オブジェクト挿入バーの  [長円形挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。
3. 正円を挿入する位置で、< Ctrl >キーを押しながら正円の範囲をドラッグします。
正円が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

線を挿入する

フォームテンプレートに、線を挿入する方法について説明します。

自由な角度の線、または 45 度単位で傾いた線を描くことができます。

自由な角度の線を挿入する

1. 装飾オブジェクト挿入バーの  [線挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。
3. 線を挿入する位置で、描きたい線を対角線とした矩形の範囲をドラッグします。
矩形の始点と終点を結ぶ線が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

45 度単位で傾いた線を挿入する

1. 装飾オブジェクト挿入バーの [線挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。
3. 線を挿入する位置で、< Ctrl > キーを押しながらドラッグします。
水平に近い角度でドラッグすると、水平の線が挿入されます。垂直に近い角度でドラッグすると、垂直の線が挿入されます。45 度傾いた線を挿入する場合は、矩形の範囲を描きます。矩形の始点と終点を結ぶ線が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

4. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

テキストを挿入する

フォームテンプレートに、文字列を挿入する方法について説明します。

1. 装飾オブジェクト挿入バーの [テキスト挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域で、テキストを挿入する範囲をドラッグします。
テキスト装飾オブジェクトがテキスト編集モードで表示されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

3. 文字列を入力します。



- ・入力できる文字数は、511 文字までです。
- ・テキスト装飾オブジェクト内でかな漢字変換以外で < Enter > キーを押すと、改行されます。

4. 編集中のテキスト装飾オブジェクト以外をクリックするか、または < Esc > キーを押します。
テキスト編集モードが解除され、文字列が確定します。



- ・文字列の周りに表示される点線は、制御記号表示のときだけ表示されます。プリントされません。
- ・入力した文字列上でクリックすると、入力できる状態になり、文字列を変更できます。

イメージを挿入する

フォームテンプレートに、イメージ（ビットマップファイル）を挿入する方法について説明します。

1. 装飾オブジェクト挿入バーの [イメージ挿入] をクリックします。
2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターが十字の形に変わります。
3. イメージを挿入する位置で、イメージを挿入する範囲をドラッグします。

矩形が挿入されます。



システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。

- 表示された矩形をダブルクリックします。 [イメージ] ダイアログボックスの [ファイル] タブが表示されます。



矩形をクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択しても、[イメージ] ダイアログボックスを表示できます。

- [参照] をクリックします。
[参照] ダイアログボックスが表示されます。

- ファイルの場所、ファイル名を選択して、[開く] をクリックします。
[イメージ] ダイアログボックスの [ファイル名] に、選択したファイル名が表示されます。
[参照] ダイアログボックスを表示して、ファイルを選択できます。



[ファイル名] に指定したファイル名は、フォームテンプレート編集ウィンドウを閉じるまで保持されます。そのフォームテンプレートを次に開いたときは、[ファイル名] にイメージファイルのファイル名は表示されません。

- [OK] をクリックします。
ビットマップファイルが取り込まれ、矩形の中に表示されます。



ビットマップファイルを変更する場合は、挿入したイメージをダブルクリックするか、または挿入したイメージを右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択します。[イメージ] ダイアログボックスが表示され、再度ビットマップファイルを指定できます。

- 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

装飾オブジェクトの属性を変更する

挿入した装飾オブジェクトには、属性が設定されます。属性は、プロパティダイアログボックスを表示して確認できます。

プロパティダイアログボックスは、装飾オブジェクトの種類によって、次の5種類の名称が付けられています。ここでは、5種類をまとめてプロパティダイアログボックスと呼びます。

- [矩形] ダイアログボックス
矩形装飾オブジェクトの場合に表示されます。
- [長円形] ダイアログボックス
長円形装飾オブジェクトの場合に表示されます。
- [線] ダイアログボックス
線装飾オブジェクトの場合に表示されます。
- [テキスト] ダイアログボックス
テキスト装飾オブジェクトの場合に表示されます。
- [イメージ] ダイアログボックス
イメージ装飾オブジェクトの場合に表示されます。

ここでは、プロパティダイアログボックスを表示して、装飾オブジェクトの属性を変更する操作について説明します。

- プロパティダイアログボックスを表示する

- 辺・面を変更する
- 線を変更する
- テキスト、フォントを変更する
- イメージファイルを変更する
- 位置・サイズを変更する
- ラベルを変更する

プロパティダイアログボックスを表示する

プロパティダイアログボックスを表示するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- オブジェクトをダブルクリックします。
- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して [プロパティ] を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。

各オブジェクトのプロパティダイアログボックスが表示されます。

プロパティダイアログボックスでは、装飾オブジェクトの属性が、種類ごとにタブに分かれて表示されます。



- テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態になります。文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態を解除します
- テキスト装飾オブジェクトを選択状態にするには、次のいずれかの操作をします。
 - 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
 - テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。
 なお、文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

- [辺・面] タブ
矩形装飾オブジェクト、長円形装飾オブジェクトの場合に表示されます。辺（または円周）の線の幅、辺の色、面の色を変更できます。また、辺や面を非表示（透明）にできます。
- [線] タブ
線装飾オブジェクトの場合に表示されます。線の幅、色を変更できます。
- [テキスト] タブ
テキスト装飾オブジェクトの場合に表示されます。文字列の内容を変更できます。
- [フォント] タブ
テキスト装飾オブジェクトの場合に表示されます。フォントの種類、スタイル、サイズ、文字色、背景色を変更できます。また、背景色を透明にできます。
- [ファイル] タブ
イメージ装飾オブジェクトの場合に表示されます。挿入するビットマップファイルを変更できます。
- [位置] タブ
すべての装飾オブジェクトのプロパティダイアログボックスで表示されます。フォームテンプレート上のオブジェクトの位置とサイズを、数値の入力で変更できます。
- [ラベル] タブ
ラベルは、カスタマイズ用ライブラリーを使って、装飾オブジェクトへの操作を行う際に必要な識別名となります。カスタマイズ用ライブラリーを使用しない場合、設定する必要はありません。



カスタマイズ用ライブラリーについては、弊社担当者までご連絡ください。

辺・面を変更する

矩形装飾オブジェクトや長円形装飾オブジェクトの、辺や面の属性を変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- オブジェクトのダブルクリック
- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]

1. 次のいずれかの操作をします。

[矩形] ダイアログボックスまたは [長円形] ダイアログボックスの [辺・面] タブが表示されます。

- オブジェクトをダブルクリックします。
- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して [プロパティ] を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。

2. [辺を表示] で [しない] をクリックすると、辺を非表示にできます。



初期値は、[する] です。

3. 辺（または円周）の幅を変更する場合は、[辺を表示] で [幅] から線幅を選択します。または、右側のボックスに幅を mm 単位で入力します。



- ・ 初期値は、0.5mm です。
- ・ 数値で入力する場合は、0 より大きい数を、小数点以下 1 桁まで入力できます。
- ・ 小数点以下 2 桁まで値がある場合は、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値に設定されます。
- ・ 入力できる範囲は、0.1 ～ 99.9mm までです。
- ・ 99.9mm より大きい値を入力した場合は、99.9mm に、0.1mm より小さい値を入力した場合は、0.1mm に設定されます。

4. 辺（または円周）の色を変更する場合は、[辺を表示] で [色] から使用する色を選択します。または、右側のボタン () をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



- ・ 初期値は、黒です。
- ・ [色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

5. [塗りつぶす] で [しない] をクリックすると、面を透明にできます。



初期値は、[する] です。

6. 面の色を変更する場合は、[辺を表示] で [色] から使用する色を選択します。または、右側のボタン () をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



- ・ 初期値は、白です。
- ・ [色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

7. [OK] をクリックします。

線を変更する

線装飾オブジェクトの属性を変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- オブジェクトのダブルクリック
- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]

1. 次のいずれかの操作をします。

[線] ダイアログボックスの [線] タブが表示されます。

- オブジェクトをダブルクリックします。
- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して [プロパティ] を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。

2. [線を表示] で [しない] をクリックすると、線を非表示にできます。



初期値は、[する] です。

3. 線の幅を変更する場合は、[幅] から線幅を選択します。または、右側のボックスに幅をmm単位で入力します。



- ・ 初期値は、0.5mm です。
- ・ 数値で入力する場合は、0 より大きい数を、小数点以下 1 桁まで入力できます。
- ・ 小数点以下 2 桁まで値がある場合は、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値に設定されます。
- ・ 入力できる範囲は、0.1 ~ 99.9mm までです。
- ・ 99.9mm より大きい値を入力した場合は、99.9mm に、0.1mm より小さい値を入力した場合は、0.1mm に設定されます。

4. 線の色を変更する場合は、[色] から使用する色を選択します。または、右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



- ・ 初期値は、黒です。
- ・ [色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

5. [OK] をクリックします。

テキスト、フォントを変更する

テキスト装飾オブジェクトの文字列の内容やフォントの属性を変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- オブジェクトのダブルクリック
- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]
- 書式設定バー (フォント、サイズ、太字、斜体の変更のみ)

[テキスト] ダイアログボックスでテキスト、フォントを変更する

1. 次のいずれかの操作をします。

[テキスト] ダイアログボックスの [テキスト] タブが表示されます。

- オブジェクトをダブルクリックします。

- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して「プロパティ」を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、「編集」メニューから「プロパティ」を選択します。



- ・テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態になります。文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態を解除します。
 - ・テキスト装飾オブジェクトを選択状態にするには、次のいずれかの操作をします。
 - 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
 - テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。
- なお、文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

2. テキストの内容を変更する場合は、「文字列」に表示されている文字列を修正します。

3. 「フォント」タブをクリックします。

「フォント」タブが表示されます。

4. フォントを変更する場合は、「フォント」から使用するフォント名を選択します。



初回起動時は、日本語 OS の場合は MS ゴシック、英語 OS の場合は Arial が設定されています。

5. スタイルを変更する場合は、「スタイル」から使用するスタイルを選択します。



初期値は、標準です。

6. 文字サイズを変更する場合は、「サイズ」から使用するサイズ（ポイント単位）を選択します。



初回起動時は、10 ポイントが設定されています。

7. 文字の色を変更する場合は、「文字色」から使用する色を選択します。または、右側のボタン () をクリックして「色の設定」ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



- ・初期値は、黒です。
- ・「色の設定」ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

8. 「背景色」で「透過」をクリックすると、文字の背景を透明にできます。



初期値は、「不透過」です。

9. 背景色を変更する場合は、「背景色」から使用する色を選択します。または、右側のボタン () をクリックして「色の設定」ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



- ・初期値は、白です。
- ・「色の設定」ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

10. 「OK」をクリックします。

書式設定バーで書式を変更する

1. 次のいずれかの操作をします。

書式設定バーが選択可能な状態になります。

- 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
- テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。



- ・ テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態（アクティブ）になります。
文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態（アクティブ）を解除します。
- ・ 複数のテキスト装飾オブジェクトが選択されているときは、書式設定バーは入力できない状態（インアクティブ）です。
- ・ 文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

2. フォントを変更する場合は、書式設定バーから使用するフォント名を選択します。

3. 文字サイズを変更する場合は、書式設定バーから使用するサイズ（ポイント単位）を選択します。

4. 文字を太字に変更する場合は、書式設定バーから **B** [太字] をクリックします。

5. 文字を斜体に変更する場合は、書式設定バーから **I** [斜体] をクリックします。

6. 編集中的テキスト装飾オブジェクト以外をクリックします。または、< Esc > キーを押します。 文字列が確定します。

イメージファイルを変更する

イメージ装飾オブジェクトに挿入するイメージファイル（ビットマップファイル）を変更できます。

イメージファイルを変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- オブジェクトのダブルクリック
- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]

1. 次のいずれかの操作をします。

[イメージ] ダイアログボックスが表示されます。

- オブジェクトをダブルクリックします。
- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して [プロパティ] を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。

2. [参照] をクリックします。

[参照] ダイアログボックスが表示されます。

3. ファイルの場所、ファイル名を選択して、[開く] をクリックします。

[イメージ] ダイアログボックスの [ファイル名] に、選択したファイル名が表示されます。

4. [OK] をクリックします。

ビットマップファイルが矩形の中に表示されます。

位置・サイズを変更する

装飾オブジェクトの位置とサイズを数値（mm 単位）を入力して変更できます。

装飾オブジェクトの位置とサイズを変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- オブジェクトのダブルクリック
- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]



オブジェクトをドラッグすると、フォームテンプレート上の位置を目で確認しながら移動できます。

1. 次のいずれかの操作をします。

各装飾オブジェクトのダイアログボックスが表示されます。

- オブジェクトをダブルクリックします。
- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して [プロパティ] を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。



- ・テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態になります。文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態を解除します。
- ・テキスト装飾オブジェクトを選択状態にするには、次のいずれかの操作をします。
 - 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
 - テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。
 なお、文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

2. [位置] タブをクリックします。

[位置] タブが表示されます。

3. 数値を mm 単位で入力します。



- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

4. [OK] をクリックします。

ラベルを変更する

テキスト装飾オブジェクト、またはイメージ装飾オブジェクトに設定するラベルを変更する方法について説明します。

ラベルを変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- オブジェクトのダブルクリック
- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]

1. 次のいずれかの操作をします。

[テキスト] ダイアログボックスまたは [イメージ] ダイアログボックスが表示されます。

- オブジェクトをダブルクリックします。
- オブジェクトをクリックして選択し、右クリックでショートカットメニューを表示して [プロパティ] を選択します。
- オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。



- ・テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態になります。文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態を解除します。
- ・テキスト装飾オブジェクトを選択状態にするには、次のいずれかの操作をします。
 - 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
 - テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。
 なお、文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

2. [ラベル] タブをクリックします。
[ラベル] タブが表示されます。

3. ラベルに設定する文字列を変更します。



ラベルは、カスタマイズ用ライブラリーを使って、装飾オブジェクトへの操作を行う際に必要な識別名となります。カスタマイズ用ライブラリーを使用しない場合、設定する必要はありません。

4. [OK] をクリックします。

オブジェクトの編集

オブジェクトを選択、選択解除する

ショートカットメニューを表示したり、切り取り、コピー、グループ化などの編集操作をするときには、まず操作対象となるオブジェクトを選択します。

- オブジェクトを選択する
- 複数オブジェクトを選択する (< Shift > キーで選択する)
- 複数オブジェクトを選択する (ドラッグで選択する)
- キーボードで選択を移動する
- 選択を解除する

オブジェクトを選択する

オブジェクトを選択するには、次のように操作します。

1. オブジェクトをクリックします。

オブジェクトが選択されて、周りに■（操作ハンドル）が表示されます。

テキスト装飾オブジェクトの場合は、文字列の周りに斜線模様の太枠が表示されます。



- ・テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態になります。文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態を解除します。
- ・テキスト装飾オブジェクトを選択状態にするには、次のいずれかの操作をします。
 - 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
 - テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。
 なお、文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

複数オブジェクトを選択する (< Shift > キーで選択する)

複数のオブジェクトを選択するには、次の 2 種類の操作があります。

- < Shift > キーを使う
- ドラッグで範囲選択する

< Shift > キーを使って選択する場合は、次のように操作します。

1.1 つめのオブジェクトをクリックで選択します。

2.2 つめ以降は、< Shift >キーを押しながらクリックして選択します。

複数オブジェクトを選択する（ドラッグで選択する）

複数のオブジェクトをドラッグで選択する場合は、次のように操作します。

1. 選択するオブジェクトを含むようにドラッグして、範囲を指定します。

キーボードで選択を移動する

キーボードの< Tab >キーを押すと、オブジェクトが挿入された順序に選択状態が移動します。

また、< Shift >キー+< Tab >キーを押すと、逆方向（最後に選択したオブジェクトから順）に、選択状態が移動します。



複数のオブジェクトが選択されている場合は、< Tab >キーや< Shift >キー+< Tab >キーを押しても、選択状態は移動しません。

選択を解除する

選択を解除するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- レイアウト編集ビュー上のオブジェクト、システム QR コード、レジストレーションマーク、システム QR コードのマージン領域（灰色の領域）以外の場所をクリックします。
- < Shift >キーを押しながら、選択解除するオブジェクトをクリックします。

装飾オブジェクトを削除する

不要になった装飾オブジェクトは削除できます。



コントロールオブジェクトは、コントロール編集ビューで削除します。
装飾オブジェクトを削除するには、次のように操作します。

1. オブジェクトをクリックします。

装飾オブジェクトが選択されます。

2. キーボードの< Delete >キーを押します。



間違って削除した場合は、[編集] メニューの [元に戻す] を選択すると、削除を取り消せます。

オブジェクトを移動する

挿入したオブジェクトの位置を移動できます。オブジェクトの移動は、グリッド制御の設定によって異なります。

- グリッド制御が設定されている場合
- グリッド制御が設定されていない場合



- ・ オブジェクトの属性を変更するダイアログボックスを表示して、[位置] に座標を指定し、移動することもできます。その場合は、グリッドには関係なく移動します。
- ・ 装飾オブジェクトは、オブジェクトの切り取り、貼り付け機能を使って移動することもできます。

グリッド制御が設定されている場合

グリッド制御が設定されている場合、オブジェクトを移動するときは、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- オブジェクトを移動する位置へドラッグすると、選択したオブジェクトの左上頂点が最寄のグリッドに移動します。＜Alt＞キーを押しながらドラッグすると、グリッドに関係なく移動できます。
- キーボードの＜↑＞＜↓＞＜←＞＜→＞キーを押すごとに、選択したオブジェクトの移動方向の辺が、最寄のグリッドに移動します。

グリッド制御が設定されていない場合

グリッド制御が設定されていない場合、オブジェクトを移動するときは、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- オブジェクトを移動する位置へドラッグします。
- キーボードの＜↑＞＜↓＞＜←＞＜→＞キーを押すと、押した矢印キーの方向に1mm移動します。＜Shift＞キーを押しながらキーボードの矢印キーを押すと、0.01mm単位で移動できます。

オブジェクトのサイズを変更する

サービス描画領域オブジェクト、領域切り出しコントロールオブジェクト、QRコード描画領域コントロールオブジェクト、装飾オブジェクトのサイズを変更できます。



補足

- ・ QRコード描画領域コントロールオブジェクトは、[QRコードの描画方法] に [ライブラリーを使用する] を選択して設定した場合だけ、サイズを変更できます。
- ・ チェックボックスコントロールオブジェクト、6点ガイド式数値入力コントロールオブジェクトは、サイズ変更できません。
- ・ グループ化されたオブジェクトのサイズは変更できません。

ここでは、次の操作について説明します。

- オブジェクトのサイズを変更する
- サービス描画領域オブジェクトのカラムの列幅を変更する

オブジェクトのサイズを変更する

オブジェクトのサイズを変更するには、次のように操作します。

1. オブジェクトをクリックします。

オブジェクトが選択されて、周りに■（操作ハンドル）が表示されます。



補足

サービス描画領域オブジェクトを選択するには、サービス描画領域オブジェクトの範囲をドラッグして囲みます。

2. サイズ変更する位置にある■を、目的のサイズになるまでドラッグします。



補足

- ・ グリッド制御が設定されている場合は、ドラッグした■（操作ハンドル）が最寄のグリッドに吸着されます。
- ・ グリッド制御が設定されている場合は、＜Alt＞キーを押しながらドラッグすると、グリッドに関係なくサイズ変更できます。
- ・ オブジェクトの属性を変更するダイアログボックスを表示して、[サイズ] の [幅] と [高さ] に数値を指定し、サイズ変更することもできます。その場合、グリッドには関係なくサイズ変更されます。

サービス描画領域オブジェクトのカラムの列幅を変更する

サービス描画領域オブジェクトのカラムの列幅を変更できます。



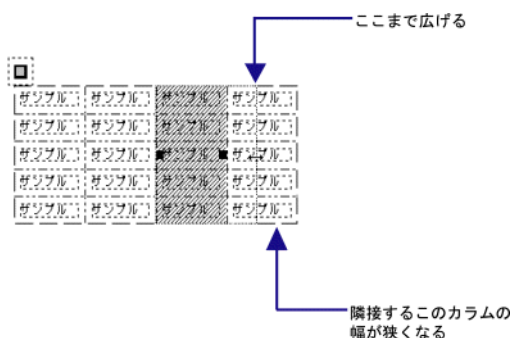
補足

- ・ サービス描画領域オブジェクトのカラムの列幅をドラッグにより変更した場合、ドラッグした側に隣接するカラムがあると、隣接するカラムの幅に影響がでます。
- ・ ドラッグによるサイズ変更の場合、列幅の最小値は、チェックボックスカラムのとき 8mm、テキスト、イメージカラムのとき 4mm です。
- ・ ドラッグによって右隣のカラム幅を超えた幅に変更した場合は、右隣のカラムは、チェックボックスカラムのとき最小値の 8 mm まで、テキスト、イメージカラムのとき最小値の 4 mm まで縮小します。ただし、右側のカラムが上記の最小値より小さく設定されている場合は、右側のカラムはサイズ変更されません。

1. サービス描画領域オブジェクトのカラムをクリックします。

サービス描画領域オブジェクトのカラムが選択されて、周りに■（操作ハンドル）が表示されます。

2. サイズ変更する位置にある■を、目的のサイズになるまでドラッグします。



補足

サービス描画領域オブジェクトのカラムの属性を変更するダイアログボックスを表示して、[列幅] に数値を指定し、列幅を変更することもできます。

装飾オブジェクト / カラムの切り取り、コピー、貼り付けをする

装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）を切り取りまたはコピーし、クリップボードに入れることができます。

クリップボード内の装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）を貼り付けることができます。



補足

コントロールオブジェクトのコピー、貼り付けは、コントロール編集ビューで操作します。

サービス描画領域オブジェクトのカラムは、切り取り、コピー、貼り付けができます。

ここでは、次の操作について説明します。

- 装飾オブジェクト / カラムを切り取る
- 装飾オブジェクト / カラムをコピーする
- 装飾オブジェクト / カラムを貼り付ける

装飾オブジェクト / カラムを切り取る

装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）を切り取り、クリップボードに入れるには、次のように操作します。



補足

サービス描画領域オブジェクトの場合、カラム数が 2 以上のときだけ切り取りができます。

1. 装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）をクリックします。

2. 次のいずれかの操作をします。

装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）が切り取られ、クリップボードに入ります。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [切り取り] を選択します。
- 基本バーの  [切り取り] をクリックします。
- [編集] メニューから [切り取り] を選択します。

装飾オブジェクト / カラムをコピーする

装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）をコピーし、クリップボードに入れるには、次のように操作します。

1. 装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）をクリックします。

2. 次のいずれかの操作をします。

装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）がクリップボードにコピーされます。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [コピー] を選択します。
- 基本バーの  [コピー] をクリックします。
- [編集] メニューから [コピー] を選択します。

装飾オブジェクト / カラムを貼り付ける

クリップボード内の装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）をレイアウト編集ビューに貼り付けるには、次のように操作します。



補足

サービス描画領域オブジェクトのカラムの場合は、貼り付け先がサービス描画領域オブジェクト内のときだけ貼り付けることができます。

1. 次のいずれかの操作をします。

クリップボード内の装飾オブジェクト（またはサービス描画領域オブジェクトのカラム）がレイアウト編集ビューに貼り付けられます。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [貼り付け] を選択します。
- 基本バーの  [貼り付け] をクリックします。
- [編集] メニューから [貼り付け] を選択します。

2. 必要に応じて、貼り付けられた装飾オブジェクトをドラッグして移動します。

オブジェクトをグループ化、グループ化の解除をする

複数のオブジェクトを 1 つにグループ化できます。グループ化したオブジェクトは、1 つのオブジェクトのように扱うことができます。

コントロールオブジェクト同士のグループ化、装飾オブジェクト同士のグループ化だけでなく、コントロールオブジェクトと装飾オブジェクトをグループ化することもできます。

また、グループ化されているオブジェクトをグループ化することもできます。グループ化したオブジェクトのグループ化を解除することもできます。



補足

- ・ サービス描画領域オブジェクトはグループ化できません。
- ・ 選択コントロールは、グループ化されていると、選択項目の変更はできません。
- ・ 数値コントロールは、グループ化されていると、桁数の変更はできません。

グループ化したオブジェクトに対しては、次の操作ができます。

- 移動
- 削除

- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- 配置変更



コントロールオブジェクトを含むグループの場合は、削除、切り取り、コピー、貼り付けは、できません。ここでは、次の操作について説明します。

- オブジェクトをグループ化する
- グループ化を解除する

オブジェクトをグループ化する

複数のオブジェクトをグループ化するには、次のように操作します。

1. グループ化するオブジェクトをすべて選択します。
2. 次のいずれかの操作をします。
 - 右クリックでショートカットメニューを表示して [グループ化] を選択します。
 - [編集] メニューから [グループ化] を選択します。

グループ化を解除する

グループ化を解除するには、次のように操作します。

1. グループ化を解除するオブジェクトをクリックします。
2. 次のいずれかの操作をします。
 - 右クリックでショートカットメニューを表示して [グループ化解除] を選択します。
 - [編集] メニューから [グループ化解除] を選択します。

オブジェクトの編集を元に戻す

オブジェクトの編集で、直前の操作を取り消して、1 回だけ元に戻すことができます。元に戻すことができる操作は、次のとおりです。

- 装飾オブジェクトの挿入
- 移動
- 削除（装飾オブジェクトのみ）
- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- グループ化
- グループ化解除
- 配置（[配置] メニューのすべての機能）



レイアウト編集ビューで編集操作をしたあと、コントロール編集ビューでコントロールの編集をした場合、レイアウト編集ビューでの操作を取り消して、元に戻すことはできません。

1. 次のいずれかの操作をします。
 - 右クリックでショートカットメニューを表示して [元に戻す] を選択します。

- [編集] メニューから [元に戻す] を選択します。

オブジェクトの配置

オブジェクトの端をそろえる

複数のオブジェクトの端をそろえて整列させることができます。

- 左端をそろえる
選択したオブジェクトの一番左にあるオブジェクトの左端に、ほかのオブジェクトの左端がそろうように配置を変更します。
- 右端をそろえる
選択したオブジェクトの一番右にあるオブジェクトの右端に、ほかのオブジェクトの右端がそろうように配置を変更します。
- 上端をそろえる
選択したオブジェクトの一番上にあるオブジェクトの上端に、ほかのオブジェクトの上端がそろうように配置を変更します。
- 下端をそろえる
選択したオブジェクトの一番下にあるオブジェクトの下端に、ほかのオブジェクトの下端がそろうように配置を変更します。

左端をそろえる

複数のオブジェクトの左端をそろえて整列させるには、次のように操作します。

1. 左端をそろえるオブジェクトをすべて選択します。
2. 次のいずれかの操作をします。
 - 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [左端をそろえる] を選択します。
 - [配置] メニューから [左端をそろえる] を選択します。
 - 配置バーの  [左端をそろえる] をクリックします。オブジェクトが左端にそろえて整列します。

右端をそろえる

複数のオブジェクトの右端をそろえて整列させるには、次のように操作します。

1. 右端をそろえるオブジェクトをすべて選択します。
2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが右端にそろえて整列します。

 - 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [右端をそろえる] を選択します。
 - [配置] メニューから [右端をそろえる] を選択します。
 - 配置バーの  [右端をそろえる] をクリックします。

上端をそろえる

複数のオブジェクトの上端をそろえて整列させるには、次のように操作します。

1. 上端をそろえるオブジェクトをすべて選択します。
2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが上端にそろえて整列します。

 - 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [上端をそろえる] を選択します。
 - [配置] メニューから [上端をそろえる] を選択します。

- 配置バーの  [上端をそろえる] をクリックします。

下端をそろえる

複数のオブジェクトの下端をそろえて整列させるには、次のように操作します。

1. 下端をそろえるオブジェクトをすべて選択します。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが下端にそろえて整列します。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [下端をそろえる] を選択します。
- [配置] メニューから [下端をそろえる] を選択します。
- 配置バーの  [下端をそろえる] をクリックします。

オブジェクトを中央に配置する

複数のオブジェクトを、上端および下端の中央、または左端および右端の中央に配置できます。

- 上端および下端の中央に配置する
選択したオブジェクトを囲む矩形を想定し、その矩形の上下方向の中央に各オブジェクトの中央がそろるように配置を変更します。
- 左端および右端の中央に配置する
選択したオブジェクトを囲む矩形を想定し、その矩形の左右方向の中央に各オブジェクトの中央がそろるように配置を変更します。

上端および下端の中央に配置する

複数のオブジェクトを囲む矩形を想定して、その矩形の上端および下端の中央にオブジェクトを配置するには、次のように操作します。

1. 上端および下端の中央に配置するオブジェクトをすべて選択します。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが上端および下端の中央に配置されます。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [上下中央配置] を選択します。
- [配置] メニューから [上下中央配置] を選択します。
- 配置バーの  [上下中央配置] をクリックします。

左端および右端の中央に配置する

複数のオブジェクトを囲む矩形を想定して、その矩形の左端および右端の中央にオブジェクトを配置するには、次のように操作します。

1. 左端および右端の中央に配置するオブジェクトをすべて選択します。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが左端および右端の中央に配置されます。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [左右中央配置] を選択します。
- [配置] メニューから [左右中央配置] を選択します。
- 配置バーの  [左右中央配置] をクリックします。

オブジェクト同士が接するように配置する

複数のオブジェクトが左右または上下の端で接するように配置できます。

- 左右を接する

一番左にあるオブジェクトの右端が、二番めのオブジェクトの左端と接する、二番めのオブジェクトの右端が、三番めのオブジェクトの左端と接する、・・・、といった状態で、オブジェクト同士が左右の端で接するように配置を変更します。

一番左にあるオブジェクトの位置は変更されず、このオブジェクトが基点になります。

上下の座標（Y 座標）は、変更しません。

- 上下を接する

一番上にあるオブジェクトの下端が、二番めのオブジェクトの上端と接する、二番めのオブジェクトの下端が、三番めのオブジェクトの上端と接する、・・・、といった状態で、オブジェクト同士が上下の端で接するように配置を変更します。

一番上にあるオブジェクトの位置は変更されず、このオブジェクトが基点になります。

左右の座標（X 座標）は、変更しません。

左右を接する

複数のオブジェクトの左右を接して配置するには、次のように操作します。

1. 左右を接して配置するオブジェクトをすべて選択します。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが左右を接して配置されます。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [左右を接する] を選択します。
- [配置] メニューから [左右を接する] を選択します。
- 配置バーの  [左右を接する] をクリックします。

上下を接する

複数のオブジェクトの上下を接して配置するには、次のように操作します。

1. 上下を接して配置するオブジェクトをすべて選択します。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが上下を接して配置されます。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [配置] > [上下を接する] を選択します。
- [配置] メニューから [上下を接する] を選択します。
- 配置バーの  [上下を接する] をクリックします。

オブジェクトの重なりを変更する

オブジェクトが重なっている場合に、重なり合っている順序を変更できます。

- 最前面へ移動する
選択されているオブジェクトを最前面に移動します。
- 最背面へ移動する
選択されているオブジェクトを最背面に移動します。

最前面へ移動する

オブジェクトを最前面へ移動するには、次のように操作します。

1. 最前面に移動するオブジェクトをクリックします。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが最前面へ移動します。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [最前面へ移動] を選択します。
- [配置] メニューから [最前面へ移動] を選択します。

最背面へ移動する

オブジェクトを最背面へ移動するには、次のように操作します。

1. 最背面に移動するオブジェクトをクリックします。

2. 次のいずれかの操作をします。

オブジェクトが最背面へ移動します。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して「最背面へ移動」を選択します。
- 「配置」メニューから「最背面へ移動」を選択します。

コントロールの編集

ユーザー定義属性の名前を変更する

ユーザー定義属性の属性名を変更できます。

ユーザー定義属性の属性名を変更するには、次のいずれかを使って操作します。

- ショートカットメニューの [プロパティ]
- [編集] メニューの [プロパティ]
- ユーザー定義属性のダブルクリック
- ユーザー定義属性を選択した状態でのユーザー定義属性名のクリック

[定義属性] ダイアログボックスでユーザー定義属性の名前を変更する

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性を選択して、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。
- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性をダブルクリックします。

[定義属性] ダイアログボックスが表示されます。

2. [属性名] を変更して、[OK] をクリックします。



- ・入力できる文字数は、127 文字までです。
- ・「%」(半角) または「#」(半角) は使用できません。
- ・予約語に指定されている文字は使用できません。予約語に指定されている文字列を属性名として設定すると、エラーメッセージが表示されます。

ユーザー定義属性名をクリックして名前を変更する

1. 名前を変更するユーザー定義属性を選択します。

2. ユーザー定義属性名をクリックします。

ユーザー定義属性名が入力できる状態になります。

3. 名前を変更して、別の場所をクリックします。



- ・入力できる文字数は、127 文字までです。
- ・「%」(半角) または「#」(半角) は使用できません。
- ・予約語に指定されている文字は使用できません。予約語に指定されている文字列を属性名として設定すると、エラーメッセージが表示されます。

ユーザー定義属性を削除する

ユーザー定義属性を削除できます。



- ・システム定義属性、システムオプション定義属性は削除できません。
- ・ユーザー定義属性を削除すると、設定されていたコントロールも削除されます。

・ユーザー定義属性のコントロールがグループ化されている場合は、削除できません。
ユーザー定義属性を削除するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性を選択して、キーボードの < Delete > キーを押します。
- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [削除] を選択します。
- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性を選択して、[編集] メニューから [削除] を選択します。
削除確認のメッセージが表示されます。

2. [はい] をクリックします。

ユーザー定義属性が削除されます。

コントロールの設定を変更する

コントロールのダイアログボックスで指定した内容を変更できます。

コントロールの設定を変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
- コントロール編集ビューで、コントロールを選択して、[編集] メニューから [プロパティ] を選択します。
- コントロール編集ビューで、コントロールをダブルクリックします。
コントロールのダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて、設定を変更します。

3. [OK] をクリックします。

マークシートを構成するコントロールの順序を変更する

マークシートは、複数のコントロールで構成されます。

マークシートを構成する各コントロールは、マークシート制御コントロールのアイコン下に表示されている順序で解析されます。

マークシートを構成するコントロールの順序を変更できます。

マークシートを構成しているコントロールの順序を変更するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、順序を変更するコントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [順序] > [上] または [下] を選択します。
- コントロール編集ビューで、順序を変更するコントロールを選択して、[編集] メニューの [順序] > [上] または [下] を選択します。
- 順序を変更するコントロールを移動先の位置へドラッグ&ドロップします。
順序が移動します。

コントロールを削除する

コントロールを削除できます。

コントロールを削除するには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、削除するコントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [削除] を選択します。
- コントロール編集ビューで、削除するコントロールを選択して、[編集] メニューから [削除] を選択します。
- コントロール編集ビューで、削除するコントロールを選択して、< Delete >キーを押します。
- コントロール編集ビューで、削除するコントロールが設定されている属性を選択して、< Shift >キー + < Delete >キーを押します。

削除確認のメッセージが表示されます。



コントロール編集ビューで、マークシート制御コントロールを選択して、< Shift >キー + < Delete >キーを押すと、マークシート制御コントロールに設定されているコントロールがすべて削除されます。マークシート制御コントロールは削除されません。

2. [はい] をクリックします。

コントロールが削除され、コントロールが設定されていた属性の、定義済み属性アイコン (🔧) が未定義属性アイコン (🔧) に変わります。

コントロールのコピー、貼り付けをする

コントロールをコピーし、クリップボードに入れることができます。

クリップボード内のコントロールを未定義ユーザー定義アイコン、またはユーザー定義属性のマークシート制御コントロールアイコンに貼り付けることができます。

- コントロールをコピーする
- コントロールを貼り付ける



- ・ 領域切り出しコントロール、サービス描画領域コントロールのコピー、貼り付けはできません。
- ・ マークシート制御コントロールをコピーした場合は、配下のマークシートを構成するコントロールも同時にコピーされます。
- ・ マークシートを構成するコントロールをコピーした場合は、そのコントロールだけコピーされます。
- ・ マークシート制御コントロールをコピーした場合は、マークシートの下に貼り付けることはできません。
- ・ コピーの対象となるコントロールがグループ化されている場合、グループ化された他のオブジェクトはコピーされません。
- ・ 一度貼り付けたコントロールを元に戻すことはできません。コントロールの貼り付けを取り消す場合は、貼り付けたコントロールを削除してください。

コントロールをコピーする

コントロールをコピーし、クリップボードに入れるには、次のように操作します。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、コピーするコントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コピー] を選択します。
- 基本バーの  [コピー] をクリックします。
- コントロール編集ビューで、コピーするコントロールを選択して、[編集] メニューから [コピー] を選択します。

コントロールがクリップボードにコピーされます。

コントロールを貼り付ける

コントロールを貼り付けるには、次のように操作します。

1. 貼り付け先の未定義ユーザー定義属性アイコン ()、またはユーザー定義属性のマークシート制御コントロールアイコンを選択します。

2. 次のいずれかの操作をします。

- 右クリックでショートカットメニューを表示して [貼り付け] を選択します。
- 基本バーの  [貼り付け] をクリックします。
- [編集] メニューから [貼り付け] を選択します。

コントロールが貼り付けられます。

未定義ユーザー定義属性アイコン () に貼り付けた場合、定義済み属性アイコン () に変わります。
レイアウト編集ビューには、貼り付けられたコントロールオブジェクトが表示されます。

コントロールパーツの操作

コントロールパーツを登録する

次のコントロールを、コントロールパーツとしてコントロールパーツファイルに登録し、再利用できます。

- BOOL コントロール
- 文字列コントロール
- 選択コントロール
- 数値コントロール
- QR コード描画領域コントロール
- マークシート制御コントロール

ここでは、コントロールパーツファイルの概要と、コントロールパーツを登録する操作について説明します。

- コントロールパーツファイル
- コントロールパーツを登録する

コントロールパーツファイル

コントロールパーツは、「ControlParts.xcp」という名称のコントロールパーツファイルに登録されます。

Paper Form Editor をインストールすると、Paper Form Editor のインストールフォルダー直下にある「system」フォルダーに、コントロールパーツファイルが作成されます。

Paper Form Editor を起動すると、コントロールパーツファイルが読み込まれ、コントロールパーツを登録すると、そのファイルに書き込まれます。

コントロールパーツファイルは、Paper Form Editor 終了時に保存されます。

コントロールパーツファイルの読み込み先の場所は、あらかじめ Paper Form Editor のインストールフォルダー直下にある「system」フォルダーに設定されていますが、[オプション] メニューの [設定] で変更できます。

別の Paper Form Editor のコントロールパーツファイルを使用するときなどに便利です。

コントロールパーツファイルの読み込み先の場所を変更すると、次回に Paper Form Editor を起動したときに、指定した場所にあるコントロールパーツファイルを読み込みます。



補足

Paper Form Editor を起動し直すまでは、変更される前のコントロールパーツファイルに登録されます。



補足

コントロールパーツファイルを Paper Form Editor 以外で編集した場合には、正しく動作しないことがあります。コントロールパーツファイルは、Paper Form Editor で編集してください。

コントロールパーツを登録する

コントロールをコントロールパーツとして登録するには、次のように操作します。



補足

コントロールパーツファイルが「読み取り専用」の場合は、登録はできません。このとき、[コントロールパーツの編集] ウィンドウのタイトルバーには、「読み取り専用」と表示されます。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで、登録するコントロールを右クリックして、[コントロールのパーツ登録] を選択します。
- コントロール編集ビューで、登録するコントロールを選択して、[編集] メニューから [コントロールのパーツ登録] を選択します。

[コントロールのパーツ登録] ダイアログボックスが表示されます。

2. [パーツ名] にコントロールパーツの名前を入力します。



- ・入力できる文字数は、255 文字までです。
- ・パーツ名を重複して登録することはできません。

3. [説明] にコントロールパーツについての説明を入力します。



- ・入力できる文字数は、511 文字までです。
- ・改行する場合は、< Ctrl >キー + < Enter >キーを押します。

4. [OK] をクリックします。

登録したコントロールパーツは編集したり、削除したりできます。

登録されているコントロールパーツを使用する

コントロールパーツファイルに登録されているコントロールパーツを読み込んで、コントロールとして使用できます。



読み込み先のコントロールパーツファイルを変更できます。

1. 次のいずれかの操作をします。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、[コントロールの設定] > [コントロールパーツの選択] を選択します。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [コントロールパーツの選択] を選択します。

2. レイアウト編集ビュー内のコントロール領域にマウスポインターを入れると、マウスポインターの形が に変わります。

3. コントロールパーツを挿入する位置でクリックします。

[コントロールパーツの選択] ダイアログボックスが表示されます。



- ・システム QR コードを囲むマージン領域（灰色の部分）には、オブジェクトを挿入しないでください。
- ・コントロール領域をはみ出して挿入されたコントロールオブジェクトは、表示およびプリントされません。
- ・クリックする位置は、挿入するコントロールオブジェクトの領域の左上隅です。

4. 一覧で、使用するコントロールパーツを選択し、[OK] をクリックします。

登録されていたコントロールパーツが挿入されます。

5. 必要に応じて、ドラッグして位置を調整します。

コントロールパーツを編集する

コントロールパーツファイルに登録されているコントロールパーツを編集できます。

編集できる内容は、次のとおりです。

- タイプがマークシート制御以外のコントロールパーツの編集
- パーツ名

- 説明
- 各コントロールタイプのプロパティ
- マークシート制御コントロールパーツの編集
- パーツ名
- 説明
- マークシート制御コントロールパーツの設定
- マークシートを構成している各コントロールの新規追加、順序変更、設定変更、削除



コントロールパーツファイルが「読み取り専用」の場合は、編集できません。このとき、[コントロールパーツの編集] ウィンドウのタイトルバーには、「読み取り専用」と表示されます。

タイプがマークシート制御以外のコントロールパーツの編集

タイプがマークシート制御以外のコントロールパーツを編集するには、次のように操作します。

1. [オプション] メニューの [コントロールパーツの編集] を選択します。
[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示されます。
2. 一覧で、編集するコントロールパーツを選択し、[編集] をクリックします。
選択したコントロールパーツに応じた編集ダイアログボックスが表示されます。
3. 必要に応じて、[パーツ名]、[説明] を変更します。
4. 必要に応じて、その他の設定を変更します。
5. [OK] をクリックします。
6. [閉じる] をクリックして、[コントロールパーツの編集] ウィンドウを閉じます。

マークシート制御コントロールパーツの編集

マークシート制御コントロールパーツの設定を編集するには、次のように操作します。

1. [オプション] メニューの [コントロールパーツの編集] を選択します。
[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示されます。
2. 一覧で、マークシート制御コントロールパーツを選択し、[編集] をクリックします。
[マークシート制御パーツの編集] ダイアログボックスが表示されます。
3. 必要に応じて、[パーツ名]、[説明] を変更します。
4. 必要に応じて、その他の設定を変更します。
5. [構成の編集] をクリックします。
[マークシートを構成するコントロールの編集] ダイアログボックスが表示されます。
6. コントロールを新規にマークシートに設定するには、右側に並んでいる [BOOL]、[文字列]、[選択]、[数値]、[QR コード] のいずれかをクリックします。
コントロールのダイアログボックスが表示されます。
7. 設定をして、[OK] をクリックします。
8. マークシートを構成する各コントロールは、マークシート制御コントロールのアイコンの下に表示されている順序で解析されます。コントロールの上下の順序を変更するには、一覧で移動するコントロールを選択して、[上へ] または [下へ] をクリックします。

9. コントロールの設定を変更するには、一覧で変更するコントロールを選択して、[変更] をクリックします。
コントロールのダイアログボックスが表示されます。
10. 設定を変更し、[OK] をクリックします。
11. コントロールを削除するには、一覧で削除するコントロールを選択して、[削除] をクリックします。
削除確認のメッセージが表示されます。
12. [はい] をクリックします。
13. [OK] をクリックして、[マークシートを構成するコントロールの編集] ダイアログボックスを閉じます。
14. [OK] をクリックして、[マークシート制御パーツの編集] ダイアログボックスを閉じます。
15. [閉じる] をクリックして、[コントロールパーツの編集] ウィンドウを閉じます。

コントロールパーツを削除する

コントロールパーツファイルに登録されているコントロールパーツを削除できます。
コントロールパーツを削除するには、次のように操作します。

1. [オプション] メニューの [コントロールパーツの編集] を選択します。
[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示されます。
2. 一覧で、削除するコントロールパーツを選択し、[削除] をクリックします。
削除確認のメッセージが表示されます。
3. [はい] をクリックします。
4. [閉じる] をクリックして、[コントロールパーツの編集] ウィンドウを閉じます。

[フォーム解析結果出力] 機能の設定

ここでは、[フォーム解析結果出力] 機能を使用する場合に、Paper Form Editor で設定する内容について説明します。



フローの設定については、『機能ガイド Flow Management Option 編』を参照してください。

[フォーム解析結果出力] 機能を使用する場合に必要な Paper Form Editor の設定には、次の 3 つがあります。

- フォーム解析結果の出力先フォルダーを設定する
- 出力する属性と並び順を設定する
- 出力先フォルダー内のサブフォルダー名の接頭辞を設定する

フォーム解析結果の出力先フォルダーを設定する

フォームテンプレートに出力先フォルダーを設定すると、設定した出力先フォルダーに、フォーム解析結果を出力できます。



この設定をしない場合、フォーム解析結果は、Flow Management のフローを設定するときに [フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定] ページで設定したデフォルトフォルダーに出力されます。

1. [属性名] が「csv-output」のユーザー定義属性を作成します。
2. ユーザー定義属性「csv-output」に文字列コントロールを設定し、[文字列] にフォーム解析結果の出力先フォルダーのパスを入力します。
たとえば、C ドライブの「CSV 出力」フォルダーにフォーム解析結果を出力したい場合は、「C:¥CSV 出力」と入力します。



- ・パスは、半角を使用した場合で、178 文字以内で設定してください。178 文字を超えるパスを設定した場合、正しく処理されない可能性があります。
- ・ドライブからの絶対パスを設定してください。ただし、次の文字は使用できません。 / ; , * ? " < > |
- ・文字列コントロールのチェックボックスコントロールオブジェクトは、プリントされないのので、位置はどこでもかまいません。ほかのオブジェクトと重ならない場所に挿入します。

出力する属性と並び順を設定する

フォームテンプレートに CSV ファイルに出力する属性と並び順を設定しておくことができます。属性は、フォームテンプレートに定義した属性から選択します。

例外として、[フォーム解析] 機能が提供するフォームドキュメント ID*1、フォーム ID、フォームテンプレート ID を設定することもできます。

*1: [フォーム解析] 機能が、フォームごとに分割した文書を識別できるように付ける ID のことです。



この設定をしない場合、フォーム解析結果に含まれるすべての属性の値が順不同で出力されます。

1. [属性名] が「column-order」のユーザー定義属性を作成します。
2. ユーザー定義属性「column-order」に文字列コントロールを設定し、[文字列] に出力する属性を出力したい順に入力します。
たとえば、「属性 A」「属性 B」「属性 C」を「属性 C」「属性 B」「属性 A」の順で出力したい場合は、「属性 C, 属性 B, 属性 A」と入力します。



補足

- ・属性を区切るカンマ (,) は、半角のカンマを使用してください。全角のカンマを使用して属性を設定した場合は、正しく処理されません。
- ・フォームドキュメント ID を設定する場合は、「FormDcomentId」と入力します。
フォームドキュメント ID とは、「フォーム解析」機能が、フォームごとに分割した文書を識別できるように付ける ID のことです。
- ・フォーム ID を設定する場合は、「FormId」と入力します。
- ・フォームテンプレート ID を設定する場合は、「FormTemplateId」と入力します。
- ・文字列コントロールのチェックボックスコントロールオブジェクトは、プリントされないもので、位置はどこでもかまいません。ほかのオブジェクトと重ならない場所に挿入します。

出力先フォルダー内のサブフォルダー名の接頭辞を設定する

「フォーム解析結果出力」機能は、出力先フォルダー内にサブフォルダーを作成し、その中に処理結果ファイルを出力します。

サブフォルダー名の接頭辞を設定していないと、「{ジョブ ID} _ {入力文書番号} _ {ジョブの再実行回数}」がサブフォルダー名となります。

サブフォルダー名の接頭辞を設定すると、設定した接頭辞がサブフォルダー名の先頭に付きます。

「ジョブの再実行回数」は、再実行したジョブの場合だけ付きます。

サブフォルダー名の接頭辞を設定する方法には、次の 3 つの方法があります。

- Paper Form Editor で、任意の文字列を接頭辞に設定する
- Paper Form Editor で、任意の属性を使用して接頭辞を設定する
- Flow Management のフロー設定時に、「フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定」ページで接頭辞のデフォルトの値を設定する



補足

- ・フォームテンプレートで接頭辞が設定されている場合は、「フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定」ページで設定したデフォルトの接頭辞より、フォームテンプレートの設定を優先します。
- ・フォームテンプレートで接頭辞が設定されていない場合は、「フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定」ページで設定されたデフォルトの接頭辞が使用されます。

ここでは、Paper Form Editor で、サブフォルダー名の接頭辞を設定する操作について説明します。



補足

「フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定」ページで接頭辞を設定する操作については、『機能ガイド Flow Management Option 編』を参照してください。

サブフォルダー名の接頭辞を任意の文字列で設定する

フォームテンプレートで、任意の文字列をサブフォルダー名の接頭辞に使用できます。

1. [属性名] が「subdir-prefix」のユーザー定義属性を作成します。
2. ユーザー定義属性「subdir-prefix」に文字列コントロールを設定し、「文字列」にサブフォルダー名の接頭辞を入力します。

たとえば、接頭辞に「research」と入力すると、サブフォルダー名は、「research_ {ジョブ ID} _ {入力文書番号} _ {ジョブの再実行回数}」となります。



補足

- ・同じフォームテンプレートに、「subdir-prefix」と「subdir-prefix-indirect」の両方が設定されている場合は、「subdir-prefix-indirect」の設定を優先します。
- ・次のいずれかの場合は、「フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定」ページで設定された接頭辞を使用します。
- ・「subdir-prefix」に文字列が設定されていないとき
- ・「subdir-prefix」に設定した文字列に、フォルダー名に使用できない文字があるとき

- ・「subdir-prefix」に設定した文字列が、半角の場合で 32 文字を超えているとき



- ・「subdir-prefix」に指定する文字列は、半角を使用した場合で、32 文字以内で指定してください。32 文字を超える文字列を指定した場合は、正しく処理されません。
- ・「subdir-prefix」に指定する文字列に、次の文字を使用することはできません。 ¥ / : ; , * ? " < > |
- ・文字列コントロールのチェックボックスコントロールオブジェクトは、プリントされないの、位置はどこでもかまいません。ほかのオブジェクトと重ならない場所に挿入します。

サブフォルダー名の接頭辞を任意の属性を使用して設定する

フォームテンプレートに設定した任意の属性から値を取得し、その値をサブフォルダー名の接頭辞に使用できます。

たとえば、「社員番号」という属性に「S-12345」という値がある場合、接頭辞に「社員番号」と設定すると、その値「S-12345」がサブフォルダー名の接頭辞となります。

1. [属性名] が「subdir-prefix-indirect」のユーザー定義属性を作成します。
2. ユーザー定義属性「subdir-prefix-indirect」に文字列コントロールを設定し、[文字列] にサブフォルダー名の接頭辞となる属性を入力します。
たとえば、「社員番号」と入力すると、サブフォルダー名は、「S-12345_ {ジョブ ID} _ {入力文書番号} _ {ジョブの再実行回数}」となります。このとき、「S-12345」は社員番号の値です。



- ・同じフォームテンプレートに、「subdir-prefix」と「subdir-prefix-indirect」の両方が設定されている場合は、「subdir-prefix-indirect」の設定を優先します。
- ・次のいずれかの場合は、[フォーム解析結果出力 - フォーム解析結果出力設定] ページで設定された接頭辞を使用します。
- ・「subdir-prefix-indirect」に属性が設定されていないとき
- ・「subdir-prefix-indirect」に設定した属性が値を持っていないとき
- ・「subdir-prefix-indirect」に指定した属性の値は、半角を使用した場合で、32 文字以内で指定してください。32 文字を超える値を指定した場合は、正しく処理されません。
- ・「subdir-prefix-indirect」に指定する属性の名称に、次の文字を使用することはできません。 # %
- ・「subdir-prefix-indirect」に指定した属性の値に、次の文字を使用することはできません。 ¥ / : ; , * ? " < > |
- ・文字列コントロールのチェックボックスコントロールオブジェクトは、プリントされないの、位置はどこでもかまいません。ほかのオブジェクトと重ならない場所に挿入します。

リファレンス

メニュー

[ファイル] メニュー

フォームテンプレートに関する操作、および Paper Form Editor の終了ができます。



[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示され、操作対象 (アクティブ) になっている場合は、次のメニュー項目は表示されません。

[上書き保存]、[名前を付けて保存]、[ページ設定]、[印刷プレビュー]、[印刷]、[フォームテンプレート情報]

[新規作成]

ショートカット：< Ctrl > + < N >

フォームテンプレートを新規作成して表示します。

[開く]

ショートカット：< Ctrl > + < O >

フォームテンプレートファイルを開いて表示します。

メニュー項目を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。



[ファイルを開く] ダイアログボックスの詳細は、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[閉じる]

選択されているウィンドウ (またはアイコン) を閉じます。

[上書き保存]

ショートカット：< Ctrl > + < S >

フォームテンプレートファイルに上書き保存します。

[名前を付けて保存]

フォームテンプレートに名前を付けて保存します。

メニュー項目を選択すると、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスの詳細は、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[ページ設定]

フォームテンプレートの用紙サイズを設定します。

メニュー項目を選択すると、[ページ設定] ダイアログボックスが表示されます。

[印刷プレビュー]

フォームテンプレートをプリントしたときの状態 (プリントプレビュー) を表示します。

[印刷]

ショートカット：< Ctrl > + < P >

フォームテンプレートをプリントします。

メニュー項目を選択すると、[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

**補足**

- ・フォームテンプレートをプリントしても、フォームとして使用できません。
- ・[印刷] ダイアログボックスの詳細は、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[プリンタの設定]

フォームテンプレートをプリントするときのプリンタ、およびプリント方法を設定します。
メニュー項目を選択すると、[プリンタの設定] ダイアログボックスが表示されます。

**補足**

[プリンタの設定] ダイアログボックスの詳細は、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[フォームテンプレート情報]

フォームテンプレートのフォームテンプレート情報を設定します。
メニュー項目を選択すると、[フォームテンプレート情報] ダイアログボックスが表示されます。

[最近開いたファイル]

最近開いたフォームテンプレートファイルのファイル名が表示されます。クリックすると、そのファイルが開きます。

[アプリケーションの終了]

Paper Form Editor を終了します。

[編集] メニュー

オブジェクトの編集操作ができます。

**補足**

[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示され、操作対象（アクティブ）になっている場合は、[編集] メニューは表示されません。

[元に戻す]

ショートカット：< Ctrl > + < Z >
編集操作を 1 回分元に戻します。

[切り取り]

ショートカット：< Ctrl > + < X >
装飾オブジェクト、またはサービス描画領域オブジェクトのカラムを切り取り、クリップボードに入れます。

**補足**

サービス描画領域オブジェクトの場合、カラム数が 2 以上のときだけ切り取りができます。

[コピー]

ショートカット：< Ctrl > + < C >
装飾オブジェクト、コントロールオブジェクト（領域切り出しコントロール、サービス描画領域コントロールを除く）、またはサービス描画領域オブジェクトのカラムをコピーし、クリップボードに入れます。

[貼り付け]

ショートカット：< Ctrl > + < V >
装飾オブジェクトをクリップボードに入れた場合、レイアウト編集ビューに貼り付けます。
サービス描画領域オブジェクトのカラムをクリップボードに入れた場合、サービス描画領域オブジェクト内に貼り付けます。

コントロールオブジェクト（領域切り出しコントロール、サービス描画領域コントロールを除く）をクリップボードに入れた場合、未定義ユーザー定義属性アイコン（）、またはユーザー定義属性のマークシート制御コントロールアイコンに貼り付けます。

[グループ化]

選択されている複数オブジェクトをグループ化します。

[グループ化解除]

オブジェクトのグループ化を解除します。

[ユーザー定義属性の新規作成]

ユーザー定義属性を新規作成します。

メニュー項目を選択すると、[ユーザー定義属性の新規作成] ダイアログボックスが表示されます。

[削除]

ショートカット：< Delete >

ユーザー定義属性、またはコントロールを削除します。

[コントロールの設定]

コントロールを設定します。

メニュー項目を選択すると、サブメニューが表示され、設定するコントロールの種類を選択できます。

[順序]

マークシートを構成するコントロールの順序を変更します。

メニュー項目を選択すると、サブメニューが表示され、[上] または [下] が選択できます。

[コントロールのパーツ登録]

マークシート制御コントロールを、コントロールパーツとして登録します。

メニュー項目を選択すると、[コントロールのパーツ登録] ダイアログボックスが表示されます。

[プロパティ]

選択されている項目の属性を表示します。

メニュー項目を選択すると、選択対象の属性を表示したダイアログボックスが表示されます。選択項目によっては、属性を変更できます。

- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性、システム定義属性、またはシステムオプション定義属性を選択してメニュー項目を選択すると、[定義属性] ダイアログボックスが表示されます。
- コントロール編集ビューで、コントロールを選択してメニュー項目を選択すると、コントロールの設定のダイアログボックスが表示されます。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトを選択してメニュー項目を選択すると、コントロールオブジェクトの属性のダイアログボックスが表示されます。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトを選択してメニュー項目を選択すると、装飾オブジェクトの属性のダイアログボックスが表示されます。

[配置] メニュー

レイアウト編集ビューで、オブジェクトの配置に関する操作ができます。



[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示され、操作対象（アクティブ）になっている場合は、[配置] メニューは表示されません。

[左端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番左にあるオブジェクトの左端に、ほかのオブジェクトの左端がそろうように配置を変更します。

[右端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番右にあるオブジェクトの右端に、ほかのオブジェクトの右端がそろうように配置を変更します。

[上端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番上にあるオブジェクトの上端に、ほかのオブジェクトの上端がそろうように配置を変更します。

[下端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番下にあるオブジェクトの下端に、ほかのオブジェクトの下端がそろうように配置を変更します。

[上下中央配置]

選択したオブジェクトを囲む矩形を想定し、その矩形の上下方向の中央に各オブジェクトの中央がそろうように配置を変更します。

[左右中央配置]

選択したオブジェクトを囲む矩形を想定し、その矩形の左右方向の中央に各オブジェクトの中央がそろうように配置を変更します。

[左右を接する]

一番左にあるオブジェクトの右端が、二番めのオブジェクトの左端と接する、二番めのオブジェクトの右端が、三番めのオブジェクトの左端と接する ...、といった状態で、オブジェクト同士が左右の端で接するように配置を変更します。

[上下を接する]

一番上にあるオブジェクトの下端が、二番めのオブジェクトの上端と接する、二番めのオブジェクトの下端が、三番めのオブジェクトの上端と接する ...、といった状態で、オブジェクト同士が上下の端で接するように配置を変更します。

[最前面へ移動]

ショートカット：< Ctrl > + < F >

選択されているオブジェクトを最前面に移動します。

[最背面へ移動]

ショートカット：< Ctrl > + < B >

選択されているオブジェクトを最背面に移動します。

[表示] メニュー

表示に関する操作ができます。



補足

【コントロールパーツの編集】ウィンドウが表示され、操作対象（アクティブ）になっている場合は、メニュー項目の【ズーム】、【制御記号表示】、【グリッド制御】、【グリッド間隔】は表示されません。

[基本バー]

基本バーの表示 / 非表示を切り替えます。

【装飾オブジェクト挿入バー】

装飾オブジェクト挿入バーの表示 / 非表示を切り替えます。

【配置バー】

配置バーの表示 / 非表示を切り替えます。

【表示バー】

表示バーの表示 / 非表示を切り替えます

【書式設定バー】

書式設定バーの表示 / 非表示を切り替えます

【ステータスバー】

ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。

【ズーム】

レイアウト編集ビューの表示倍率を変更します。

メニュー項目を選択すると、[ズーム] ダイアログボックスが表示されます。

【制御記号表示】

制御記号の表示 / 非表示を切り替えます。

【グリッド制御】

グリッド制御の設定 / 解除を切り替えます。

【グリッド表示】

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。

【グリッド間隔】

グリッドの間隔を設定します。

メニュー項目を選択すると、[グリッド間隔] ダイアログボックスが表示されます。

【オプション】 メニュー

Paper Form Editor の設定や、コントロールパーツの編集操作ができます。

【設定】

Paper Form Editor の環境設定をします。

メニュー項目を選択すると、[設定] ダイアログボックスが表示されます。

【コントロールパーツの編集】

コントロールパーツを編集します。

メニュー項目を選択すると、[コントロールパーツの編集] ウィンドウが表示されます。

【ウィンドウ】 メニュー

ウィンドウに関する操作ができます。

【重ねて表示】

ウィンドウを重ねて表示します。

【並べて表示】

ウィンドウを並べて表示します。

[アイコンの整列]

最小化されているウィンドウを整列表示します。

[開いているフォームテンプレートファイル]

現在開いているフォームテンプレートファイル名が、パスとともに表示されます。

先頭にチェックマークが表示されているフォームテンプレートファイルが、現在の操作対象（アクティブ）です。

[ヘルプ] メニュー

ヘルプと Paper Form Editor に関する情報を表示できます。

[ヘルプ]

Paper Form Editor のヘルプを表示します。

[バージョン情報]

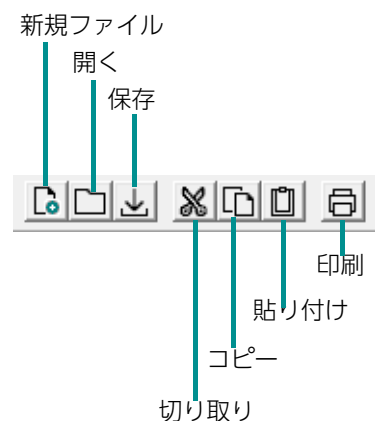
Paper Form Editor のバージョン情報を表示します。

メニュー項目を選択すると、[バージョン情報] ダイアログボックスが表示されます。

ツールバー

基本バー

基本バーに表示されている各ボタンについて説明します。



[新規ファイル]

新規のフォームテンプレートを作成して開きます。

[ファイル] メニューの [新規作成] と同じ働きです。

[開く]

既存のフォームテンプレートを開きます。

[ファイル] メニューの [開く] と同じ働きです。

[保存]

フォームテンプレートを保存します。

[ファイル] メニューの [上書き保存] と同じ働きです。

[切り取り]

選択されている装飾オブジェクト、またはサービス描画領域オブジェクトのカラムを切り取り、クリップボードに入れます。

【編集】メニューの【切り取り】と同じ働きです。



サービス描画領域オブジェクトの場合、カラム数が2以上のときだけ切り取りができます。

【コピー】

選択されている装飾オブジェクト、コントロールオブジェクト（領域切り出しコントロール、サービス描画領域コントロールを除く）、またはサービス描画領域オブジェクトのカラムをコピーし、クリップボードに入れます。

【編集】メニューの【コピー】と同じ働きです。

【貼り付け】

装飾オブジェクトをクリップボードに入れた場合、レイアウト編集ビューに貼り付けます。

サービス描画領域オブジェクトのカラムをクリップボードに入れた場合、サービス描画領域オブジェクト内に貼り付けます。

コントロールオブジェクト（領域切り出しコントロール、サービス描画領域コントロールを除く）をクリップボードに入れた場合、未定義ユーザー定義属性アイコン（）、またはユーザー定義属性のマークシート制御コントロールアイコンに貼り付けます。

【編集】メニューの【貼り付け】と同じ働きです。

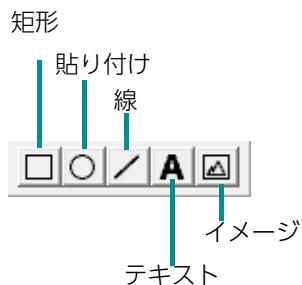
【印刷】

フォームテンプレートをプリントします。

【ファイル】メニューの【印刷】と同じ働きです。

装飾オブジェクト挿入バー

装飾オブジェクト挿入バーに表示されている各ボタンについて説明します。



【矩形挿入】

長方形、正方形を挿入します。

【長円形挿入】

楕円、正円を挿入します。

【線挿入】

直線を挿入します。

【テキスト挿入】

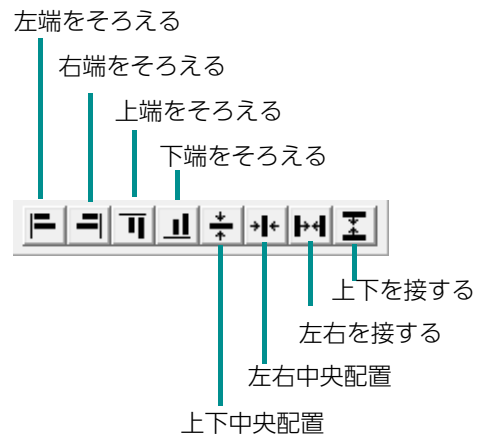
文字列を入力します。

【イメージ挿入】

ビットマップ形式（拡張子は「bmp」）のイメージファイルを挿入します。

配置バー

配置バーに表示されている各ボタンについて説明します。



[左端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番左にあるオブジェクトの左端に、ほかのオブジェクトの左端がそろうように配置を変更します。

[右端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番右にあるオブジェクトの右端に、ほかのオブジェクトの右端がそろうように配置を変更します。

[上端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番上にあるオブジェクトの上端に、ほかのオブジェクトの上端がそろうように配置を変更します。

[下端をそろえる]

選択したオブジェクトの一番下にあるオブジェクトの下端に、ほかのオブジェクトの下端がそろうように配置を変更します。

[上下中央配置]

選択したオブジェクトを囲む矩形を想定し、その矩形の上下方向の中央に各オブジェクトの中央がそろうように配置を変更します。

[左右中央配置]

選択したオブジェクトを囲む矩形を想定し、その矩形の左右方向の中央に各オブジェクトの中央がそろうように配置を変更します。

[左右を接する]

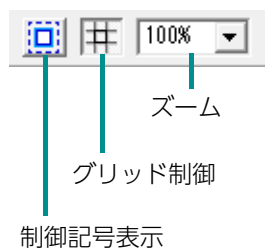
一番左にあるオブジェクトの右端が、二番めのオブジェクトの左端と接する、二番めのオブジェクトの右端が、三番めのオブジェクトの左端と接する ...、といった状態で、オブジェクト同士が左右の端で接するように配置を変更します。

[上下を接する]

一番上にあるオブジェクトの下端が、二番めのオブジェクトの上端と接する、二番めのオブジェクトの下端が、三番めのオブジェクトの上端と接する ...、といった状態で、オブジェクト同士が上下の端で接するように配置を変更します。

表示バー

表示バーに表示されている各ボタンについて説明します。



[制御記号表示]

制御記号の表示 / 非表示を切り替えます。

[グリッド制御]

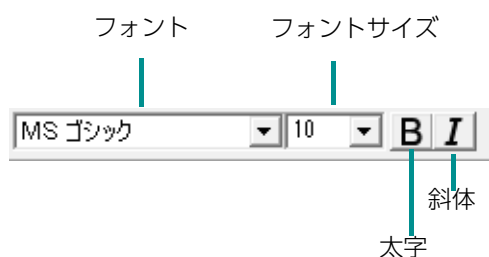
グリッド制御の設定 / 解除を切り替えます。

[ズーム]

レイアウト編集ビューの表示倍率を変更します。

書式設定バー

書式設定バーに表示されている各ボタンについて説明します。



[フォント]

テキスト装飾オブジェクトのフォントを変更します。

[フォントサイズ]

テキスト装飾オブジェクトのフォントサイズを変更します。

[太字]

テキスト装飾オブジェクトのフォントを太字に変更します。

[斜体]

テキスト装飾オブジェクトのフォントを斜体に変更します。

ダイアログボックス

[ファイル] メニュー関連＞ [ページ設定] ダイアログボックス

[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択すると表示されるダイアログボックスです。
フォームテンプレートの用紙サイズ、用紙方向を設定します。

[用紙サイズ]

用紙サイズを選択します。

選択できる用紙サイズは、次のとおりです。

用紙サイズ	幅 (mm)	高さ (mm)
A3	297	420
A4	210	297
A5	148	210
B4	257	364
B5	182	257
レター	216	356
リーガル	216	356
ガバメントリーガル	216	330
はがき	100	148
任意	[幅] に数値を入力して指定します。	[高さ] に数値を入力して指定します。

[幅]、[高さ]

用紙サイズで [任意] を選択した場合に、数値を mm 単位で入力します。



補足

- ・入力できる範囲は、100 ～ 420mm です。
- ・100mm より小さい数値を入力した場合は、100mm として扱われ、420mm より大きい数値を入力した場合は、420mm として扱われます。

[縦]、[横]

用紙方向を選択します。

[ファイル] メニュー関連＞ [フォームテンプレート情報] ダイアログボックス

[ファイル] メニューの [フォームテンプレート情報] を選択すると表示されるダイアログボックスです。フォームテンプレート ID、作者、作成日などの情報を設定します。

[ID] タブ

- [フォームテンプレート ID]

フォームテンプレート ID を入力します。

新規作成の場合の初期値は、「新規フォームテンプレート」です。



補足

- ・フォームテンプレート ID は、必ず入力します。
- ・Paper Form Management は、フォームテンプレート ID に含まれる半角英字、全角英字の大文字、小文字の区別をしません。フォームテンプレートの登録時は、同一の ID として扱います。
- ・入力できる文字数は、255 文字までです。
- ・次の文字と半角スペースは、使用できません。
! " # \$ % & ' () * + , / : ; < = > ? @ [¥] ^ ` { | } ~ ~
ー ¢ £ ー 「 」 【OK】 CON AUX PRN NUL COM0 COM1 COM2 COM3 COM4
COM5 COM6 COM7 COM8 COM9 LPT0 LPT1 LPT2 LPT3 LPT4 LPT5 LPT6 LPT7
LPT8 LPT9

フォームテンプレート ID は、フォームテンプレートを Paper Form Management に登録するときに、フォームテンプレートの識別に使用されます。



補足

Paper Form Management とフォームテンプレートの登録についての詳細は、『Paper Form Management ヘルプ』を参照してください。

[プロファイル] タブ

- [作成・修正者]

フォームテンプレートの作成者または修正者名です。

Paper Form Editor を起動したユーザーのログイン名が初期値として設定されます。

- [更新日]

フォームテンプレートの作成日または更新日が、自動的に設定されます。ユーザーが手動で設定することはできません。

- [説明]

フォームテンプレートについての説明です。



入力できる文字数は、511 文字までです。

- [ファイルパス]

ファイルのパス情報が、自動的に設定されます。ユーザーが手動で設定することはできません。

[バージョン] タブ

- [フォームテンプレートバージョン]、[解析バージョン]

テンプレート構造のバージョンと解析ルールのバージョンが、自動的に設定されます。ユーザーが手動で設定することはできません。

[編集] メニュー関連> [ユーザー定義属性の新規作成] ダイアログボックス

ユーザー定義属性を新規に作成します。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- コントロール編集ビューで [ユーザー定義属性] を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [ユーザー定義属性の新規作成] を選択する。
- コントロール編集ビューで [ユーザー定義属性] を選択し、[編集] メニューの [ユーザー定義属性の新規作成] を選択する。

[属性名]

属性の名前を入力します。

属性名は、データスコープ名、データセット名に使用します。

新規作成の場合の初期値は、「新規属性」です。すでに同じ名前の属性がある場合は、「新規属性」の後ろに 2 から始まる数字が付きます。



- ・ 入力できる文字数は、127 文字までです。
- ・ [%] (半角) または [#] (半角) は使用できません。
- ・ 予約語に指定されている文字は使用できません。予約語に指定されている文字列を属性名として設定すると、エラーメッセージが表示されます。

[編集] メニュー関連> [定義属性] ダイアログボックス

ユーザー定義属性、システム定義属性、またはシステムオプション定義属性の属性名を表示します。

ユーザー定義属性の場合は、属性名を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性、システム定義属性、またはシステムオプション定義属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性、システム定義属性、またはシステムオプション定義属性を選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

- コントロール編集ビューで、ユーザー定義属性、システム定義属性、またはシステムオプション定義属性をダブルクリックする。

[属性名]

属性の名前が表示されます。

ユーザー定義属性の場合は、属性名を変更できます。

属性名は、データスコープ名、データセット名に使用します。



補足

- ・ 入力できる文字数は、127 文字までです。
- ・ 「%」（半角）または「#」（半角）は使用できません。
- ・ 予約語に指定されている文字は使用できません。予約語に指定されている文字列を属性名として設定すると、エラーメッセージが表示されます。

[編集] メニュー関連> [コントロールのパーツ登録] ダイアログボックス

[編集] メニューの [コントロールのパーツ登録] を選択すると表示されるダイアログボックスです。

次のコントロールを、コントロールパーツとしてコントロールパーツファイルに登録します。

- BOOL コントロール
- 文字列コントロール
- 選択コントロール
- 数値コントロール
- QR コード描画領域コントロール
- マークシート制御コントロール

[パーツ名]

パーツ名を入力します。



補足

- ・ 入力できる文字数は、255 文字までです。
- ・ パーツ名を重複して登録することはできません。

[説明]

コントロールパーツ名についての説明を入力します。



補足

入力できる文字数は、511 文字までです。

[編集] メニュー関連> [コントロールパーツの選択] ダイアログボックス

次のいずれかの操作をすると表示されるダイアログボックスです。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [コントロールパーツの選択] を選択する。
- コントロール編集ビューで属性を選択して、[編集] メニューから [コントロールの設定] > [コントロールパーツの選択] を選択する。

コントロールパーツファイルに登録されているコントロールパーツが一覧表示されます。

[属性名]

属性名が表示されます。

コントロールパーツ一覧

登録されているコントロールパーツの一覧が表示されます。

コントロールの設定関連＞ [BOOL コントロール] ダイアログボックス

BOOL コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。

設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [BOOL] を選択して、レイアウト編集ビューの、BOOL コントロールを追加する位置でクリックする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [BOOL] を選択して、レイアウト編集ビューの、BOOL コントロールを追加する位置でクリックする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで BOOL コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで BOOL コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで BOOL コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

BOOL コントロールを設定する属性名が表示されます。

[チェックされたとき]、[チェックされていないとき]

値を次のように設定します。

- システム定義属性の場合は、値を選択します。
- ユーザー定義属性の場合は、値を入力します。
- システムオプション定義属性の場合は、値を選択または入力します。



補足

値を入力する場合、入力できる文字数は、255 文字までです。

コントロールの設定関連＞ [文字列コントロール] ダイアログボックス

文字列コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。

設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [文字列] を選択して、レイアウト編集ビューの、文字列コントロールを追加する位置でクリックする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [文字列] を選択して、レイアウト編集ビューの、文字列コントロールを追加する位置でクリックする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで文字列コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで文字列コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで文字列コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

文字列コントロールを設定する属性名が表示されます。

[文字列]

値を次のように設定します。

- システム定義属性（マルチページフォーム設定以外）の場合は、値を選択します。
- システム定義属性マルチページフォーム設定の場合は、複数フォーム名とページ番号・総ページ数を入力します。
- ユーザー定義属性の場合は、値を入力します。
- システムオプション定義属性の場合は、値を選択または入力します。



- ・ 値を選択する場合、リストに表示されるのは、文字列の先頭 20 文字だけです。選択すると、下のボックスに文字列がすべて表示されます。
- ・ 値を入力する場合、入力できる文字数は、511 文字までです。

コントロールの設定関連＞ [選択コントロール] ダイアログボックス

選択コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。



コントロールオブジェクトがグループ化されている場合は、設定の変更（[追加]、[削除]、[上へ]、[下へ]）はできません。

設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [選択] を選択して、レイアウト編集ビューの、選択コントロールを追加する位置でクリックする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [選択] を選択して、レイアウト編集ビューの、選択コントロールを追加する位置でクリックする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで選択コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで選択コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで選択コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

選択コントロールを設定する属性名が表示されます。

[選択項目]

チェックボックスがチェックされたときの値を、次のように設定します。

- システム定義属性の場合は、値を選択します。
- ユーザー定義属性の場合は、値を入力します。
- システムオプション定義属性の場合は、値を選択または入力します。



値を入力する場合、入力できる文字数は、255 文字までです。

[設定する値]

[追加] をクリックすると、[選択項目] に設定された値が表示されます。

表示された値が、チェックボックスがチェックされたときの値になります。



設定できる項目は、50 項目までです。

[追加]

〔選択項目〕に設定された値を、〔設定する値〕に追加登録します。

[削除]

〔設定する値〕の一覧で、値を選択してクリックすると、登録を取り消します。

[上へ]

〔設定する値〕の一覧で、値を選択してクリックすると、値の順序を1つ上へ移動します。

[下へ]

〔設定する値〕の一覧で、値を選択してクリックすると、値の順序を1つ下へ移動します。

[未入力制御]

未入力するとき（1つもチェックボックスが選択されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
〔デフォルト値〕で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[多値制御]

複数のチェックボックスが選択されたときの処理を選択します。

- [デフォルト値を使用する]
〔デフォルト値〕で指定した文字列を値とします。
- [エラーとする]
複数のチェックボックスが選択された場合はエラーになります。
- [値を連結する]
選択されたチェックボックスの値を、連結して1つの値にします。
- [セパレーターを使用して値を連結する]
選択されたチェックボックスの値を、〔セパレーター文字列〕に指定された値で連結して、1つの値にします。
- [最初に選択された値とする]
選択されたチェックボックスのうち、最初に選択された値を、入力値とします。
- [最後に選択された値とする]
選択されたチェックボックスのうち、最後に選択された値を、入力値とします。

[セパレーター文字列]

多値制御で使用するセパレーター文字列を入力します。



〔セパレーター文字列〕に入力できる文字数は、63文字までです。

[デフォルト値]

未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255文字までです。

コントロールの設定関連＞ [数値コントロール] ダイアログボックス

数値コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。



- ・コントロールオブジェクトがグループ化されている場合は、[桁数] の変更はできません。
- ・[多値制御]、[セパレーター文字列] は、使用できません。

設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [数値] を選択して、レイアウト編集ビューの、数値コントロールを追加する位置でクリックする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [数値] を選択して、レイアウト編集ビューの、数値コントロールを追加する位置でクリックする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで数値コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで数値コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで数値コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

数値コントロールを設定する属性名が表示されます。

[桁数]

数値コントロールの桁数を設定します。初期値は、「1」です。



指定できる桁数は、1 ～ 16 桁です。

[未入力制御]

未入力するとき（1 つも数値が記入されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[デフォルト値]

未入力制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255 文字までです。

[トリム指定]

数値の先頭、または末尾の空白の処理を選択します。

[先頭の空白を無視する] を選択すると、数値の先頭が空白の場合、先頭に設定された空白を取り除いて値を処理します。

[末尾の空白を無視する] を選択すると、数値の先頭が空白の場合、末尾に設定された空白を取り除いて値を処理します。



初期値は、[先頭の空白を無視する] と [末尾の空白を無視する] の両方が選択されています。

コントロールの設定関連＞ [QR コード描画領域コントロール] ダイアログボックス

QR コード描画領域コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。

設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [QR コード描画領域] を選択して、レイアウト編集ビューの、選択コントロールを追加する位置でクリックする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [QR コード描画領域] を選択して、レイアウト編集ビューの、選択コントロールを追加する位置でクリックする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューでQRコード描画領域コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで QR コード描画領域コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューで QR コード描画領域コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

QR コード描画領域コントロールを設定する属性名が表示されます。

[ライブラリーを使用する]

カスタマイズ用ライブラリーを使って QR コードを描画する場合に選択します。

- [バージョン]
QR コードのバージョンを選択します。
- [バージョンを固定で描画する]
チェックマークを付けると、設定したバージョンで QR コードが描画されます。
チェックマークを外すと、設定したバージョンの値を上限として、データ量に合わせてバージョンが自動設定されます。



バージョンは、QR コードに設定する情報量によって決定する必要があります。詳細は、弊社担当者までご連絡ください。

[シールを使用する]

シールを使って QR コードを描画する場合に選択します。

- [幅]
QR コードの幅を設定します。
- [高さ]
QR コードの高さを設定します。

[未入力制御]

未入力するとき（1 つもチェックボックスが選択されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定する文字列を値とします。

- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[多値制御]

複数のチェックボックスが選択されたときの処理を選択します。

- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。
- [エラーとする]
複数のチェックボックスが選択された場合はエラーになります。
- [値を連結する]
選択されたチェックボックスの値を、連結して 1 つの値にします。
- [セパレーターを使用して値を連結する]
選択されたチェックボックスの値を、[セパレーター文字列] に指定された値で連結して、1 つの値にします。
- [最初に選択された値とする]
選択されたチェックボックスのうち、最初に選択された値を、入力値とします。
- [最後に選択された値とする]
選択されたチェックボックスのうち、最後に選択された値を、入力値とします。

[セパレーター文字列]

多値制御で使用するセパレーター文字列を入力します。



補足

[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、63 文字までです。

[デフォルト値]

未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、255 文字までです。

コントロールの設定関連＞ [マークシート制御コントロール] ダイアログボックス

マークシート制御コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。

設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [マークシート制御] を選択して、レイアウト編集ビューの、マークシート制御コントロールを追加する位置でクリックする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [マークシート制御] を選択して、レイアウト編集ビューの、マークシート制御コントロールを追加する位置でクリックする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューでマークシート制御コントロールを右クリックして、表示されたショートカットメニューから [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューでマークシート制御コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューでマークシート制御コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

マークシート制御コントロールを設定する属性名が表示されます。

[未入力制御]

未入力するとき（1 つも値が記入されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[多値制御]

複数の値が入力されたときの処理を選択します。

- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。
- [エラーとする]
複数の値が入力された場合はエラーになります。
- [値を連結する]
入力された値を連結して、1 つの値にします。
- [セパレーターを使用して値を連結する]
入力された値を、[セパレーター文字列] に指定された値で連結して、1 つの値にします。
- [最初に選択された値とする]
入力された値のうち、最初に入力された値を、入力値とします。
- [最後に選択された値とする]
入力された値のうち、最後に入力された値を、入力値とします。

[セパレーター文字列]

多値制御で使用するセパレーター文字列を入力します。



補足

[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、63 文字までです。

[デフォルト値]

未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

コントロールの設定関連＞ [サービス描画領域コントロール] ダイアログボックス

サービス描画領域コントロールを設定します。設定時または設定の変更時に表示されます。



補足

サービス描画領域コントロールを使用したカスタマイズについては、弊社担当者までご連絡ください。
設定時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューで属性を右クリックして、表示されたショートカットメニューから [コントロールの設定] > [サービス描画領域] を選択して、レイアウト編集ビューで、サービス描画領域コントロールを追加する位置をドラッグする。
- コントロール編集ビューで属性を選択し、[編集] メニューの [コントロールの設定] > [サービス描画領域] を選択して、レイアウト編集ビューで、サービス描画領域コントロールを追加する位置をドラッグする。

設定の変更時は、次のいずれかの方法で表示します。

- コントロール編集ビューでサービス描画領域コントロールを右クリックして、表示されたショートカット

メニューから [プロパティ] を選択する。

- コントロール編集ビューでサービス描画領域コントロールを選択して、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。
- コントロール編集ビューでサービス描画領域コントロールをダブルクリックする。

[属性名]

サービス描画領域コントロールを設定する属性名が表示されます。

[カラム数]

サービス描画領域コントロールのカラムの、列数を設定します。初期値は、「2」です。



- ・ 設定できる最大列数は、指定した矩形の幅を 4mm で割った値です。
- ・ 設定できる最小列数は、「1」です。

[未入力制御]

未入力するとき（1 つも値が入力されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[多値制御]

複数の値が入力されたときの処理を選択します。

- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。
- [エラーとする]
複数の値が入力された場合はエラーになります。
- [値を連結する]
入力された値を連結して、1 つの値にします。
- [セパレーターを使用して値を連結する]
入力された値を、[セパレーター文字列] に指定された値で連結して、1 つの値にします。
- [最初に選択された値とする]
入力された値のうち、最初に入力された値を、入力値とします。
- [最後に選択された値とする]
入力された値のうち、最後に入力された値を、入力値とします。

[セパレーター文字列]

多値制御で使用するセパレーター文字列を入力します。



[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、63 文字までです。

[デフォルト値]

未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

コントロールオブジェクトプロパティ関連> [チェックボックスコントロールオブジェクト] ダイアログボックス

次のコントロールオブジェクトの属性を表示します。[左上位置] のみ変更できます。

- BOOL コントロールオブジェクト
- 文字列コントロールオブジェクト
- 選択コントロールオブジェクト
- サービス描画領域コントロールオブジェクト
- マークシート制御コントロールオブジェクト

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[情報] タブ

- [データスコープ名]
解析する情報のスコープの名前です。属性名が設定されます。
- [データセット名]
フォーム定義上のデータセット名です。
- [順序]
コントロールオブジェクト（ユニット）の解析順序です。
- [有効値]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ「,」や「¥」を入力した場合、「,」や「¥」の直前に半角の「¥」が付加されて表示されます（例：「¥,」 「¥¥」）。

- [エクストラデータ]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した文字列情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ「,」や「¥」を入力した場合、「,」や「¥」の直前に半角の「¥」が付加されて表示されます（例：「¥,」 「¥¥」）。

[位置] タブ

- [左上位置]
コントロールオブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。

- 入力できる範囲は、999.99 ～ -999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。
- [サイズ]
コントロールオブジェクトの幅と高さです。幅、高さともに 4mm に設定されています。

[値] タブ

- [フォームシート上に表示]
フォーム化したときに、紙面上に表示するかしないかの情報です。
- [解析済み]
解析しなくても値が決定しているかどうかの情報です。

コントロールオブジェクトプロパティ関連＞ [6 点ガイド式数値入力コントロールオブジェクト] ダイアログボックス

数値コントロールオブジェクトの属性を表示します。[左上位置] のみ変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[情報] タブ

- [データスコープ名]
解析する情報のスコープの名前です。属性名が設定されます。
- [データセット名]
フォーム定義上のデータセット名です。
- [順序]
コントロールオブジェクト（ユニット）の解析順序です。
- [有効値]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ [,] や [¥] を入力した場合、[,] や [¥] の直前に半角の [¥] が付加されて表示されます (例: [¥,] [¥¥])。

- [エクストラデータ]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した文字列情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ [,] や [¥] を入力した場合、[,] や [¥] の直前に半角の [¥] が付加されて表示されます (例: [¥,] [¥¥])。

[位置] タブ

- [左上位置]
コントロールオブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



- 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- 入力できる範囲は、999.99 ～ -999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [サイズ]
コントロールオブジェクトの幅と高さです。幅 8mm、高さ 10mm に設定されています。

【値】 タブ

- [フォームシート上に表示]
フォーム化したときに、紙面上に表示するかしないかの情報です。
- [解析済み]
解析しなくても値が決定しているかどうかの情報です。

コントロールオブジェクトプロパティ関連＞ [領域切り出しコントロールオブジェクト] ダイアログボックス

領域切り出しコントロールオブジェクトの属性を表示します。[左上位置] と [サイズ] を変更できます。次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

【情報】 タブ

- [データスコープ名]
解析する情報のスコープの名前です。属性名が設定されます。
- [データセット名]
フォーム定義上のデータセット名です。
- [順序]
コントロールオブジェクト（ユニット）の解析順序です。
- [有効値]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ [,] や [¥] を入力した場合、[,] や [¥] の直前に半角の [¥] が付加されて表示されます（例：[¥ ,] [¥ ¥]）。

- [エクストラデータ]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した文字列情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ [,] や [¥] を入力した場合、[,] や [¥] の直前に半角の [¥] が付加されて表示されます（例：[¥ ,] [¥ ¥]）。

【位置】 タブ

- [左上位置]
コントロールオブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。

- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



- 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- 入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [サイズ]
コントロールオブジェクトの幅と高さです。

- [幅]
幅を mm 単位で入力します。

- [高さ]
高さを mm 単位で入力します。



- 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- 入力できる範囲は、0.01 ~ 999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0.01mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。

コントロールオブジェクトプロパティ関連> [QR コード描画領域コントロールオブジェクト] ダイアログボックス

QR コード描画領域コントロールオブジェクトの属性を表示します。[左上位置] と [サイズ] を変更できます。次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[情報] タブ

- [データスコープ名]
解析する情報のスコープの名前です。属性名が設定されます。
- [データセット名]
フォーム定義上のデータセット名です。
- [順序]
コントロールオブジェクト（ユニット）の解析順序です。
- [有効値]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ [,] や [¥] を入力した場合、[,] や [¥] の直前に半角の [¥] が付加されて表示されます (例: [¥,] [¥¥])。

- [エキストラデータ]
コントロール設定時に、ダイアログボックスで設定した文字列情報です。



コントロール設定時に、半角のカンマ [,] や [¥] を入力した場合、[,] や [¥] の直前に半角の [¥] が付加されて表示されます (例: [¥,] [¥¥])。

【位置】 タブ

- [左上位置]
コントロールオブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



補足

- 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- 入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。
- [サイズ]
コントロールオブジェクトの幅と高さです。
- [幅]
幅を mm 単位で入力します。
- [高さ]
高さを mm 単位で入力します。



補足

- 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- 入力できる範囲は、0.01 ~ 999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0.01mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。
- [縦横比を固定する]
コントロールオブジェクトの縦横比は、常に固定に設定されています。

【枠線】 タブ

- [する]
QR コード描画領域の枠線を表示します。
- [しない]
QR コード描画領域の枠線を表示しません。

コントロールオブジェクトプロパティ関連> [サービス描画領域] ダイアログボックス

サービス描画領域コントロールオブジェクトの属性を表示します。[左上位置]、[1 行の高さ]、[行数] を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、コントロールオブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。



補足

サービス描画領域オブジェクトの場合は、枠線をダブルクリックまたはクリックしてください。枠内をダブルクリックすると、[列] ダイアログボックスが表示され、枠内をクリックするとカラムが選択されます。

【領域】 タブ

- [領域名]

サービス描画領域オブジェクトの名前です。属性名が設定されます。

- [データセット名]
フォーム定義上のデータセット名です。
- [1 行の高さ]
サービス描画領域オブジェクトの、1 行の高さです。



- ・単位は、mm です。
- ・入力できる範囲は、0.01 ～ 999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0.01mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。

- [行数]
サービス描画領域オブジェクトの行数です。



入力できる数値は、1 ～ 999 までの整数です。

[位置] タブ

- [左上位置]
コントロールオブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。



- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、999.99 ～ -999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。

コントロールオブジェクトプロパティ関連> [列] ダイアログボックス

サービス描画領域コントロールのカラム（列）の属性を変更できます。
次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、カラムをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、カラムをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、カラムオブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[列] タブ

- [列名]
カラムの名前です。
- [列幅]
カラムの幅です。



- ・単位は、mm です。
- ・0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・入力できる範囲は、0.01 ～ 999.99mm までです。

- ・ 999.99mmより大きい値を入力した場合は、999.99mmに、0mmより小さい値を入力した場合は、0.01mmに設定されます。
- ・ 列幅を変更したカラムの右隣にカラムがある場合、右隣のカラムの幅も変更されます。
- ・ 右隣のカラム幅を超えた幅に変更した場合は、右隣のカラムは、チェックボックスカラムのとき最小値の 8 mm まで、テキスト、イメージカラムのとき最小値の 4 mm まで縮小します。
ただし、右側のカラムが上記の最小値より小さく設定されている場合は、右側のカラムはサイズ変更されません。
- [内容]
カラムの内容です。文字列、イメージ、チェックボックスから選択できます。文字列の場合は、[設定] をクリックすると、フォントの設定ができます。
- [設定]
文字列のフォントを設定します。クリックすると [テキスト] ダイアログボックスが表示され、設定ができます。

[セル] タブ

- [内マージン]
セルの内マージンです。この値で指定された部分に点線の矩形が表示されます（制御記号表示のとき）。



- ・ 文字列の場合は、このマージン内に表示されるので、フォントの設定によっては文字が欠ける場合があります。
- ・ イメージの場合は、このマージン内に元のイメージの縦横比を保って拡大縮小され、矩形の中央に配置するように読み込まれます。
- ・ チェックボックスの場合は、マージン内の左上位置に、各辺 4mm のチェックボックスが表示されます。
- ・ マージンの単位は、mm です。
- ・ 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・ 99.99mm より大きい値を入力した場合は、99.99mm に、0mm より小さい値を入力した場合は、0mm に設定されます。

装飾オブジェクトプロパティ関連> [矩形] ダイアログボックス

矩形装飾オブジェクトの属性を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[辺・面] タブ

- [辺を表示]
辺の表示 / 非表示を切り替えます。
- [する]
辺を表示します。
- [しない]
辺を非表示にします。
- [幅]
線幅を設定します。線幅を選択するか、または右側のボックスに幅を mm 単位で入力します。



- ・ 初期値は、0.5mm です。
- ・ 数値で入力する場合は、0 より大きい数を、小数点以下 1 桁まで入力できます。
- ・ 小数点以下 2 桁まで値がある場合は、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値に設定されます。

- ・入力できる範囲は、0.1 ～ 99.9mm までです。
- ・99.9mm より大きい値を入力した場合は、99.9mm に、0.1mm より小さい値を入力した場合は、0.1mm に設定されます。
- [色] ([辺を表示])
線の色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



[色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

- [塗りつぶす]
面の塗りつぶしを設定します。
- [する]
面を塗りつぶします。[色] で塗りつぶしの色を設定します。
- [しない]
面を透明にします。
- [色] ([塗りつぶし])
塗りつぶしの色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



[色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[位置] タブ

- [左上位置]
装飾オブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



- ・小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・入力できる範囲は、999.99 ～ -999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [サイズ]
装飾オブジェクトの幅と高さです。
- [幅]
幅を mm 単位で入力します。
- [高さ]
高さを mm 単位で入力します。



- ・0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・入力できる範囲は、0.01 ～ 999.99mm までです。
- ・999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。

装飾オブジェクトプロパティ関連> [長円形] ダイアログボックス

長円形装飾オブジェクトの属性を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[辺・面] タブ

- [辺を表示]
円周の表示 / 非表示を切り替えます。
- [する]
円周を表示します。
- [しない]
円周を非表示にします。
- [幅]
線幅を設定します。線幅を選択するか、または右側のボックスに幅を mm 単位で入力します。



- ・ 初期値は、0.5mm です。
- ・ 数値で入力する場合は、0 より大きい数を、小数点以下 1 桁まで入力できます。
- ・ 小数点以下 2 桁まで値がある場合は、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値に設定されます。
- ・ 入力できる範囲は、0.1 ～ 99.9mm までです。
- ・ 99.9mm より大きい値を入力した場合は、99.9mm に、0.1mm より小さい値を入力した場合は、0.1mm に設定されます。

- [色] ([辺を表示])
線の色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



[色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

- [塗りつぶす]
面の塗りつぶしを設定します。
- [する]
面を塗りつぶします。[色] で塗りつぶしの色を設定します。
- [しない]
面を透明にします。
- [色] ([塗りつぶし])
塗りつぶしの色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



[色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[位置] タブ

- [中心位置]
装飾オブジェクトの中心位置の座標です。
- [X]

X 座標を mm 単位で入力します。

- [Y]

Y 座標を mm 単位で入力します。



- ・ 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・ 入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- ・ 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [半径]

長円形の半径の座標です。

- [X 方向]

X 方向の半径を mm 単位で入力します。

- [Y 方向]

Y 方向の半径を mm 単位で入力します。



- ・ 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・ 入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- ・ 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

装飾オブジェクトプロパティ関連> [線] ダイアログボックス

線装飾オブジェクトの属性を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[線] タブ

- [線を表示]

線の表示 / 非表示を切り替えます。

- [する]

線を表示します。

- [しない]

線を非表示にします。

- [幅]

線幅を設定します。線幅を選択するか、または右側のボックスに幅を mm 単位で入力します。



- ・ 初期値は、0.5mm です。
- ・ 数値で入力する場合は、0 より大きい数を、小数点以下 1 桁まで入力できます。
- ・ 小数点以下 2 桁まで値がある場合は、小数点以下 2 桁目を四捨五入した値に設定されます。
- ・ 入力できる範囲は、0.1 ~ 99.9mm までです。
- ・ 99.9mm より大きい値を入力した場合は、99.9mm に、0.1mm より小さい値を入力した場合は、0.1mm に設定されます。

- [色] ([線を表示])

線の色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定]

ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



【色の設定】ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

【位置】 タブ

- [始点]、[終点]
装飾オブジェクトの始点と終点の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



- ・ 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・ 入力できる範囲は、999.99 ～ -999.99mm までです。
- ・ 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

装飾オブジェクトプロパティ関連> 【テキスト】 ダイアログボックス

テキスト装飾オブジェクトの属性を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。



- ・ テキスト装飾オブジェクトの文字列上をクリックした場合は、文字列が入力できる状態になります。文字列以外をクリックするか、または < Esc > キーを押すと、文字列の入力を確定して、入力できる状態を解除します。
 - ・ テキスト装飾オブジェクトを選択状態にするには、次のいずれかの操作をします。
 - 文字列の周りに表示されている点線をクリックします。
 - テキスト装飾オブジェクトを含む範囲をドラッグします。
- なお、文字列の周りの点線は、制御記号を表示しているときに表示されます。

【テキスト】 タブ

- [文字列]
文字列を入力します。

【フォント】 タブ

- [フォント]
フォントを選択します。
- [スタイル]
文字のスタイルを選択します。
- [サイズ]
文字サイズを選択します。
- [サンプル]
現在の設定を反映した文字のサンプルが表示されます。
- [文字色]

文字の色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



[色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

- [背景色]
文字の背景色を設定します。
- [不透過]
背景色を設定します。下部のボックスで色を設定します。
- [透過]
背景を透明にします。
- [背景色] の色の設定
背景色を設定します。使用する色を選択するか、または右側のボタン (□) をクリックして [色の設定] ダイアログボックスを表示し、色を選択します。



[色の設定] ダイアログボックスの使い方については、Windows のマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。

[位置] タブ

- [左上位置]
装飾オブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



- ・ 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- ・ 入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- ・ 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [サイズ]
装飾オブジェクトの幅と高さです。
- [幅]
幅を mm 単位で入力します。
- [高さ]
高さを mm 単位で入力します。



- ・ 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- ・ 入力できる範囲は、0.01 ~ 999.99mm までです。
- ・ 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、0mm より小さい値を入力した場合は、0.01mm に設定されます。

[ラベル] タブ

- [ラベル]
ラベルは、カスタマイズ用ライブラリーを使って、装飾オブジェクトへの操作を行う際に必要な識別名となります。
カスタマイズ用ライブラリーを使用しない場合、設定する必要はありません。



カスタマイズ用ライブラリーについては、弊社担当者までご連絡ください。

装飾オブジェクトプロパティ関連> [イメージ] ダイアログボックス

イメージ装飾オブジェクトの属性を変更できます。

次のいずれかの操作をすると表示されます。

- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをダブルクリックする。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、右クリックして表示されたショートカットメニューから、[プロパティ] を選択する。
- レイアウト編集ビューで、装飾オブジェクトをクリックして選択し、[編集] メニューの [プロパティ] を選択する。

[ファイル] タブ

- [ファイル名]
イメージの矩形の中に挿入するビットマップファイルを指定します。[参照] をクリックして指定することもできます。
- [参照]
[参照] ダイアログボックスを表示して、ファイルを選択できます。



[ファイル名] に指定したファイル名は、フォームテンプレート編集ウィンドウを閉じるまで保持されます。そのフォームテンプレートを次に開いたときは、ダイアログボックスの [ファイル名] に、イメージファイルのファイル名は表示されません。

[位置] タブ

- [左上位置]
装飾オブジェクトの左上の位置の座標です。
- [X]
X 座標を mm 単位で入力します。
- [Y]
Y 座標を mm 単位で入力します。



- 小数点以下 2 桁までの値を入力できます。
- 入力できる範囲は、999.99 ~ -999.99mm までです。
- 999.99mm より大きい値を入力した場合は、999.99mm に、-999.99mm より小さい値を入力した場合は、-999.99mm に設定されます。

- [サイズ]
装飾オブジェクトの幅と高さです。
- [幅]
幅を mm 単位で入力します。
- [高さ]
高さを mm 単位で入力します。



- 0 より大きい値を、小数点以下 2 桁まで入力できます。
- 入力できる範囲は、0.01 ~ 999.99mm までです。
- 999.99mmより大きい値を入力した場合は、999.99mmに、0mmより小さい値を入力した場合は、0.01mmに設定されます。

[ラベル] タブ

● [ラベル]

ラベルは、カスタマイズ用ライブラリーを使って、装飾オブジェクトへの操作を行う際に必要な識別名となります。カスタマイズ用ライブラリーを使用しない場合、設定する必要はありません。



カスタマイズ用ライブラリーについては、弊社担当者までご連絡ください。

[表示] メニュー関連> [ズーム] ダイアログボックス

[表示] メニューの [ズーム] を選択すると表示されるダイアログボックスです。
レイアウト編集ビューの表示倍率を変更します。

[倍率]

表示倍率を選択します。[任意指定] を選択した場合は、下部のボックスに倍率 (%) を入力します。



- ・入力できる範囲は、20 ~ 200% です。
- ・20% より小さい数値を入力した場合は、20% として扱われ、200% より大きい数値を入力した場合は、200% として扱われます。

[表示] メニュー関連> [グリッド間隔] ダイアログボックス

[表示] メニューの [グリッド間隔] を選択すると表示されるダイアログボックスです。
グリッドの間隔を変更します。

[横方向]

グリッドの横の間隔を選択します。[任意] を選択した場合、下のボックスに間隔を mm 単位で入力します。



- ・間隔は、1 ~ 10mm まで入力できます。
- ・初期値は「4」mmです。

[縦方向]

グリッドの縦の間隔を選択します。[任意] を選択した場合、下のボックスに間隔を mm 単位で入力します。



- ・間隔は、1 ~ 10mm まで入力できます。
- ・初期値は「4」mmです。

[オプション] メニュー関連> [設定] ダイアログボックス

[オプション] メニューの [設定] を選択すると表示されるダイアログボックスです。
Paper Form Editor の環境設定をします。
ここで設定した内容は、次の起動時から有効になります。

[起動時にフォームテンプレートを]

起動時に、新規のフォームテンプレートを表示するかどうかを選択します。

[コントロールパーツファイル]

コントロールパーツを登録するコントロールパーツファイル (ControlParts.xcp) の読み込み先を設定します。

初期値は、Paper Form Editor のインストールフォルダー直下にある「system」フォルダー内の「ControlParts.xcp」です。

[デフォルトフォント]

- [フォント]
テキスト装飾オブジェクトのフォントの初期値を設定します。
初回起動時は、日本語 OS の場合は MS ゴシック、英語 OS の場合は Arial が設定されています。
- [サイズ]
テキスト装飾オブジェクトのフォントサイズの初期値を設定します。
初回起動時は、10 ポイントが設定されています。

[オプション] メニュー関連> [コントロールパーツの編集] ウィンドウ

[オプション] メニューの [コントロールパーツの編集] を選択すると表示されるウィンドウです。
コントロールパーツファイルに登録されているコントロールパーツの編集をします。



補足

コントロールパーツファイルが「読み取り専用」の場合は、編集できません。このとき、ウィンドウのタイトルバーには「読み取り専用」と表示されます。

コントロールパーツ一覧

登録されているコントロールパーツの一覧が表示されます。

[編集]

一覧でコントロールパーツを選択して、[編集] をクリックすると、選択したコントロールパーツの編集ダイアログボックスを表示します。

[削除]

一覧でコントロールパーツを選択して、[削除] をクリックすると、コントロールパーツを削除します。

[オプション] メニュー関連> [BOOL パーツの編集] ダイアログボックス

[コントロールパーツの編集] ウィンドウで、BOOL コントロールパーツを選択して、[編集] を選択すると表示されるダイアログボックスです。

BOOL コントロールパーツの編集をします。

[パーツ名]

パーツ名を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

[説明]

コントロールパーツについての説明を入力します。



補足

入力できる文字数は、511 文字までです。

[チェックされたとき]、[チェックされていないとき]

値を入力します。



補足

値を入力する場合、入力できる文字数は、255 文字までです。

[オプション] メニュー関連> [文字列パーツの編集] ダイアログボックス

【コントロールパーツの編集】 ウィンドウで、文字列コントロールパーツを選択して、【編集】を選択すると表示されるダイアログボックスです。

文字列コントロールパーツの編集をします。

【パーツ名】

パーツ名を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

【説明】

コントロールパーツについての説明を入力します。



補足

入力できる文字数は、511 文字までです。

【文字列】

値を入力します。



補足

- ・ 値を選択する場合、リストに表示されるのは、文字列の先頭 20 文字だけです。選択すると、下のボックスに文字列がすべて表示されます。
- ・ 値を入力する場合、入力できる文字数は、511 文字までです。

【オプション】 メニュー関連＞ 【選択パーツの編集】 ダイアログボックス

【コントロールパーツの編集】 ウィンドウで、選択コントロールパーツを選択して、【編集】を選択すると表示されるダイアログボックスです。

選択コントロールパーツの編集をします。

【パーツ名】

パーツ名を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

【説明】

コントロールパーツについての説明を入力します。



補足

入力できる文字数は、511 文字までです。

【選択項目】

チェックボックスがチェックされたときの値を入力します。



補足

値を入力する場合、入力できる文字数は、255 文字までです。

【設定する値】

【追加】をクリックすると、【選択項目】に設定された値が表示されます。

表示された値が、チェックボックスがチェックされたときの値になります。

[追加]

〔選択項目〕に設定された値を、〔設定する値〕に追加登録します。

[削除]

〔設定する値〕の一覧で、値を選択してクリックすると、登録を取り消します。

[上へ]

〔設定する値〕の一覧で、値を選択してクリックすると、値の順序を1つ上へ移動します。

[下へ]

〔設定する値〕の一覧で、値を選択してクリックすると、値の順序を1つ下へ移動します。

[未入力制御]

未入力するとき（1つもチェックボックスが選択されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
〔デフォルト値〕で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[多値制御]

複数のチェックボックスが選択されたときの処理を選択します。

- [デフォルト値を使用する]
〔デフォルト値〕で指定した文字列を値とします。
- [エラーとする]
複数のチェックボックスが選択された場合はエラーになります。
- [値を連結する]
選択されたチェックボックスの値を、連結して1つの値にします。
- [セパレーターを使用して値を連結する]
選択されたチェックボックスの値を、〔セパレーター文字列〕に指定された値で連結して、1つの値にします。
- [最初に選択された値とする]
選択されたチェックボックスのうち、最初に選択された値を、入力値とします。
- [最後に選択された値とする]
選択されたチェックボックスのうち、最後に選択された値を、入力値とします。

[セパレーター文字列]

多値制御で使用するセパレーター文字列を入力します。



補足

〔セパレーター文字列〕に入力できる文字数は、63文字までです。

[デフォルト値]

未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

入力できる文字数は、255文字までです。

[オプション] メニュー関連＞ [数値パーツの編集] ダイアログボックス

[コントロールパーツの編集] ウィンドウで、数値コントロールパーツを選択して、[編集] を選択すると表示されるダイアログボックスです。

数値コントロールパーツの編集をします。

[パーツ名]

パーツ名を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

[説明]

コントロールパーツについての説明を入力します。



補足

入力できる文字数は、511 文字までです。

[桁数]

数値コントロールの桁数を設定します。初期値は、「1」です。



補足

指定できる桁数は、1 ～ 16 桁です。

[未入力制御]

未入力するとき（1 つも数値が記入されなかったとき）の処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[デフォルト値]

未入力制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

[トリム指定]

数値の先頭、または末尾の空白の処理を選択します。

[先頭の空白を無視する] を選択すると、数値の先頭が空白の場合、先頭に設定された空白を取り除いて値を処理します。

[末尾の空白を無視する] を選択すると、数値の先頭が空白の場合、末尾に設定された空白を取り除いて値を処理します。



補足

初期値は、[先頭の空白を無視する] と [末尾の空白を無視する] の両方が選択されています。

[オプション] メニュー関連> [QR コード描画領域パーツの編集] ダイアログボックス

[コントロールパーツの編集] ウィンドウで、QR コード描画領域コントロールパーツを選択して、[編集] を選択すると表示されるダイアログボックスです。

QR コード描画領域コントロールパーツの編集をします。

[パーツ名]

パーツ名を入力します。



入力できる文字数は、255 文字までです。

[説明]

コントロールパーツについての説明を入力します。



入力できる文字数は、511 文字までです。

[ライブラリーを使用する]

カスタマイズ用ライブラリーを使って QR コードを描画する場合に選択します。

- [バージョン]
QR コードのバージョンを選択します。
- [バージョンを固定で描画する]
チェックマークを付けると、設定したバージョンで QR コードが描画されます。
チェックマークを外すと、設定したバージョンの値を上限として、データ量に合わせてバージョンが自動設定されます。



バージョンは、QR コードに設定する情報量によって決定する必要があります。詳細は、弊社担当者までご連絡ください。

[シールを使用する]

シールを使って QR コードを描画する場合に選択します。

- [幅]
QR コードの幅を設定します。
- [高さ]
QR コードの高さを設定します。

[未入力制御]

未入力のときの処理を設定します。

- [制御しない]
未入力制御をしません。
- [デフォルト値を使用する]
[デフォルト値] で指定する文字列を値とします。
- [エラーとする]
未入力の場合はエラーになります。

[デフォルト値]

未入力制御で使用するデフォルト値を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

[オプション] メニュー関連> [マークシート制御パーツの編集] ダイアログボックス

[コントロールパーツの編集] ウィンドウで、マークシートコントロール制御パーツを選択して、[編集] を選択すると表示されるダイアログボックスです。

マークシート制御コントロールパーツの編集をします。

[パーツ名]

パーツ名を入力します。



補足

入力できる文字数は、255 文字までです。

[説明]

コントロールパーツについての説明を入力します。



補足

入力できる文字数は、511 文字までです。

[未入力制御]

未入力のとき（1 つも値が入力されなかったとき）の処理を選択します。

「制御しない」を選択すると、未入力制御をしません。

「デフォルト値を使用する」を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

「エラーとする」を選択すると、未入力の場合はエラーになります。

[多値制御]

複数の値が入力されたときの処理を選択します。

[デフォルト値を使用する] を選択すると、[デフォルト値] で指定した文字列を値とします。

- [エラーとする]
複数の値が入力された場合はエラーになります。
- [値を連結する]
入力された値を連結して、1 つの値にします。
- [セパレーターを使用して値を連結する]
入力された値を、[セパレーター文字列] に指定された値で連結して、1 つの値にします。
- [最初に選択された値とする]
入力された値のうち、最初に入力された値を、入力値とします。
- [最後に選択された値とする]
入力された値のうち、最後に入力された値を、入力値とします。

[セパレーター文字列]

多値制御で使用するセパレーター文字列を入力します。



補足

[セパレーター文字列] に入力できる文字数は、63 文字までです。

[デフォルト値]

未入力制御や多値制御で使用するデフォルト値を入力します。



入力できる文字数は、255 文字までです。

【構成の編集】

【マークシートを構成するコントロールの編集】 ダイアログボックスを表示します。

【オプション】 メニュー関連＞ 【マークシートを構成するコントロールの編集】 ダイアログボックス

【マークシート制御パーツの編集】 ダイアログボックスで【構成の編集】をクリックすると表示されるダイアログボックスです。

マークシートを構成している各コントロールの順序や設定の変更、コントロールの新規追加、削除をします。

コントロール一覧

マークシートを構成しているコントロールの一覧が表示されます。

コントロールは、一覧に表示されている順序で解析されます。

【BOOL】

【BOOL コントロール】 ダイアログボックスが表示され、BOOL コントロールをマークシートに設定できます。

【文字列】

【文字列コントロール】 ダイアログボックスが表示され、文字列コントロールをマークシートに設定できます。

【選択】

【選択コントロール】 ダイアログボックスが表示され、選択コントロールをマークシートに設定できます。

【数値】

【数値コントロール】 ダイアログボックスが表示され、数値コントロールをマークシートに設定できます。

【QR コード】

【QR コード描画領域コントロール】 ダイアログボックスが表示され、QR コード描画領域コントロールをマークシートに設定できます。

【上へ】

一覧でコントロールを選択して、【上へ】をクリックすると、コントロールの順序を 1 つ上へ移動します。

【下へ】

一覧でコントロールを選択して、【下へ】をクリックすると、コントロールの順序を 1 つ下へ移動します。

【変更】

一覧でコントロールを選択して、【変更】をクリックすると、各コントロールの設定のダイアログボックスを表示します。

【削除】

一覧でコントロールを選択して、【削除】をクリックすると、コントロールパーツからコントロールを削除します。

【ヘルプ】 メニュー関連＞ 【バージョン情報】 ダイアログボックス

【ヘルプ】 メニューの【バージョン情報】を選択すると表示されるダイアログボックスです。

Paper Form Editor のバージョンを表示します。

コントロール編集ビューのアイコン

コントロール編集ビューに表示される定義属性やコントロールオブジェクトの先頭には、次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	定義属性のルートアイコンを示します。
	定義済みの属性を示します。
	未定義の属性を示します。
	BOOL コントロールを示します。
	文字列コントロールを示します。
	選択コントロールを示します。
	数値コントロールを示します。
	領域切り出しコントロールを示します。
	QR コード描画領域コントロールを示します。
	サービス描画領域コントロールを示します。
	マークシート制御コントロールを示します。

2 Paper Form Management のヘルプ

概要

Paper Form Management とは

Paper Form Management は、ApeosWare Management Suite 2 Flow Management Option の Paper Form 機能に必要なファイル（リソース）を管理するためのソフトウェアです。

Flow Management の［フォーム解析］機能、および［フォーム解析結果出力］機能は、ファクスやスキャナーなどから送信されてきた紙の文書に添付されているフォームを解析し、フォームに記述されたユーザー指示内容を読み取ったり、読み取った指示内容をファイルに出力する機能です。このユーザー指示内容は、Flow Management に設定された文書の登録や配信処理で利用できます。

Paper Form Management は、［フォーム解析］機能や［フォーム解析結果出力］機能に必要なフォームテンプレートやフォームなどのファイル（リソース）を管理するためのソフトウェアです。

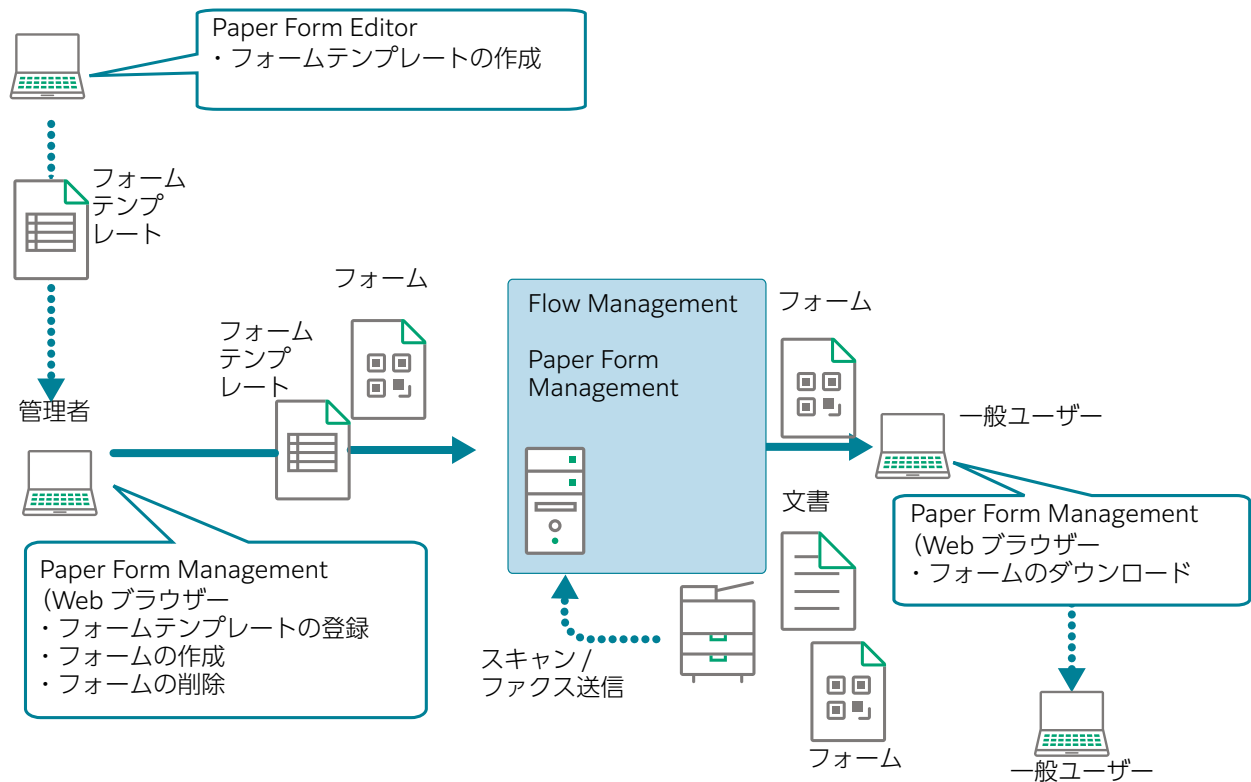
Paper Form Management は、次の 2 つの機能で構成されています。

- リソースの登録を含む管理機能
- 複数のフォームを自動的に削除するフォーム削除機能

Paper Form Management を操作できるユーザーには、一般ユーザーと管理者の 2 種類があります。

一般ユーザーは、Web ブラウザーを使用して、公開されているフォームテンプレートやフォームの一覧を表示したり、フォームをダウンロードしたりできます。リソースの登録や削除などはできません。

管理者は、Paper Form Management で提供されるすべての機能を実行できます。リソースを登録したり、フォーム削除ツールを使って有効期間を過ぎたフォームを自動的に削除したりできます。

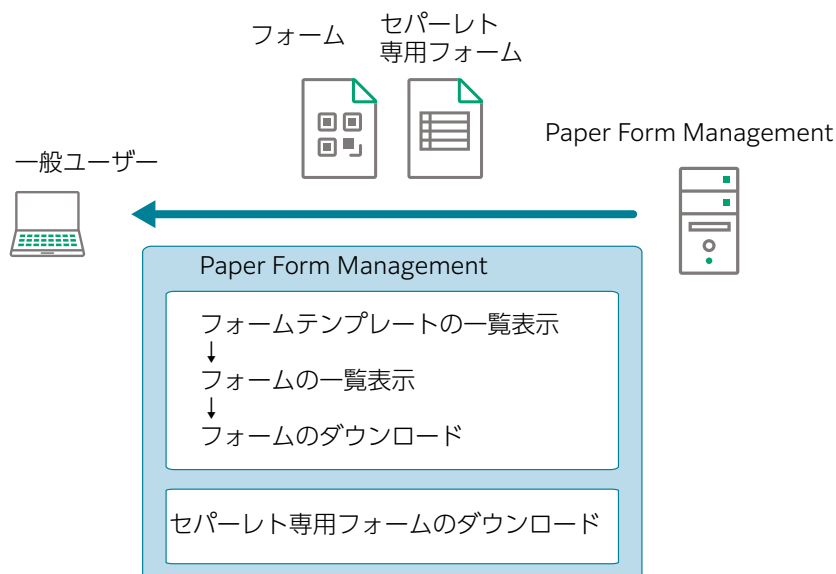


- ・ [フォーム解析] 機能、および [フォーム解析結果出力] 機能を使用するには、Paper Form & QR Code Reader Option が必要です。
- ・ フォームを利用する機能を総称して、Paper Form 機能と呼びます。

一般ユーザーができること

一般ユーザーは、Web ブラウザーを使用して、公開されているフォームテンプレートやフォームを一覧表示し、フォームをダウンロードできます。

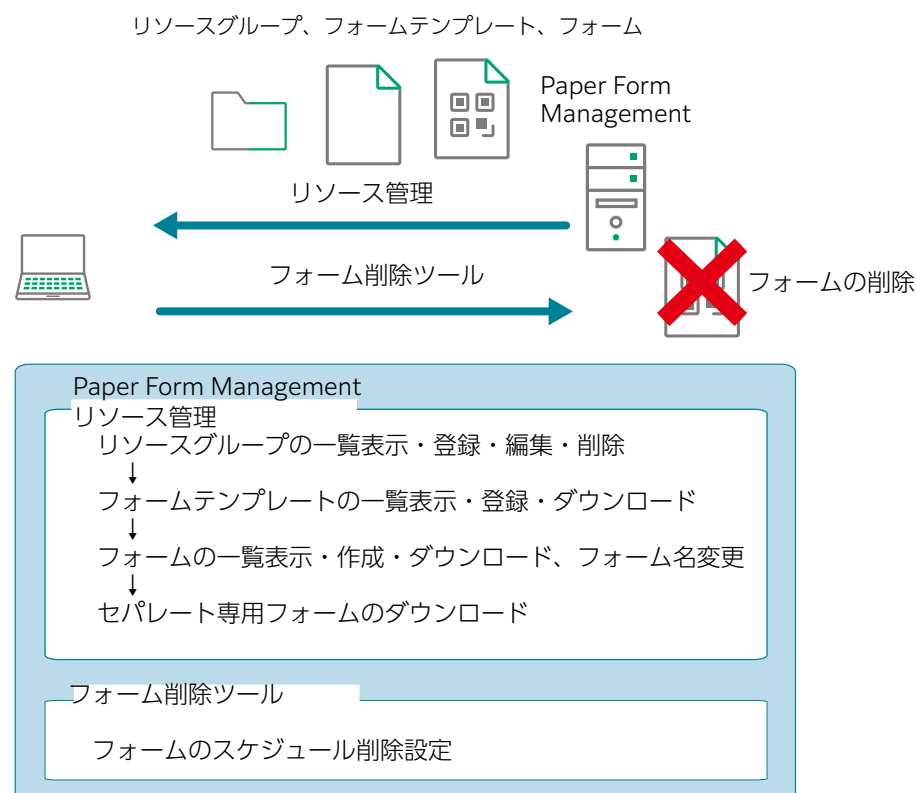
また、セパレート専用フォームのダウンロードもできます。



管理者ができること

管理者は、リソースを登録したり、フォーム削除ツールを使って有効期間を過ぎたフォームを自動的に削除したりできます。

また、フォームや、セパレート専用フォームをダウンロードできます。



リソースとは

フォームテンプレート、フォーム、入力属性一覧ファイルなど、Paper Form 機能に必要なファイルをまとめてリソースと呼びます。

リソースは、使用目的などによって設定されたリソースグループで分類されます。

リソースには、次の種類があります。

フォームテンプレート

フォームテンプレートは、フォームのひな形です。開発者、または管理者 が Paper Form Editor を使って作成し、Paper Form Management で登録します。

フォーム

フォームは、スキャナーやデジタル複合機などを使って文書を入力するときに使用する Flow Management の【フォーム解析】機能への指示書です。紙にプリントして、チェックマークや文字を手書きで記入して使用します。

フォームは、フォームテンプレートを元に、Paper Form Management が作成します。

セパレート専用フォーム

セパレート専用フォームは、文書の区切りを示すための専用フォームです。あらかじめ登録されているセパレート専用フォームファイルをプリントして使用します。



補足

セパレート専用フォームの使い方については、「セパレート専用フォームとは」を参照してください。

リソースの管理体系

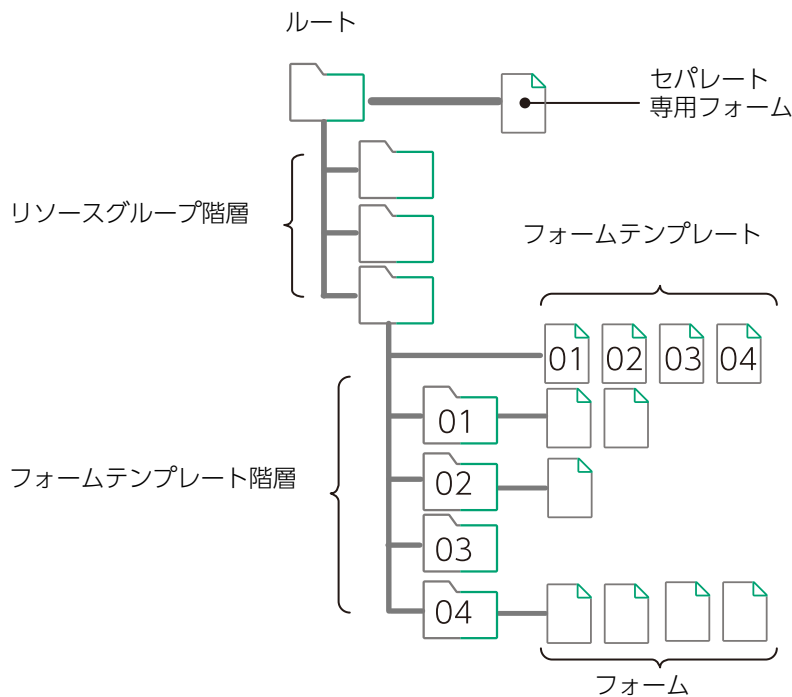
リソースは、階層構造で管理されます。最上位の階層は、ルート階層です。

リソースグループを作成すると、ルート階層の直下にリソースグループ階層が作成され、入力属性一覧ファイルが自動的に作成されます。

フォームテンプレートは、リソースグループ階層内に登録します。フォームテンプレートが登録されると、フォームテンプレートごとに専用のフォームテンプレート階層が作成されます。

フォームは、フォームテンプレート階層の下に作成されます。

セパレート専用フォームは、あらかじめルート階層の直下に登録されています。



リソースグループと Flow Management のフローとの関係

Flow Management でフォームを使用する場合は、Flow Management のフローの作成で、[加工方法] から [フォーム解析] を選択し、表示された [フォーム解析設定] ページでフォーム解析に関する項目を設定します。

[フォーム解析設定] ページでは、[属性一覧] 項目を使用してリソースグループを 1 つ選択します。

リソースグループを選択すると、Flow Management の [フォーム解析] 機能では、そのリソースグループの入力属性の一覧を取得します。

この一覧に含まれる属性が、Flow Management の [フォーム解析] 機能よりあとで実行される [加工方法] や、[配信先] に対し、[フォーム解析] 機能が提供する属性となります。

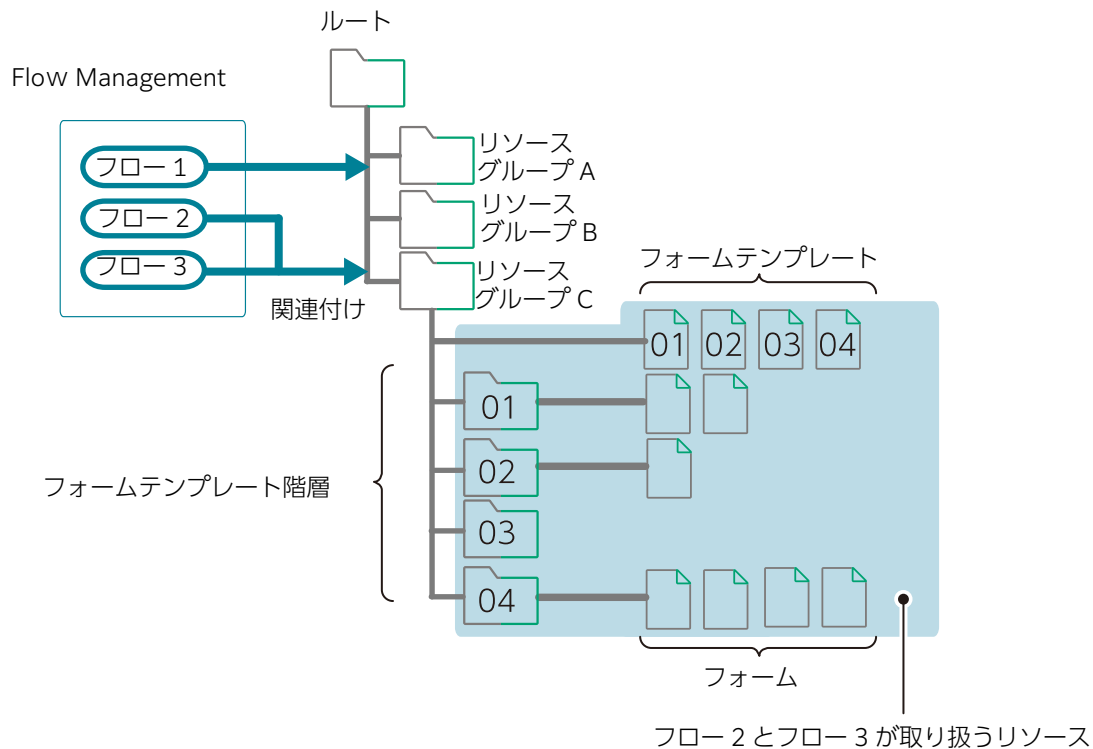
[フォーム解析] 機能では、関連づけされたリソースグループに所属していないフォームが入力されると、これを正しく処理することはできません。

複数のフローを、1 つのリソースグループと関連づけることもできます。この関連づけの様子を次の図に示します。



補足

- ・ フロー作成時にはリソースグループを指定します。このため、リソースグループやフォームテンプレートの登録または変更が終了してから、フローを作成してください。
- ・ 次の場合は、フローを変更する必要があります。
 - フォームテンプレートを新規に登録した
 - フォームテンプレートを変更または削除した
 - リソースグループを削除した



ページの構成

Paper Form Management のページ構成について説明します。

- ページの構成
- メインコントロール領域

ページの構成

Paper Form Management のページ構成は、次のとおりです。



- メインコントロール領域
[ホーム]、[管理者のページ]、[ヘルプ]、[バージョン情報] ボタンが表示されます。
- サブコントロール領域
主に、リソースの階層が表示されます。
- ワークスペース領域

主に、リソースの情報やリソースに対する操作ボタンが表示されます。

- フッター領域

Copyright 情報が表示されます。

メインコントロール領域

メインコントロール領域には次のリンクが表示されます。

- ホーム

ホームページが表示されます。一般ユーザーの操作では、[リソースグループ一覧] ページがホームページとなります。管理者メニューにログインしたあとは、[管理者メニュー] ページがホームページとなります。

- 管理者のページ

管理者メニューにアクセスするためのダイアログボックスが表示されます。

- ヘルプ

Paper Form Management ヘルプが表示されます。

- バージョン情報

商品名、バージョン、Copyright 情報が表示されます。

一般ユーザーの操作

一般ユーザーができること

一般ユーザーは、次の操作ができます。

リソースグループの一覧表示

公開されているリソースグループを一覧表示できます。9 件以上のリソースグループが公開されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、リソースグループの [名前]、または [作成日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

リソースグループを一覧表示する操作については、「リソースグループ一覧を表示する」を参照してください。

フォームテンプレートの一覧表示

リソースグループ内のフォームテンプレートを一覧表示できます。リソースグループ内に 9 件以上のフォームテンプレートが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、フォームテンプレートの [名前]、または [登録日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

フォームテンプレートを一覧表示する操作については、「フォームテンプレート一覧を表示する」を参照してください。

フォームの一覧表示

フォームテンプレートごとに、フォームを一覧表示できます。フォームテンプレート内に 9 件以上のフォームが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、フォームの [名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

フォームを一覧表示する操作については、「フォーム一覧を表示する」を参照してください。

フォームのダウンロード

フォーム一覧からフォームをダウンロードできます。

フォームをダウンロードする操作については、「フォームをダウンロードする」を参照してください。

セパレート専用フォームのダウンロード

リソースグループ一覧から、セパレート専用フォームをダウンロードできます。

セパレート専用フォームをダウンロードする操作については、「セパレート専用フォームをダウンロードする」を参照してください。

リソースグループ一覧を表示する

公開されているリソースグループを一覧表示します。9 件以上のリソースグループが公開されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、リソースグループの [名前]、または [作成日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

- リソースグループ一覧を表示する
- リソースグループ一覧のページを切り替える
- リソースグループ一覧を並べ替える

リソースグループ一覧を表示する

Paper Form Management を起動すると、はじめに表示されるページが、リソースグループ一覧です。

公開されているリソースグループの [名前]、[作成日時]、[説明] が一覧表示されます。

3. Windows のプログラムを起動するメニューから [FUJIFILM ApeosWare Management Suite] > [Paper Form Management] の順に選択します。
[リソースグループ一覧] ページが表示されます。



URL は、管理者が Paper Form Management をインストールするときに設定します。

リソースグループ一覧のページを切り替える

9 件以上のリソースグループが公開されている場合は、複数のページにわたって表示されます。
ページ切り替えボタンでページの切り替えができます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、ページ切り替えボタン (◀、◁、▷、▶) をクリックします。

◀ をクリックすると、先頭のページが表示されます。

◁ をクリックすると、前のページが表示されます。

▷ をクリックすると、次のページが表示されます。

▶ をクリックすると、最後のページが表示されます。

リソースグループ一覧を並べ替える

リソースグループ一覧は、デフォルトでは、リソースグループの [作成日時] が新しい順に表示されます。
リソースグループの [名前]、または [作成日時] を基準にしてリソースグループ一覧の並べ替えができます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[名前]、または [作成日時] の項目名をクリックします。

クリックした項目名を基準にして、リソースグループ一覧が並び替わります。[名前] の場合、クリックごとにリソースグループ名の 50 音の昇順、降順の順番で並び替わります。[作成日時] の場合、クリックごとに作成日時が古い順、新しい順の順番で並び替わります。

フォームテンプレート一覧を表示する

公開されているフォームテンプレートを一覧表示します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームテンプレートが登録されているリソースグループ名をクリックします。

[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

フォーム一覧を表示する

公開されているフォームを一覧表示します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。

[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

2. フォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックします。

[フォーム一覧] ページが表示されます。

フォームをダウンロードする

公開されているフォームをダウンロードします。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。

[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

2. フォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックします。

[フォーム一覧] ページが表示されます。

3. ダウンロードするフォームの   をクリックします。

[フォームのダウンロード] ページが表示されます。

4. フォームのファイル形式を選択します。

- ・ [DocuWorks]
フォームが DocuWorks 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームは、DocuWorks で開くことができます。
- ・ [PDF]
フォームが PDF 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームは、Adobe Reader など
開くことができます。

5. [ダウンロード] をクリックします。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。

6. [開く]、または [保存] をクリックします。

[開く] をクリックした場合は、DocuWorks、または Adobe Reader などが起動してフォームが表示されます。

[保存] をクリックした場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。フォームファイルを保存するフォルダーとファイル名を設定して [OK] をクリックすると、フォームがダウンロードされます。



- ・ フォームの名前が日本語の場合、[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [開く] をクリックして DocuWorks や Adobe Reader など文書を開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されません。[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [保存] をクリックして [名前を付けて保存] ダイアログボックスを開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されます。
- ・ フォームの名前が全角で 16 文字を超える場合は、ダウンロードされるファイル名が短くなる場合があります。

セパレート専用フォームをダウンロードする

セパレート専用フォームは、文書の区切りを示すための専用フォームです。あらかじめ登録されているセパレート専用フォームファイルをダウンロードして使用します。

- セパレート専用フォームとは
- セパレート専用フォームをダウンロードする

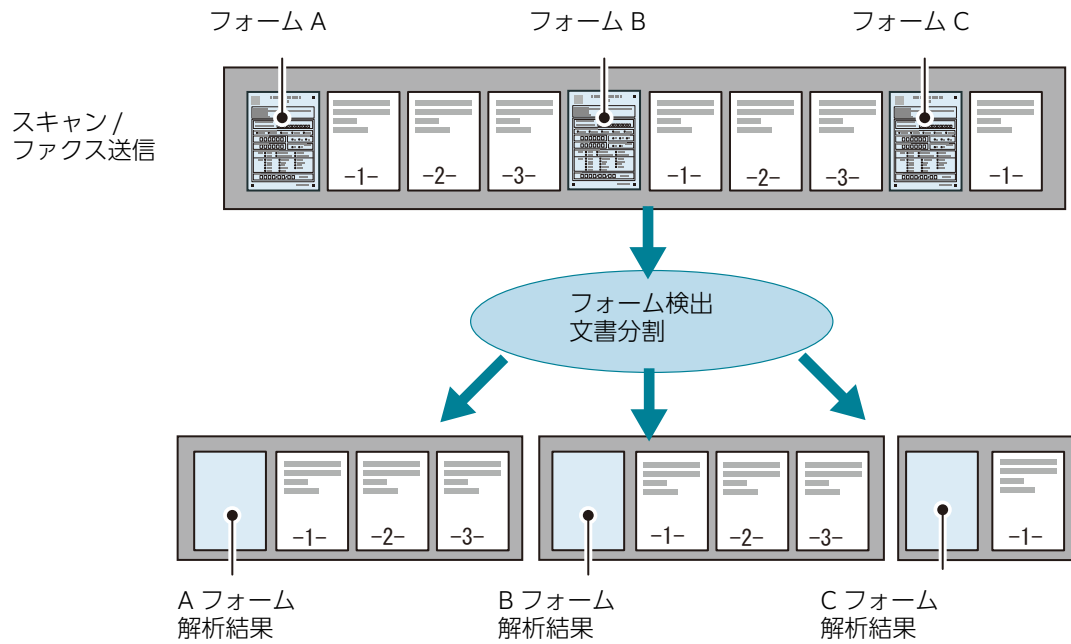
セパレート専用フォームとは

セパレート専用フォームは、通常のフォームとは異なり、文書の区切りを示すためのフォームです。

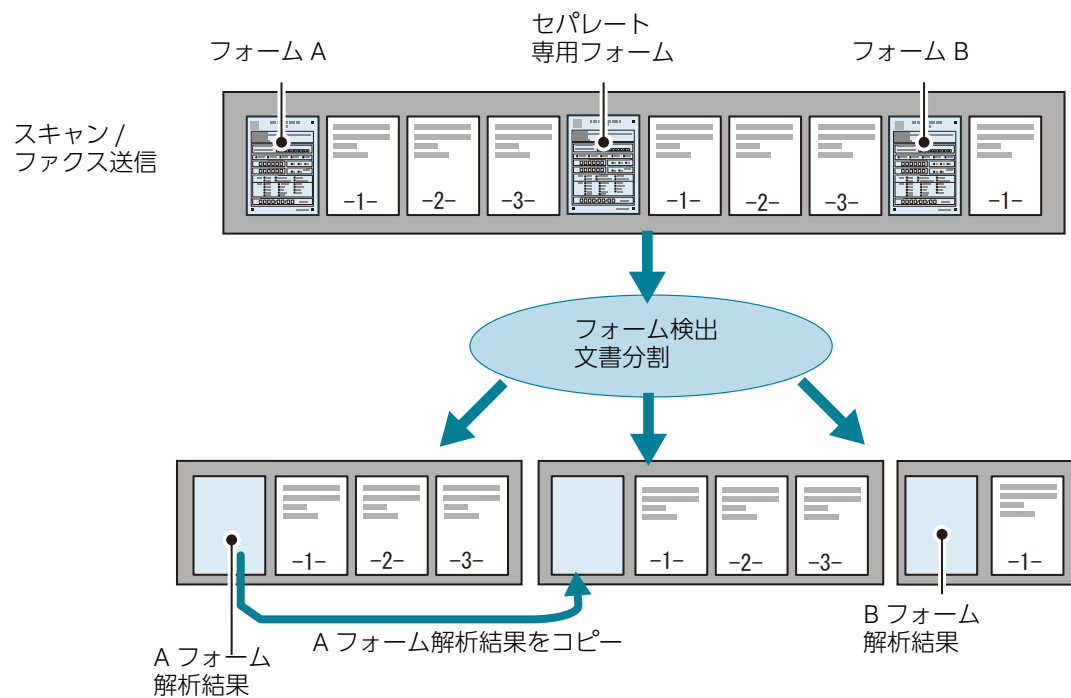
セパレート専用フォーム自体には、フォーム解析に必要な情報は含まれず、1 つ前のフォームに記載されているフォーム解析情報をコピーして受け継ぐ役割をします。

セパレート専用フォームを利用すると、同じ指示を何度も記入する必要がなくなり、フォーム記載の手間が省けます。

● 通常のフォームの場合



● セパレート専用フォームの場合



セパレート専用フォームをダウンロードする

セパレート専用フォームをダウンロードします。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[セパレート専用フォームの取得](#) をクリックします。
[フォームのダウンロード] ページが表示されます。

2. セパレート専用フォームのファイル形式を選択します。

・ [DocuWorks]

セパレート専用フォームが DocuWorks 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたセパレート専用フォームは、DocuWorks で開くことができます。

- ・ [PDF]

セパレート専用フォームが PDF 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたセパレート専用フォームは、Adobe Reader などで開くことができます。

3. [ダウンロード] をクリックします。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。

4. [開く]、または [保存] をクリックします。

[開く] をクリックした場合は、DocuWorks、または Adobe Reader などが起動してセパレート専用フォームが表示されます。

[保存] をクリックした場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。セパレート専用フォームファイルを保存するフォルダーとファイル名を設定して [OK] をクリックすると、セパレート専用フォームがダウンロードされます。



セパレート専用フォームのファイル名のデフォルトは、「Separator」です。

ページの説明

リソースグループ一覧 ([ユーザー用ホーム] ページ)

リソースグループの [名前]、[作成日時]、[説明] が一覧表示されます。

リソースグループ内のフォームテンプレート一覧の表示、セパレート専用フォームのダウンロード、管理者メニューへのログインができます。

9 件以上のリソースグループが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。

[名前]、または [作成日時] を基準にして一覧の並び替えができます。

このページが一般ユーザー用のホームページとなります。

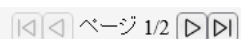


リソースグループが登録されている階層名が表示されます。



セパレート専用フォームをダウンロードできます。

セパレート専用フォームをダウンロードする操作については、「セパレート専用フォームをダウンロードする」を参照してください。



リソースグループは、1 ページに 8 件まで表示されます。リソースグループが 9 件以上ある場合は、次のボタンでページを切り替えます。

◀: クリックすると、リソースグループ一覧の最初のページが表示されます。

◀◀: クリックすると、現在表示されているリソースグループ一覧の前のページが表示されます。

▶▶: クリックすると、現在表示されているリソースグループ一覧の次のページが表示されます。

▶: クリックすると、リソースグループ一覧の最後のページが表示されます。

リソースグループ一覧

公開されているリソースグループの [名前]、[作成日時]、[説明] が一覧表示されます。デフォルトでは、リソースグループの作成日時が新しい順に表示されます。名前、または作成日時を基準にして並び替えることができます。

● 名前

リソースグループの名前が表示されます。項目名 [名前] をクリックすると、名前を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに名前の 50 音の昇順、降順の順番で切り替わります。リソースグループの名前をクリックすると、リソースグループ内に登録されているフォームテンプレートが一覧表示されます。

フォームテンプレート一覧を表示する操作については、「フォームテンプレート一覧を表示する」を参照してください。

- 作成日時
リソースグループが作成された日時が表示されます。項目名 [作成日時] をクリックすると、作成日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに作成日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。
- 説明
リソースグループの説明が表示されます。

フォームテンプレート一覧

フォームテンプレートの [名前]、[登録日時] が一覧表示されます。

フォームテンプレート内のフォームを一覧表示できます。9 件以上のフォームテンプレートが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。

[名前]、または [登録日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

◇ ルート

現在表示されているフォームテンプレートが登録されている階層の最上位 ([ルート]) が表示されます。

[ルート] をクリックすると、リソースグループ一覧が表示されます。

□ {リソースグループ名}

現在表示されているフォームテンプレートのリソースグループ名と説明が表示されます。

◀◀ ページ 1/2 ▶▶

フォームテンプレートは、1 ページに 8 件まで表示されます。フォームテンプレートが 9 件以上ある場合は、次のボタンでページを切り替えます。

◀◀: クリックすると、フォームテンプレート一覧の最初のページが表示されます。

◀: クリックすると、現在表示されているフォームテンプレート一覧の前のページが表示されます。

▶: クリックすると、現在表示されているフォームテンプレート一覧の次のページが表示されます。

▶▶: クリックすると、フォームテンプレート一覧の最後のページが表示されます。

フォームテンプレート一覧

公開されているフォームテンプレートの [名前]、[登録日時] が一覧表示されます。デフォルトでは、フォームテンプレートの [登録日時] が新しい順に表示されます。[名前]、または [登録日時] を基準にして並べ替えることができます。

- 名前
フォームテンプレート名が表示されます。項目名 [名前] をクリックすると、名前を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに名前の 50 音の昇順、降順の順番で切り替わります。フォームテンプレート名をクリックすると、フォームテンプレート内に登録されているフォームが一覧表示されます。フォーム一覧を表示する操作については、「フォーム一覧を表示する」を参照してください。
- 登録日時
フォームテンプレートが登録された日時が表示されます。項目名 [登録日時] をクリックすると、登録日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに登録日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。

フォーム一覧

フォームの [名前]、[ID]、[作成日時]、[最終参照日時]、 [取得](#) が一覧表示されます。

フォームのダウンロードができます。9 件以上のフォームが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。

[名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

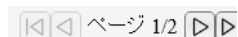
◇ ルート > □ {リソースグループ名}

現在表示されているフォームが登録されている階層（[ルート]と[リソースグループ名]）が表示されます。
[ルート] をクリックすると、リソースグループ一覧（[ユーザー用ホーム] ページ）が表示されます。
[リソースグループ名] をクリックすると、フォームテンプレート一覧が表示されます。



{フォームテンプレート名}

現在表示されているフォームのフォームテンプレート名が表示されます。



フォームは、1 ページに 8 件まで表示されます。フォームが 9 件以上ある場合は、次のボタンでページを切り替えます。

: クリックすると、フォーム一覧の最初のページが表示されます。

: クリックすると、現在表示されているフォーム一覧の前のページが表示されます。

: クリックすると、現在表示されているフォーム一覧の次のページが表示されます。

: クリックすると、フォーム一覧の最後のページが表示されます。

フォーム一覧

公開されているフォームの [名前]、[ID]、[作成日時]、[最終参照日時]、が一覧表示されます。デフォルトでは、フォームの作成日時が新しい順に表示されます。[名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にして並び替えることができます。

- 名前
フォームの名前が表示されます。項目名 [名前] をクリックすると、名前を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに名前の 50 音の昇順、降順の順番で切り替わります。
- ID
フォーム ID が表示されます。
- 作成日時
フォームが作成された日時が表示されます。項目名 [作成日時] をクリックすると、作成日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに作成日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。
- 最終参照日時
フォームが最後に解析された日時、またはフォームが最後にダウンロードされた日時が表示されます。項目名 [最終参照日時] をクリックすると、最終参照日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに最終参照日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。
-  [取得](#)
フォームをダウンロードできます。



補足

フォームをダウンロードする操作については、「フォームをダウンロードする」を参照してください。

フォームのダウンロード

ファイル形式を設定して、フォーム、またはセパレート専用フォームをダウンロードできます。

DocuWorks

DocuWorks 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームやセパレート専用フォームは、DocuWorks で開くことができます。

PDF

PDF 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームやセパレート専用フォームは、Adobe Reader など開くことができます。

[ダウンロード]

ファイル形式が設定され、[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。

【ファイルのダウンロード】ダイアログボックスで【開く】をクリックした場合は、DocuWorks、または Adobe Reader などが起動してフォームやセパレート専用フォームが表示されます。

【ファイルのダウンロード】ダイアログボックスで【保存】をクリックした場合は、【名前を付けて保存】ダイアログボックスが表示されます。ファイルを保存するフォルダーとファイル名を設定して【OK】をクリックすると、フォームやセパレート専用フォームがダウンロードされます。

【キャンセル】

ファイル形式の設定を取り消して、このページを開く前のページに戻ります。



補足

- ・ フォームの名前が日本語の場合、【ファイルのダウンロード】ダイアログボックスで【開く】をクリックして DocuWorks や Adobe Reader など文書を開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されません。【ファイルのダウンロード】ダイアログボックスで【保存】をクリックして【名前を付けて保存】ダイアログボックスを開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されます。
- ・ フォームの名前が全角で 16 文字を超える場合は、ダウンロードされるファイル名が短くなる場合があります。

管理者の操作

管理者メニューの表示

管理者メニューを表示します。

1. メインコントロール領域の「管理者のページ」リンクをクリックします。
管理者メニューに接続するためのダイアログボックスが表示されます。
2. 「ユーザー名」、[パスワード]、および「ドメイン」を入力し、[OK] をクリックします。
「管理者メニュー」ページが表示されます。



Paper Form Management のインストール時に設定した、管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。

リソースグループ一覧

リソースグループ一覧とは

「管理者メニュー」ページの「リソースグループ一覧」では、次の操作ができます。

リソースグループの一覧表示

リソースグループを一覧表示する操作については、「リソースグループ一覧を表示する」を参照してください。

新規リソースグループの作成

新規リソースグループを作成する操作については、「新規リソースグループを作成する」を参照してください。

リソースグループの編集

リソースグループを編集する操作については、「リソースグループを編集する」を参照してください。

リソースグループの削除

リソースグループを削除する操作については、「リソースグループを削除する」を参照してください。

フォームテンプレートの一覧表示

フォームテンプレートを一覧表示する操作については、「フォームテンプレート一覧を表示する」を参照してください。

新規フォームテンプレートの登録

新規フォームテンプレートを登録する操作については、「新規フォームテンプレートを登録する」を参照してください。

フォームテンプレートの上書き保存

フォームテンプレートを上書き保存する操作については、「フォームテンプレートを上書き保存する」を参照してください。

新規フォームの作成

フォームを作成する操作については、「新規フォームを作成する」を参照してください。

フォームテンプレートのダウンロード

フォームテンプレートをダウンロードする操作については、「フォームテンプレートをダウンロードする」を参照してください。

フォームテンプレートの削除

フォームテンプレートを削除する操作については、「フォームテンプレートを削除する」を参照してください。

フォームの一覧表示

フォームを一覧表示する操作については、「フォーム一覧を表示する」を参照してください。

フォームのダウンロード

フォームをダウンロードする操作については、「フォームをダウンロードする」を参照してください。

フォーム名の変更

フォーム名を変更する操作については、「フォーム名を変更する」を参照してください。

フォームの削除

フォームを削除する操作については、「フォームを削除する」を参照してください。

セパレート専用フォームのダウンロード

セパレート専用フォームをダウンロードする操作については、「セパレート専用フォームをダウンロードする」を参照してください。

フォーム登録の操作の流れ

フォームを作成するときは、はじめにリソースグループを作成する必要があります。作成したリソースグループにフォームテンプレートを登録し、そのフォームテンプレートからフォームを作成します。

ここでは、フォームを作成する操作の流れについて説明します。



あらかじめ、Paper Form Editor で作成されたフォームテンプレートファイルを、Paper Form Management から開けるフォルダーに格納しておきます。

1. フォームテンプレートの登録先となるリソースグループを作成します。

リソースグループを作成する操作については、「新規リソースグループを作成する」を参照してください。

2. リソースグループにフォームテンプレートを登録します。

フォームテンプレートを登録する操作については、「新規フォームテンプレートを登録する」を参照してください。

3. フォームテンプレートからフォームを作成し、登録します。

フォームを作成する操作については、「新規フォームを作成する」を参照してください。

リソースグループ一覧を表示する

登録されているすべてのリソースグループを一覧表示します。9 件以上のリソースグループが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、リソースグループの公開 (📁) / 非公開 (🔒) アイコン、[名前]、[作成日時]、または [スケジュール削除] を基準にして一覧の並べ替えができます。

- リソースグループ一覧を表示する
- リソースグループ一覧のページを切り替える
- リソースグループ一覧を並べ替える

リソースグループ一覧を表示する

[管理者メニュー] ページで [リソースグループ一覧] をクリックすると、[リソースグループ一覧] ページが表示されます。

登録されているすべてのリソースグループの公開 (📁) / 非公開 (🔒) アイコン、[名前]、[作成日時]、[説明]、[スケジュール削除]、 編、 削が一覧表示されます。

1. [管理者メニュー] ページで、[リソースグループ一覧] をクリックします。
[リソースグループ一覧] ページが表示されます。

リソースグループ一覧のページを切り替える

9 件以上のリソースグループが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。
ページ切り替えボタンでページの切り替えができます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、ページ切り替えボタン (◀、◁、▷、▶) をクリックします。
◀ をクリックすると、先頭のページが表示されます。
◁ をクリックすると、前のページが表示されます。
▷ をクリックすると、次のページが表示されます。
▶ をクリックすると、最後のページが表示されます。

リソースグループ一覧を並べ替える

リソースグループ一覧は、デフォルトでは、リソースグループの [作成日時] が新しい順に表示されます。
リソースグループの公開 (□) / 非公開 (□) アイコン、[名前]、[作成日時]、または [スケジュール削除] を基準にしてリソースグループ一覧の並び替えができます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、公開 (□) / 非公開 (□) アイコン、[名前]、[作成日時]、または [スケジュール削除] の項目名をクリックします。
クリックした項目名を基準にして、リソースグループ一覧が並び替わります。

新規リソースグループを作成する

新しいリソースグループを作成します。リソースグループには、[名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] を設定します。

作成されたリソースグループは、Flow Management のフローで利用できます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[新規リソースグループの作成] をクリックします。
[新規リソースグループの作成] ページが表示されます。
2. [名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] を設定します。
 - ・ [名前]
リソースグループの名前を 1～64 文字以内で入力します。入力は必須です。次の文字は使用できません。
¥"/:; *?<> &+|, .! ~ ? || — ¢ £ & ☐
また、タブ文字も使用できません。
 - ・ [説明]
必要に応じて、リソースグループに関する説明文を 1～128 文字以内で入力します。
 - ・ [公開]
リソースグループを一般ユーザーに公開する場合は [する] を、公開しない場合は [しない] を設定します。
デフォルトでは、[する] が設定されています。
[する] に設定したリソースグループは □ で、[しない] に設定したリソースグループは □ で表示されます。
 - ・ [スケジュール削除]
リソースグループをスケジュール削除の対象にする場合は [する] を、対象にしない場合は [しない] を設定します。
デフォルトでは、[しない] が設定されています。
3. [作成] をクリックします。
リソースグループが作成され、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループを編集する

リソースグループの [名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] を変更します。

- リソースグループ名を変更する
- リソースグループの説明を変更する
- リソースグループの公開を設定する
- リソースグループのスケジュール削除を設定する

リソースグループ名を変更する

リソースグループの [名前] を変更します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[名前] を変更するリソースグループの  **編集** をクリックします。
[リソースグループの編集] ページが表示されます。
2. [名前] を変更します。
 - ・ [名前]
リソースグループの名前を 1～64 文字以内で入力します。入力必須です。次の文字は使用できません。
¥"/:; *?<>&+|, .!~ ? || — ¢ £ & ¯
また、タブ文字も使用できません。
3. [変更] をクリックします。
リソースグループの [名前] が変更され、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループの説明を変更する

リソースグループの [説明] を変更します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[説明] を変更するリソースグループの  **編** をクリックします。
[リソースグループの編集] ページが表示されます。
2. [説明] を変更します。
 - ・ [説明]
リソースグループの説明文を 1～128 文字以内で入力します。
3. [変更] をクリックします。
リソースグループの [説明] が変更され、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループの公開を設定する

リソースグループの [公開] の設定を変更します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[公開] の設定を変更するリソースグループの  **編** をクリックします。
[リソースグループの編集] ページが表示されます。
2. [公開] の設定を変更します。
 - ・ [する]
リソースグループを一般ユーザーに公開します。[する] に設定したリソースグループは  で表示されます。
 - ・ [しない]
リソースグループを一般ユーザーに公開しません。[しない] に設定したリソースグループは  で表示されます。
3. [変更] をクリックします。
リソースグループの [公開] の設定が変更され、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループのスケジュール削除を設定する

リソースグループの [スケジュール削除] の設定を変更します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、[スケジュール削除] の設定を変更するリソースグループの  **編** をクリックします。
[リソースグループの編集] ページが表示されます。
2. [スケジュール削除] の設定を変更します。
 - ・ [する]
リソースグループをスケジュール削除の対象にします。
 - ・ [しない]
リソースグループをスケジュール削除の対象にしません。
3. [変更] をクリックします。
リソースグループの [スケジュール削除] の設定が変更され、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループを削除する

リソースグループを削除します。



補足

- ・ リソースグループを削除すると、リソースグループ内のフォームテンプレートとフォームもすべて削除されます。
- ・ Flow Management のフローで、削除したリソースグループ内のフォームを使用している場合は、そのフローを削除するか、またはフローを変更してください。詳しい操作については、「リソースを変更したとき」を参照してください。

1. [リソースグループ一覧] ページで、削除するリソースグループの  **削除** をクリックします。
[リソースグループの削除] ページが表示されます。
2. リソースグループの [名前] と [説明] を確認して、削除してもよい場合は、[はい] をクリックします。
リソースグループが削除され、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

フォームテンプレート一覧を表示する

リソースグループ内のフォームテンプレートを一覧表示します。リソースグループ内に 9 件以上のフォームテンプレートが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、フォームテンプレートの [名前]、または [登録日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

- フォームテンプレート一覧を表示する
- フォームテンプレート一覧のページを切り替える
- フォームテンプレート一覧を並べ替える

フォームテンプレート一覧を表示する

[リソースグループ一覧] ページでフォームテンプレートが登録されているリソースグループ名をクリックすると、[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

フォームテンプレートの [名前]、[登録日時]、 **フォーム作**、 **取得**、 **削除** が一覧表示されます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームテンプレートが登録されているリソースグループ名をクリックします。
[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

フォームテンプレート一覧のページを切り替える

9 件以上のフォームテンプレートが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。ページ切り替えボタンでページの切り替えができます。

1. [フォームテンプレート一覧] ページで、ページ切り替えボタン (, , , ) をクリックします。
 をクリックすると、先頭のページが表示されます。
 をクリックすると、前のページが表示されます。
 をクリックすると、次のページが表示されます。
 をクリックすると、最後のページが表示されます。

フォームテンプレート一覧を並べ替える

フォームテンプレート一覧は、デフォルトでは、フォームテンプレートの [登録日時] が新しい順に表示されます。

フォームテンプレートの [名前]、または [登録日時] を基準にしてフォームテンプレート一覧の並べ替えができます。

1. [フォームテンプレート一覧] ページで、[名前]、または [登録日時] の項目名をクリックします。
 クリックした項目名を基準にして、フォームテンプレート一覧が並び替わります。

新規フォームテンプレートを登録する

Paper Form Editor で作成された、フォームテンプレートファイルを登録します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームテンプレートを登録するリソースグループ名をクリックします。
 [フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。
2.  **新規フォームテンプレートの登録** をクリックします。
 [新規フォームテンプレートの登録] ページが表示されます。
3. [参照] をクリックします。
 [ファイルの選択] ダイアログボックスが表示されます。
4. フォームテンプレートファイルを選択し、[OK] をクリックします。
 [新規フォームテンプレートの登録] ページに戻り、[ファイルの選択] に選択したフォームテンプレートファイルのフルパスが表示されます。
5. [登録] をクリックします。
 フォームテンプレートファイルが登録され、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。



- ・登録しようとするフォームテンプレートファイルと同じフォームテンプレート ID のフォームテンプレートが、すでに登録されている場合、[フォームテンプレートの上書き保存] ページが表示されます。
- ・Paper Form Management は、フォームテンプレート ID に含まれる半角英字、全角英字の大文字、小文字の区別を行いません。フォームテンプレートの登録時は、同一の ID として扱います。

フォームテンプレートを上書き保存する

同じフォームテンプレート ID のフォームテンプレートファイルを再度登録して、フォームテンプレートを上書き保存します。



- ・上書きすると、今までのフォームは作成できなくなります。今後は上書きされたフォームテンプレートからフォームが作成されます。
- ・上書きすると、今までのフォームは、使用できなくなる可能性があります。
- ・上書きしないで、新規登録する場合は、Paper Form Editor でフォームテンプレート ID を変更し、再度登録の操作を行ってください。
- ・フォームテンプレートを上書き保存した場合、そのフォームテンプレートで追加、または変更された属性を Flow Management のフローで使用するときは、必ずフローを変更してください。詳しい操作については、「リソースを変更したとき」を参照してください。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームテンプレートを上書き保存するリソースグループ名をクリックします。
[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。
2.  [新規フォームテンプレートの登録](#) をクリックします。
[新規フォームテンプレートの登録] ページが表示されます。
3. [参照] をクリックします。
[ファイルの選択] ダイアログボックスが表示されます。
4. 上書き保存するフォームテンプレートファイルを選択し、[OK] をクリックします。
[新規フォームテンプレートの登録] ページに戻り、[ファイルの選択] に選択したフォームテンプレートファイルのフルパスが表示されます。
5. [登録] をクリックします。
[フォームテンプレートの上書き保存] ページが表示されます。
6. [はい] をクリックします。
フォームテンプレートファイルが上書き保存され、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

新規フォームを作成する

登録されたフォームテンプレートからフォームを作成します。フォームを作成する操作には、フォームテンプレート一覧からフォームを作成する方法と、フォーム一覧からフォームを作成する方法があります。

- フォームテンプレート一覧からフォームを作成する
- フォーム一覧からフォームを作成する

フォームテンプレート一覧からフォームを作成する

フォームテンプレート一覧からフォームを作成します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームを作成するフォームテンプレート名をクリックします。
[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。
2. フォームを作成するフォームテンプレートの  [フォーム作成](#) をクリックします。
[新規フォームの作成] ページが表示されます。
3. [名前] を入力します。
 - ・ [名前]
フォームの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力は必須です。次の文字は使用できません。
¥"/:;?*?<>&+|,!.~? || — ¢ £ & ㄋ
タブ文字も使用できません。
4. [作成] をクリックします。
設定したフォーム名でフォームが登録され、[フォーム一覧] ページに戻ります。

フォーム一覧からフォームを作成する

フォーム一覧からフォームを作成します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームを作成するフォームテンプレート名をクリックします。
[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。
2. フォームを作成するフォームテンプレート名をクリックします。
[フォーム一覧] ページが表示されます。
3.  [新規フォームの作成](#) をクリックします。

【新規フォームの作成】 ページが表示されます。

4. 【名前】 を入力します。

・ 【名前】

フォームの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力は必須です。次の文字は使用できません。

¥"/:;*?<>&+|,~? || — ¢ £ & ¯

タブ文字も使用できません。

5. 【作成】 をクリックします。

設定したフォーム名でフォームが登録され、【フォーム一覧】 ページに戻ります。

フォームテンプレートをダウンロードする

フォームテンプレート一覧からフォームテンプレートをダウンロードします。

1. 【リソースグループ一覧】 ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。

【フォームテンプレート一覧】 ページが表示されます。

2. ダウンロードするフォームテンプレートの 取得 をクリックします。

【ファイルのダウンロード】 ダイアログボックスが表示されます。

3. 【開く】、または【保存】 をクリックします。

【開く】 をクリックした場合は、Paper Form Editor が起動してフォームテンプレートが表示されます。

【保存】 をクリックした場合は、【名前を付けて保存】 ダイアログボックスが表示されます。フォームテンプレートファイルを保存するフォルダーとファイル名を設定して【OK】 をクリックすると、フォームテンプレートがダウンロードされます。



補足

- ・ フォームテンプレートの名前が日本語の場合、【ファイルのダウンロード】 ダイアログボックスで【開く】 をクリックして Paper Form Editor で文書を開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されません。【ファイルのダウンロード】 ダイアログボックスで【保存】 をクリックして【名前を付けて保存】 ダイアログボックスを開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されます。
- ・ Paper Form Editor がインストールされていない場合は、【ファイルのダウンロード】 ダイアログボックスで【保存】 をクリックして、ファイルを保存してください。
- ・ フォームテンプレートの名前が全角で 16 文字を超える場合は、ダウンロードされるフォームテンプレートファイル名が短くなる場合があります。

フォームテンプレートを削除する

フォームテンプレートを削除します。



補足

- ・ フォームテンプレートを削除すると、フォームテンプレート内のフォームもすべて削除されます。削除したフォームは、Flow Management で使用できなくなります。
- ・ フォームテンプレートを削除した場合は、必ず Flow Management のフローを変更してください。詳しい操作については、「リソースを変更したとき」を参照してください。

1. 【リソースグループ一覧】 ページで、削除するフォームテンプレートのリソースグループ名をクリックします。

【フォームテンプレート一覧】 ページが表示されます。

2. 削除するフォームテンプレートの 削除 をクリックします。

【フォームテンプレートの削除】 ページが表示されます。

3. フォームテンプレートの【名前】 と【登録日時】 を確認して、削除してもよい場合は、【はい】 をクリックします。

フォームテンプレートが削除され、【フォームテンプレート一覧】 ページに戻ります。

フォーム一覧を表示する

フォームテンプレート内のフォームを一覧表示します。フォームテンプレート内に 9 件以上のフォームが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。また、フォームの [名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

- フォーム一覧を表示する
- フォーム一覧のページを切り替える
- フォーム一覧を並べ替える

フォーム一覧を表示する

[フォームテンプレート一覧] ページでフォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックすると、[フォーム一覧] ページが表示されます。

選択したフォームテンプレートに登録されているすべてのフォームの [名前]、[ID]、[作成日時]、[最終参照日時]、 編集、 取得、 削除 が一覧表示されます。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。
[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。
2. フォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックします。
[フォーム一覧] ページが表示されます。

フォーム一覧のページを切り替える

9 件以上のフォームが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。ページ切り替えボタンでページの切り替えができます。

1. [フォーム一覧] ページで、ページ切り替えボタン (, , , ) をクリックします。
 をクリックすると、先頭のページが表示されます。
 をクリックすると、前のページが表示されます。
 をクリックすると、次のページが表示されます。
 をクリックすると、最後のページが表示されます。

フォーム一覧を並べ替える

フォーム一覧は、デフォルトでは、フォームの [作成日時] が新しい順に表示されます。フォームの [名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にしてフォーム一覧の並べ替えができます。

1. [フォーム一覧] ページで、[名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] の項目名をクリックします。
フォーム一覧が、クリックした項目名を基準にして並び替わります。

フォームをダウンロードする

フォーム一覧からフォームをダウンロードします。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。
[フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。
2. フォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックします。
[フォーム一覧] ページが表示されます。
3. ダウンロードするフォームの  取得 をクリックします。
[フォームのダウンロード] ページが表示されます。
4. フォームのファイル形式を選択します。

- ・ [DocuWorks]
フォームが DocuWorks 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームは、DocuWorks で開くことができます。
- ・ [PDF]
フォームが PDF 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームは、Adobe Reader など
開くことができます。

5. [ダウンロード] をクリックします。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。

6. [開く]、または [保存] をクリックします。

[開く] をクリックした場合は、DocuWorks、または Adobe Reader などが起動してフォームが表示されます。

[保存] をクリックした場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。フォームファイル
を保存するフォルダーとファイル名を設定して [OK] をクリックすると、フォームがダウンロードされま
す。



- ・ フォームの名前が日本語の場合、[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [開く] をクリックし
て DocuWorks や Adobe Reader など文書を開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されません。
[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [保存] をクリックして [名前を付けて保存] ダイアロ
グボックスを開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されます。
- ・ フォームの名前が全角で 16 文字を超える場合は、ダウンロードされるファイル名が短くなる場合がありま
す。

フォーム名を変更する

フォームの [名前] を変更します。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。 [フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

2. フォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックします。 [フォーム一覧] ページが表示されます。

3. フォーム名を変更するフォームの 編集 をクリックします。 [フォームの編集] ページが表示されます。

4. [名前] を変更します。

- ・ [名前]
フォームの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力必須です。次の文字は使用できません。
¥"/:;*?<>+|,.;!~? || — ¢ £ & ー
また、タブ文字も使用できません。

5. [変更] をクリックします。

フォームの [名前] が変更され、[フォーム一覧] ページに戻ります。

フォームを削除する

フォームを削除します。



削除したフォームは、Flow Management で使用できなくなります。

1. [リソースグループ一覧] ページで、フォームが登録されているリソースグループ名をクリックします。 [フォームテンプレート一覧] ページが表示されます。

2. フォームが登録されているフォームテンプレート名をクリックします。

[フォーム一覧] ページが表示されます。

3. 削除するフォームの **削除** をクリックします。

[フォームの削除] ページが表示されます。

4. フォームの [名前] と [ID] を確認して、削除してもよい場合は、[はい] をクリックします。

フォームが削除され、[フォーム一覧] ページに戻ります。

セパレート専用フォームをダウンロードする

セパレート専用フォームは、文書の区切りを示すための専用フォームです。あらかじめ登録されているセパレート専用フォームファイルをダウンロードして使用します。

- セパレート専用フォームとは
- セパレート専用フォームをダウンロードする

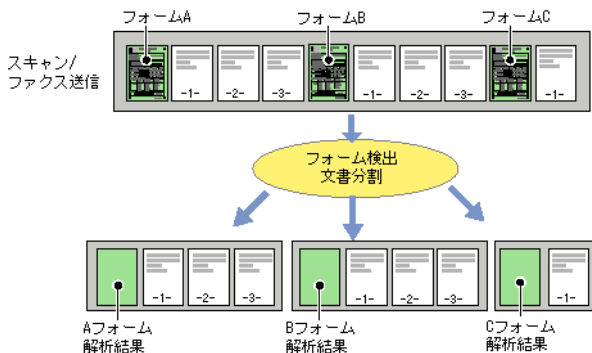
セパレート専用フォームとは

セパレート専用フォームは、通常のフォームとは異なり、文書の区切りを示すためのフォームです。

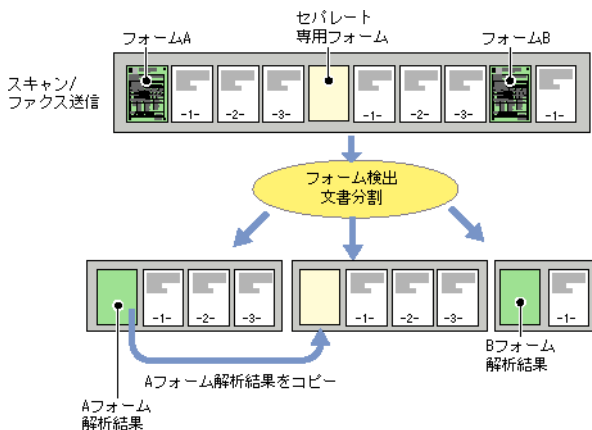
セパレート専用フォーム自体には、フォーム解析に必要な情報は含まれず、1 つ前のフォームに記載されているフォーム解析情報をコピーして受け継ぐ役割をします。

セパレート専用フォームを利用すると、同じ指示を何度も記入する必要がなくなり、フォーム記載の手間が省けます。

- 通常のフォームの場合



- セパレート専用フォームの場合



セパレート専用フォームをダウンロードする

セパレート専用フォームをダウンロードします。

1. [リソースグループ一覧] ページで、 **セパレート専用フォームの取得** をクリックします。

[フォームのダウンロード] ページが表示されます。

2. セパレート専用フォームのファイル形式を選択します。

- ・ [DocuWorks]
セパレート専用フォームが DocuWorks 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたセパレート専用フォームは、DocuWorks で開くことができます。
- ・ [PDF]
セパレート専用フォームが PDF 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたセパレート専用フォームは、Adobe Reader など開くことができます。

3. [ダウンロード] をクリックします。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。

4. [開く]、または [保存] をクリックします。

[開く] をクリックした場合は、DocuWorks、または Adobe Reader などが起動してセパレート専用フォームが表示されます。

[保存] をクリックした場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。セパレート専用フォームファイルを保存するフォルダーとファイル名を設定して [OK] をクリックすると、セパレート専用フォームがダウンロードされます。



セパレート専用フォームのファイル名のデフォルトは、「Separator」です。

フォーム削除ツール

スケジュール削除の操作の流れ

スケジュール削除とは、フォーム削除ツールを使用して、設定した条件に従って自動的にフォームを削除することです。

[管理者メニュー] ページの [フォーム削除ツール] では、スケジュール削除の条件を設定できます。

スケジュール削除が実行されるためには、[フォーム削除ツール] でスケジュール削除の条件を設定する前に、リソースグループのスケジュール削除の設定をする必要があります。

ここでは、スケジュール削除の操作の流れについて説明します。

1. 削除するフォームが登録されているリソースグループの [スケジュール削除] を、[する] に設定します。

リソースグループのスケジュール削除を設定する操作については、「リソースグループのスケジュール削除を設定する」を参照してください。

2. フォームの有効期間や、スケジュール削除の開始時刻などの条件を設定します。

スケジュール削除の条件を設定する操作については、「スケジュール削除の条件を設定する」を参照してください。

3. 設定した条件に従って、自動的にフォームが削除されます。



スケジュール削除を設定すると、Windows の Task Scheduler サービスに「Paper Form Option」というタスクが作成されます。作成された「Paper Form Option」タスクを変更しないでください。

スケジュール削除の条件を設定する

スケジュール削除とは、フォーム削除ツールを使用して、設定した条件に従って自動的にフォームを削除することです。

フォームの保存期間や削除の開始時刻など、スケジュール削除の条件を設定します。

1. [管理者メニュー] ページで、[フォーム削除ツール] をクリックします。

[フォームのスケジュール削除設定] ページが表示されます。

2. スケジュール削除の条件を設定します。

- ・ [フォームを削除する] / [フォームを削除しない]
スケジュール削除機能を有効にする場合は、[フォームを削除する] を選択します。
スケジュール削除機能を無効にする場合は、[フォームを削除しない] を選択します。
- ・ [フォームの存在有効期間]
フォームが最後にアクセスされた時刻を起点とし、フォームをいつまで保存するかを設定します。[年]、[月]、[日] の中から 1 つ以上を設定します。
たとえば、「1 年」と設定した場合、最後にアクセスされた時刻から 1 年間、フォームは保存され、次の日のスケジュール削除開始時刻に自動的に削除されます。
- ・ [年]
フォームを保存する年数を設定します。設定できるのは、0 ～ 20 年です。
- ・ [月]
フォームを保存する月数を設定します。設定できるのは、0 ～ 11 月です。
- ・ [日]
フォームを保存する日数を設定します。設定できるのは、0 ～ 30 日です。



フォームが最後にアクセスされた時刻は、[フォーム一覧] ページの [最終参照日時] で確認できます。

- ・ [開始時刻]
スケジュール削除が開始される時刻を設定します。
たとえば、「0」時「0」分と設定した場合、毎日 0 時 0 分にスケジュール削除が開始されます。
- ・ [時]
スケジュール削除が開始される時間を設定します。設定できるのは、0 ～ 23 時です。
- ・ [分]
スケジュール削除が開始される分を設定します。設定できるのは、0 ～ 50 分です。10 分単位で設定します。



デフォルトでは、前回の設定値が表示されます。ただし、最初の設定時、または前回の設定で [フォームを削除しない] が選択された場合のデフォルトは、[フォームを削除しない]、[0] 年、[0] 月、[0] 日、[0] 時、[0] 分です。

3. [設定] をクリックします。

スケジュール削除が設定され、条件に従ってフォームが自動的に削除されます。

ページの説明

管理者メニュー（[管理者用ホーム] ページ）

管理者が操作できる、次のメニューが表示されます。

このページが管理者用のホームページとなります。

[リソースグループ一覧]

リソースの登録、編集、および削除ができます。また、フォームテンプレートやフォームのダウンロードができます。

[リソースグループ一覧] の操作については、「リソースグループ一覧とは」を参照してください。

[フォーム削除ツール]

スケジュール削除の条件を設定できます。

[フォーム削除ツール] の操作については、「スケジュール削除の操作の流れ」を参照してください。

リソースグループ一覧

リソースグループの [名前]、[作成日時]、[説明] が一覧表示されます。

リソースグループ内のフォームテンプレート一覧の表示、新規リソースグループの作成、セパレート専用フォームのダウンロードができます。

9 件以上のリソースグループが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。

[名前]、または [作成日時] を基準にして一覧の並び替えができます。

◇ ルート

リソースグループが登録されている階層名が表示されます。

新規リソースグループの作成

新しいリソースグループを作成できます。

新しいリソースグループを作成する操作については、「新規リソースグループを作成する」を参照してください。

セパレート専用フォームの取得

セパレート専用フォームをダウンロードできます。

セパレート専用フォームをダウンロードする操作については、「セパレート専用フォームをダウンロードする」を参照してください。

ページ 1/2

リソースグループは、1 ページに 8 件まで表示されます。リソースグループが 9 件以上ある場合は、次のボタンでページを切り替えます。

: クリックすると、リソースグループ一覧の最初のページが表示されます。

: クリックすると、現在表示されているリソースグループ一覧の前のページが表示されます。

: クリックすると、現在表示されているリソースグループ一覧の次のページが表示されます。

: クリックすると、リソースグループ一覧の最後のページが表示されます。

リソースグループ一覧

登録されているすべてのリソースグループの公開 () / 非公開 () アイコン、[名前]、[作成日時]、[説明]、[スケジュール削除]、 編集、 削除 が一覧表示されます。デフォルトでは、リソースグループの [作成日時] が新しい順に表示されます。公開 () / 非公開 () アイコン、[名前]、[作成日時]、または [スケジュール削除] を基準にして並び替えることができます。

● 公開

リソースグループの公開アイコン ()、または 非公開アイコン () が表示されます。項目名 [公開] をクリックすると、アイコンの種類を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに 、 の順番で切り替わります。

: 一般ユーザーに公開されているリソースグループです。

: 非公開のリソースグループです。一般ユーザーには、このリソースグループが表示されません。

● 名前

リソースグループ名が表示されます。項目名 [名前] をクリックすると、名前を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに名前の 50 音の昇順、降順の順番で切り替わります。リソースグループ名をクリックすると、リソースグループ内に登録されているフォームテンプレートが一覧表示されます。フォームテンプレート一覧を表示する操作については、「フォームテンプレート一覧を表示する」を参照してください。

● 作成日時

リソースグループが作成された日時が表示されます。項目名 [作成日時] をクリックすると、作成日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに作成日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。

- 説明
リソースグループの説明が表示されます。
- スケジュール削除
スケジュール削除の設定の有無が表示されます。項目名 [スケジュール削除] をクリックすると、[スケジュール削除] の設定を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに [する]、[しない] の順番で切り替わります。
-  編集
リソースグループの [名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] を変更できます。
リソースグループを編集する操作については、「リソースグループを編集する」を参照してください。
-  削除
リソースグループを削除できます。
リソースグループを削除する操作については、「リソースグループを削除する」を参照してください。

新規リソースグループの作成

新しいリソースグループを作成します。作成されたリソースグループは、Flow Management のフローで利用できます。

名前

リソースグループの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力は必須です。次の文字は使用できません。

¥"/:;*?<>&+|,!.~? || — ¢ £ & ¬

また、タブ文字も使用できません。

説明

必要に応じて、リソースグループに関する説明文を 1 ～ 128 文字以内で入力します。

公開

リソースグループを一般ユーザーに公開する場合は [する] を、公開しない場合は [しない] を設定します。
デフォルトでは、[する] が設定されています。

[スケジュール削除]

リソースグループをスケジュール削除の対象にする場合は [する] を、対象にしない場合は [しない] を設定します。

デフォルトでは、[しない] が設定されています。

[作成]

新規リソースグループを作成して、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

[キャンセル]

新規リソースグループの作成を取り消して、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループの編集

リソースグループの [名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] を変更します。

ID

リソースグループ ID が表示されます。リソースグループ ID は、変更できません。

名前

リソースグループの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力は必須です。次の文字は使用できません。

¥"/:;*?<>&+|,!.~? || — ¢ £ & ¬

また、タブ文字も使用できません。

デフォルトでは、現在の設定値が表示されます。

説明

必要に応じて、リソースグループに関する説明文を 1 ～ 128 文字以内で入力します。

デフォルトでは、現在の設定値が表示されます。

公開

リソースグループを一般ユーザーに公開する場合は [する] を、公開しない場合は [しない] を設定します。

デフォルトでは、現在の設定値が設定されています。

スケジュール削除

リソースグループをスケジュール削除の対象にする場合は [する] を、対象にしない場合は [しない] を設定します。

デフォルトでは、現在の設定値が設定されています。

[変更]

リソースグループの [名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] を変更して、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

[キャンセル]

リソースグループの [名前]、[説明]、[公開]、[スケジュール削除] の変更を取り消して、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

リソースグループの削除

リソースグループを削除します。



補足

- ・ リソースグループを削除すると、リソースグループ内のフォームテンプレートとフォームもすべて削除されます。
- ・ Flow Management のフローで、削除したリソースグループ内のフォームを使用している場合は、そのフローを削除するか、またはフローを変更してください。詳しい操作については、リソースを変更したときを参照してください。

名前

削除の対象となるリソースグループの名前が表示されます。

説明

削除の対象となるリソースグループの説明が表示されます。

ID

削除の対象となるリソースグループ ID が表示されます。

[はい]

リソースグループを削除して、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

[いいえ]

リソースグループの削除を取り消して、[リソースグループ一覧] ページに戻ります。

フォームテンプレート一覧

フォームテンプレートの [名前]、[登録日時]、 フォーム作成、 取得、 削除 が一覧表示されます。フォームテンプレート内のフォーム一覧の表示、フォームテンプレートの登録、フォームの作成ができます。9 件以上のフォームテンプレートが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。

[名前]、または [登録日時] を基準にして一覧の並び替えができます。

◇ ルート

現在表示されているフォームテンプレートが登録されている階層の最上位（[ルート]）が表示されます。

[ルート] をクリックすると、リソースグループ一覧が表示されます。

□ {リソースグループ名}

現在表示されているフォームテンプレートのリソースグループ名と説明が表示されます。

[新規フォームテンプレートの登録](#)

フォームテンプレートを登録できます。

フォームテンプレートを登録する操作については、「[新規フォームテンプレートを登録する](#)」、または「[フォームテンプレートを上書き保存する](#)」を参照してください。

ページ 1/2

フォームテンプレートは、1 ページに 8 件まで表示されます。フォームテンプレートが 9 件以上ある場合は、次のボタンでページを切り替えます。

: クリックすると、フォームテンプレート一覧の最初のページが表示されます。

: クリックすると、現在表示されているフォームテンプレート一覧の前のページが表示されます。

: クリックすると、現在表示されているフォームテンプレート一覧の次のページが表示されます。

: クリックすると、フォームテンプレート一覧の最後のページが表示されます。

フォームテンプレート一覧

リソースグループに登録されているすべてのフォームテンプレートの [名前]、[登録日時] が一覧表示されます。デフォルトでは、フォームテンプレートの [登録日時] が新しい順に表示されます。[名前]、または [登録日時] を基準にして並び替えることができます。

- 名前
フォームテンプレート名が表示されます。項目名 [名前] をクリックすると、名前を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに名前の 50 音の昇順、降順の順番で切り替わります。フォームテンプレート名をクリックすると、フォームテンプレート内に登録されているフォームが一覧表示されます。フォーム一覧を表示する操作については、「[フォーム一覧を表示する](#)」を参照してください。
- 登録日時
フォームテンプレートが登録された日時が表示されます。項目名 [登録日時] をクリックすると、登録日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに登録日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。
-  [フォーム作成](#)
フォームテンプレートからフォームを作成し登録できます。
フォームを作成する操作については、「[新規フォームを作成する](#)」を参照してください。
-  [取得](#)
フォームテンプレートをダウンロードできます
フォームテンプレートをダウンロードする操作については、「[フォームテンプレートをダウンロードする](#)」を参照してください。
-  [削除](#)
フォームテンプレートを削除できます。
フォームテンプレートを削除する操作については、「[フォームテンプレートを削除する](#)」を参照してください。

新規フォームテンプレートの登録

Paper Form Editor で作成されたフォームテンプレートファイルを登録します。フォームテンプレート ID が、フォームテンプレートの名前として登録されます。

**補足**

- ・フロー作成時にはリソースグループを指定します。このため、リソースグループやフォームテンプレートの登録または変更が終了してから、フローを作成してください。
- ・次の場合は、フローを変更する必要があります。
 - フォームテンプレートを新規に登録した
 - フォームテンプレートを変更または削除した
 - リソースグループを削除した

ファイルの選択

登録するフォームテンプレートファイルのパスを入力します。入力できる文字数は、Web ブラウザーの仕様に従います。入力は必須です。

**補足**

ドライブからの絶対パスを入力します。

[参照]

[ファイルの選択] ダイアログボックスが表示されます。

[登録]

同じ ID のフォームテンプレートがリソースグループ内に存在しない場合は、フォームテンプレートが登録されて、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

同じ ID のフォームテンプレートがリソースグループ内に存在する場合は、[フォームテンプレートの上書き保存] ページが表示されます。

**補足**

Paper Form Management は、フォームテンプレート ID に含まれる半角英字、全角英字の大文字、小文字の区別を行いません。フォームテンプレートの登録時は、同一の ID として扱います。

[キャンセル]

フォームテンプレートの登録を取り消して、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

フォームテンプレートの上書き保存

同じフォームテンプレート ID のフォームテンプレートファイルを再度登録して、フォームテンプレートを上書き保存します。

[はい]

フォームテンプレートを上書き保存して、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

**補足**

- ・上書きすると、今までのフォームは作成できなくなります。今後は上書きされたフォームテンプレートからフォームが作成されます。
- ・上書きすると、今までのフォームは、使用できなくなる可能性があります。
- ・上書きしないで、新規登録する場合は、Paper Form Editor でフォームテンプレート ID を変更し、再度登録の操作を行ってください。
- ・Paper Form Management は、フォームテンプレート ID に含まれる半角英字、全角英字の大文字、小文字の区別を行いません。フォームテンプレートの登録時は、同一の ID として扱います。
- ・フォームテンプレートを上書き保存した場合、そのフォームテンプレートで追加、または変更された属性を Flow Management のフローで使用するときは、必ずフローを変更してください。詳しい操作については、「リソースを変更したとき」を参照してください。

[いいえ]

フォームテンプレートの上書き保存を取り消して、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

新規フォームの作成

登録されたフォームテンプレートからフォームを作成します。

名前

フォームの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力は必須です。次の文字は使用できません。

¥"/:;*?<>&+|,~? || — ¢ £ & ー

また、タブ文字も使用できません。

【作成】

フォームを作成して、[フォーム一覧] ページに戻ります。

【キャンセル】

フォームの作成を取り消して、[フォームテンプレート一覧] ページ、または [フォーム一覧] ページに戻ります。

[フォームテンプレート一覧] ページから [新規フォームの作成] ページを表示した場合は [フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。また、[フォーム一覧] ページから [新規フォームの作成] ページを表示した場合は [フォーム一覧] ページに戻ります。

フォームテンプレートの削除

フォームテンプレートを削除します。



補足

- ・ フォームテンプレートを削除すると、フォームテンプレートから作成したフォームもすべて削除されます。削除したフォームは、Flow Management で使用できなくなります。
- ・ フォームテンプレートを削除した場合は、必ず Flow Management のフローを変更してください。詳しい操作については、「リソースを変更したとき」を参照してください。

名前

削除の対象となるフォームテンプレートの名前が表示されます。

登録日時

削除の対象となるフォームテンプレートの登録日時が表示されます。

【はい】

フォームテンプレートを削除して、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

【いいえ】

フォームテンプレートの削除を取り消して、[フォームテンプレート一覧] ページに戻ります。

フォーム一覧

フォームの [名前]、[ID]、[作成日時]、[最終参照日時]、 編集、 取得、 削除 が一覧表示されます。

フォーム名の変更、フォームの削除、フォームのダウンロードができます。9 件以上のフォームが登録されている場合は、複数のページにわたって表示されます。

[名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にして一覧の並べ替えができます。

◇ > {リソースグループ名}

現在表示されているフォームが登録されている階層 ([ルート] と [リソースグループ名]) が表示されます。

[ルート] をクリックすると、リソースグループ一覧が表示されます。

[リソースグループ名] をクリックすると、フォームテンプレート一覧が表示されます。



現在表示されているフォームのフォームテンプレート名が表示されます。



新規フォームの作成

フォームテンプレートからフォームを作成できます。

フォームを作成する操作については、「新規フォームを作成する」を参照してください。



フォームは、1 ページに 8 件まで表示されます。フォームが 9 件以上ある場合は、次のボタンでページを切り替えます。

◀: クリックすると、フォーム一覧の最初のページが表示されます。

◀◀: クリックすると、現在表示されているフォーム一覧の前のページが表示されます。

▶▶: クリックすると、現在表示されているフォーム一覧の次のページが表示されます。

▶: クリックすると、フォーム一覧の最後のページが表示されます。

フォーム一覧

フォームの [名前]、[ID]、[作成日時]、[最終参照日時]、 編集、 取得、 削除 が一覧表示されます。デフォルトでは、フォームの作成日時が新しい順に表示されます。[名前]、[作成日時]、または [最終参照日時] を基準にして並び替えることができます。

- 名前
フォーム名が表示されます。項目名 [名前] をクリックすると、名前を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに名前の 50 音の昇順、降順の順番で切り替わります。
- ID
フォーム ID が表示されます。
- 作成日時
フォームが作成された日時が表示されます。項目名 [作成日時] をクリックすると、作成日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに作成日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。
- 最終参照日時
フォームが最後に解析された日時、またはフォームが最後にダウンロードされた日時が表示されます。項目名 [最終参照日時] をクリックすると、最終参照日時を基準にして一覧が並び替わります。クリックごとに最終参照日時が古い順、新しい順の順番で切り替わります。
-  編集
フォーム名を変更できます。
フォーム名を変更する操作については、「フォーム名を変更する」を参照してください。
-  取得
フォームをダウンロードできます。
フォームをダウンロードする操作については、「フォームをダウンロードする」を参照してください。
-  削除
フォームを削除できます。
フォームを削除する操作については、「フォームを削除する」を参照してください。

フォームの編集

フォームの [名前] を変更します。

ID

フォーム ID が表示されます。フォーム ID は、変更できません。

名前

フォームの名前を 1 ～ 64 文字以内で入力します。入力必須です。次の文字は使用できません。

¥"/:;*?<>&+|,~? || — ¢ £ & ¬

また、タブ文字も使用できません。

[変更]

フォームの [名前] を変更して、[フォーム一覧] ページに戻ります。

[キャンセル]

フォームの [名前] の変更を取り消して、[フォーム一覧] ページに戻ります。

フォームのダウンロード

ファイル形式を設定して、フォーム、またはセパレート専用フォームをダウンロードできます。

DocuWorks

DocuWorks 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームやセパレート専用フォームは、DocuWorks で開くことができます。

PDF

PDF 形式でダウンロードされます。ダウンロードされたフォームやセパレート専用フォームは、Adobe Reader などでも開くことができます。

[ダウンロード]

ファイル形式が設定され、[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [開く] をクリックした場合は、DocuWorks、または Adobe Reader などが起動してフォームやセパレート専用フォームが表示されます。

[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [保存] をクリックした場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。ファイルを保存するフォルダーとファイル名を設定して [OK] をクリックすると、フォームやセパレート専用フォームがダウンロードされます。

[キャンセル]

ファイル形式の設定を取り消して、このページを開く前のページに戻ります。



補足

- ・ フォームの名前が日本語の場合、[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [開く] をクリックして DocuWorks や Adobe Reader などでも文書を開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されません。[ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [保存] をクリックして [名前を付けて保存] ダイアログボックスを開くと、ファイル名の日本語部分が正しく表示されます。
- ・ フォームの名前が全角で 16 文字を超える場合は、ダウンロードされるファイル名が短くなる場合があります。

フォームの削除

フォームを削除します。



補足

削除したフォームは、Flow Management で使用できなくなります。

名前

削除の対象となるフォームの名前が表示されます。

ID

削除の対象となるフォーム ID が表示されます。

[はい]

フォームを削除して、[フォーム一覧] ページに戻ります。

【いいえ】

フォームの削除を取り消して、[フォーム一覧] ページに戻ります。

フォームのスケジュール削除設定

スケジュール削除とは、フォーム削除ツールを使用して、設定した条件に従って自動的にフォームを削除することです。

フォームの保存期間や削除の開始時刻など、スケジュール削除の条件を設定します。

フォームを削除する / フォームを削除しない

スケジュール削除機能を有効にする場合は、[フォームを削除する] を選択します。

スケジュール削除機能を無効にする場合は、[フォームを削除しない] を選択します。

- フォームの存在有効期間

フォームが最後にアクセスされた時刻を起点とし、フォームをいつまで保存するかを設定します。[年]、[月]、[日] の中から 1 つ以上を設定します。

たとえば、「1 年」と設定した場合、最後にアクセスされた時刻から 1 年間、フォームは保存され、次の日のスケジュール削除開始時刻に自動的に削除されます。

- ・ 年：フォームを保存する年数を設定します。設定できるのは、0 ～ 20 年です。
- ・ 月：フォームを保存する月数を設定します。設定できるのは、0 ～ 11 月です。
- ・ 日：フォームを保存する日数を設定します。設定できるのは、0 ～ 30 日です。

- 開始時刻

スケジュール削除が開始される時刻を設定します。たとえば、「0」時「0」分と設定した場合、毎日 0 時 0 分にスケジュール削除が開始されます。

- ・ 時：スケジュール削除が開始される時間を設定します。設定できるのは、0 ～ 23 時です。
- ・ 分：スケジュール削除が開始される分を設定します。設定できるのは、0 ～ 50 分です。10 分単位で設定します。



補足

デフォルトでは、前回の設定値が表示されます。ただし、最初の設定時、または前回の設定で [フォームを削除しない] が選択された場合のデフォルトは、[フォームを削除しない]、[0] 年、[0] 月、[0] 日、[0] 時、[0] 分です。

【設定】

設定を反映して、[管理者メニュー] ページに戻ります。

【キャンセル】

設定を取り消して、[管理者メニュー] ページに戻ります。

リソースを変更したとき

Flow Management のフローで使用しているリソースを変更したときは、フローを変更する必要があります。
リソースを変更したときの Flow Management の詳しい操作方法については、『機能ガイド Flow Management Option 編』を参照してください。

- リソースグループを削除したとき
- フォームテンプレートを登録 / 上書き保存したとき
- フォームテンプレートを削除したとき
- フォームを削除したとき

リソースグループを削除したとき

リソースグループを削除した場合は、削除したリソースグループを使用しているフローを削除するか、またはフローを変更して別のリソースグループを設定してください。

フローを削除する

削除したリソースグループを使用しているフローを削除します。

1. 削除したリソースグループを使用しているフローを削除します。
詳細は、『機能ガイド Flow Management Option 編』の「フローを削除する」を参照してください。

フローを変更する

削除したリソースグループを使用しているフローを変更します。

1. 削除したリソースグループを使用しているフローを変更します。
詳細は、『機能ガイド Flow Management Option 編』の「フローを編集する」を参照してください。

フォームテンプレートを登録 / 上書き保存したとき

フォームテンプレートを登録、または上書き保存した場合、フォームテンプレートに追加、または変更された属性をフローで使用するときは、必ず Flow Management のフローの編集で、[フォーム解析] 機能の詳細設定ページを表示し、[加工方法] や [配信先] を設定してください。



補足

フォームテンプレートに追加、または変更された属性を、フローで使用しない場合は、フローを変更する必要はありません。

1. フローを無効化にします。
詳細は、『機能ガイド Flow Management Option 編』の「フローを無効化にする」を参照してください。
2. 登録 / 上書き保存したフォームテンプレートを使用しているフローの、[フォーム解析] 機能の詳細設定ページを表示します。
3. [加工方法] の一覧で、編集する機能の [編集] をクリックします。
[加工方法の編集] が表示されます。
4. [OK] をクリックします。
[フローの編集] に戻ります。



補足

この手順を実行しないで [加工方法] や [配信先] で属性を設定しようとすると、追加、または変更された属性を参照できません。

5. [加工方法] や [配信先] で、追加、または変更された属性を設定します。

6. [フローの編集] で [OK] をクリックします。
フローが再設定され、フロー一覧画面に戻ります。

フォームテンプレートを削除したとき

フォームテンプレートを削除した場合、その属性をフローで使用している可能性があるため、必ず次の手順でフローを確認してください。

1. フローを無効化にします。

詳細は、『機能ガイド Flow Management Option 編』の「フローを無効化にする」を参照してください。

2. 削除したフォームテンプレートを使用しているフローの、[フォーム解析] 機能の詳細設定ページを表示します。

3. [加工方法] の一覧で、編集する機能の [編集] をクリックします。
[加工方法の編集] が表示されます。

4. [OK] をクリックします。

削除したフォームテンプレートの属性をフローが使用していない場合は、[フローの編集] に戻ります。手順 6. に進んでください。

削除したフォームテンプレートの属性をフローが使用している場合は、エラーメッセージに属性が存在しない [加工方法] や [配信先] が表示されます。[OK] をクリックして、手順 5. に進んでください。

5. エラーメッセージに表示された、[加工方法] や [配信先] で、新しい属性を設定します。

6. [フローの編集] で [OK] をクリックします。
フローが再設定され、フロー一覧画面に戻ります。

フォームを削除したとき

フォームを削除すると、削除されたフォームは、Flow Management で使用できなくなります。削除されたフォームを使って Flow Management を利用した場合は、エラーになります。

注意と制限

Web ブラウザーの設定について

Web ブラウザーは、[ツール] メニューの [インターネットオプション] で次の設定が必要です。

1. Microsoft Internet Explorer を起動します。
2. [ツール] メニューの [インターネットオプション] を選択します。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
3. [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
4. [スクリプト] の [アクティブスクリプト] を [有効にする] に設定します。
5. イン트라ネット環境の場合は、[ユーザ認証] の [ログオン] を [イントラネットゾーンのみ自動的にログオンする] に設定することをおすすめします。
6. [セキュリティの設定] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。
7. [詳細設定] タブをクリックし、[常に UTF-8 として URL を送信する] にチェックマークを付けます。
8. プロキシサーバーを使用している環境の場合は、次の操作を行ってください。
 - (1) [接続] タブをクリックし、[LAN の設定] をクリックします。
 - (2) [プロキシ サーバー] の [ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない] にチェックマークを付け、[詳細設定] をクリックします。
 - (3) [例外] の [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] に Paper Form Management がインストールされたコンピューターのアドレスを入力し、[OK] をクリックします。
 - (4) [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
 - (5) [インターネットオプション] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

Paper Form Management の起動について

- Paper Form Management を使用するためには、World Wide Web Publishing サービスと Task Scheduler サービスが起動している必要があります。Paper Form Management を使用する前に、World Wide Web Publishing サービスと Task Scheduler サービスを起動してください。
- 同時に複数の管理者がログインして Paper Form Management を操作しないでください。
- 1 台のコンピューターで同時に複数の Web ブラウザーを起動して、Paper Form Management を操作しないでください。

リソースについて

- Paper Form Management 以外のソフトウェアを使用して登録されたリソースは、管理の対象外となります。
- リソースの登録制限数は、次のとおりです。
 - ・ リソースグループ：最大 32 件
 - ・ フォームテンプレート：最大 32 件
 - ・ フォーム：最大 256 件
- 登録できるフォームテンプレートの最大ファイルサイズは、8MB です。

フォーム削除ツールについて

- スケジュール削除を設定すると、Windows の Task Scheduler サービスに「Paper Form Option」というタスクが作成されます。作成された「Paper Form Option」タスクを変更しないでください。

その他の注意と制限

- Web ブラウザーの [戻る]、[進む]、[中止] は、サポートしません。
- 連続した半角スペースは 1 つの半角スペースで表示されるなど、表示はすべて Web ブラウザーの仕様に従います。
- ボタンをダブルクリックした場合、2 回クリックしたものとして実行される場合があります。